

1570迄 (1937件)

- 1561年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<死去>モロッカ諸島ポルトガル司令官「Manoel de Vasconcellos」
- 1561年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モロッカ諸島ポルトガル司令官代理「Bastiao Machado」(~1562.3)
- 1561年-08:00|マレーシア| |||<即位>クワンタン・スルタン国スルタン「スルタン・イブラヒム・イブニ・アル・マルフム・スルタン・マンズール」(1回目~1565年)
- 1561年-05:30|インド| |||<死去>ムファリト朝スルタン「アフマト・シャ3世」
- 1561年-05:30|スリランカ| |||<即位>ジャファナ王国国王「プウライジャ・ハンダラム」(~1565年)
- 1561年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Ghiyasuddin Jalal Shah」(~1563年死去)
- 1561年-05:30|インド| |||<即位>ムファリト朝スルタン「ムサファール・シャ3世」(~1573年ムガル帝国に支配される)
- 1561年-05:30|インド| |||ガージール・ハンがカシミールにチャク朝をおこす
- 1561年-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン/タジキスタン| |||<即位>ブハラ・ハン国シャイバニ朝ハン「イスカンダル・ハン」シャニール・ベクの子(~1583年)ブハラに遷都
- 1561年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サナジャ総督「Mahmud Pasha」(~1565年)
- 1561年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダッド・ワリス「ヒジール・ハシャ」(~1566年)
- 1561年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国対立皇帝「タスカ・カルヤコフ」(~7月)
- 1561年-02:00|キプロス/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ピエトロ・デ・イ・ベッラルト・ナヴァゲロ」(~1563年)
- 1561年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド総督「グスタフ・フィンケ・ティル・ホルカラ・オッフ・ソニス」(~1566年没)
- 1561年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「カル・アリ・ハシャ」(1期目~1563年)
- 1561年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリースラ伯「Johan2世」(~15910929死去)、「Edzard2世」(~15990301死去)
- 1561年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベイルベイ代行「ハサン・クストロ・アガ」(~1562年9月)
- 1561年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「ハサン・ベイ」(~1562年)
- 1561年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ルイム1世」(~1569年)
- 1561年-01:00|スペイン| |||スペイン国王フェリペ2世、宮廷をマドリッドに移す/始めてスペインの首都が確定
- 1561年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Antonio de la Llama Vallejo」(~1564年)
- 1561年 05:00|コロンビア| |||先住民チカ族、カラカ族の反乱
- 1561年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア市長「ファン・ハステス・デ・コロナド・ダ・アヤ」(~1564年)
- 1561年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴ総督(市長)「ファン・デ・カロン・イ・アルホラダ」(~1562年)
- 1561年1月1日-01:00|スペイン/ペルー| |||ロペ・デ・アギレらはアマゾンにティエラ・フィルメ王国の樹立を宣言し、スペインに対し反乱
- 1561年1月1日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「ルイス・デ・グスマン」(~1563年12月没)
- 1561年1月4日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジエノヴァ共和国トージェ「パオロ・バチスタ・ジウゼ・カヴァーイ」(~15610927在職中死去)
- 1561年1月9日-09:00|日本| 島根県安来市| 永禄3年12月24日|<死去>出雲・隠岐・伯耆・因幡・美作・備前・備中・備後国守護「尼子晴久」石見に侵入した毛利元就との防戦中に月山富田城内で倒れ急死/47歳/息尼子義久が家督を嗣ぐ
- 1561年1月16日-09:00|日本| 長野県| 永禄4年|<交替>信濃木曾谷領主「木曾義康」隠居⇒子の「木曾義昌」(⇒天正18(1590)年、下総阿知戸1万石に転封)
- 1561年1月16日-09:00|日本| 奈良県奈良市| 永禄4年| 南都眉間寺を壊し多聞山城を築く
- 1561年1月16日-09:00|日本| 山梨県富士吉田市| 永禄4年| 武田信玄、北口富士浅間神社東宮本殿を再建
- 1561年1月16日-09:00|日本| 千葉県佐倉市| 永禄4年1月| 正木時茂、下総へ侵攻して原氏の臼井城を攻め取る
- 1561年1月16日-09:00|日本| 千葉県千葉市緑区| 永禄4年1月| 正木時茂、下総へ侵攻して原氏の生実城を攻め取る
- 1561年1月16日-09:00|日本| 福井県| 永禄4年1月|<大飯・見方争乱>国吉城主・栗屋勝久と碎導山城主・逸見昌経勢が武田義統から離反
- 1561年1月22日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ総督・総司令官「アロンソ・アリアス・デ・エレラ」(~1564年)
- 1561年1月22日-09:00|日本| 茨城県結城市| 永禄4年1月7日|<結城城合戦>小田氏治は佐竹義昭・小山秀綱と共に7千の軍勢で結城城を攻撃、結城晴朝に勝利
- 1561年1月28日-01:00|フランス| |||フランス、オスマン帝国の寛容王令。母后カトリーヌ・ド・メディシスの融和政策。司法、警察及び教会制度に関する改革案
- 1561年1月31日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国宰相ハイレーム・ハンがメッカ巡礼の途次パタナで殺害される
- 1561年1月31日-01:00|フランス| |||カトリーヌ・ド・メディシス、オスマン帝国の「全国三部会」を解散させる。三部会解散前、各地の高等法院に宗教上の理由で拘置されている人々を釈放させる
- 1561年2月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「フランシスコ・デ・ビジャグラ・ラ・ベラスカス」(4回目~15630622)
- 1561年2月2日-09:00|日本| || 永禄5年5月19日|<死去>北向道陳(59歳)茶人
- 1561年2月11日-09:00|日本| 長野県北安曇郡| 永禄4年1月27日| 安曇郡の西牧氏が武田に謀反を起こし討ち取られる
- 1561年2月13日-01:00|フランス| |||<死去>ヌヴェール公・ルテル伯「フランソワ1世」
- 1561年2月13日-01:00|フランス| |||<即位>ヌヴェール公・ルテル伯「フランソワ2世」(~1563年)、「ジャック」(~1564年)
- 1561年2月14日-09:00|日本| 愛知県岡崎市| 永禄4年2月| 中島城板倉弾正重定・板倉三次郎重宗・板倉主水重茲、松平好景に攻められ、筑手岡城に立ち退く
- 1561年2月14日-09:00|日本| 愛知県西尾市| 永禄4年2月|<東条城合戦>松平元康自ら東条城を攻めたが、吉良義昭はよく戦い、東条の城は落ちなかった
- 1561年2月14日-09:00|日本| 茨城県古河市| 永禄4年2月|<交替>古河公方「足利義氏」⇒「足利藤氏」(~永禄5(1562)

1570迄 (1937件)

年)

- 1561年2月14日-09:00|日本|茨城県古河市|永禄4年2月|長尾景虎が関東公方の在所である足利義氏の本拠地・古河御所を制圧
- 1561年2月14日-09:00|日本|岐阜県不破郡垂井町|永禄4年2月|<垂井合戦>斎藤義龍、浅井長政に勝利
- 1561年2月14日-09:00|日本|佐賀県嬉野市|永禄4年2月|後藤貴明、塩田の領主原直景を降す
- 1561年2月14日-09:00|日本|滋賀県長浜市|永禄4年2月|浅井賢政(長政)、横山城築城
- 1561年2月14日-09:00|日本|福島県会津若松市|永禄4年2月|<会津争乱>蘆名氏方と富田義実、蘆名盛氏に謀反/蘆名盛氏、謀反を鎮圧
- 1561年2月14日-09:00|日本|福島県会津若松市|永禄4年2月|<交替>陸奥黒川領主「蘆名盛氏」隠居⇒嫡男「蘆名盛興」(~天正2年6月5日(15740712)病死)
- 1561年2月15日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄4年2月2日|武田信玄、小幡信貞に協力し、上州国峰城奪回/城主小幡景純(兄重貞を追い、城主となる)、自刃
- 1561年2月19日-09:00|日本|愛知県大府市|永禄4年2月6日|松平元康が叔父の水野信元と横根村で交戦
- 1561年2月20日-09:00|日本|愛知県大府市|永禄4年2月7日|<第3次石ヶ瀬の戦い>松平元康が叔父の水野信元と石ヶ瀬川岸で交戦
- 1561年3月8日-09:00|日本|東京都八王子市|永禄4年2月23日|上杉景虎が北条氏康の小田原城攻略のために上野・赤石に進撃/北条氏康は武蔵の滝山城に入って防戦勝敗つかず
- 1561年3月13日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄4年2月28日|三河・松平元康、織田信長と講和/元康は、今川氏真と断交し、三河平定に着手
- 1561年3月16日-09:00|日本|滋賀県長浜市|永禄4年3月|<佐和山城合戦>近江・六角義賢、浅井賢政の美濃侵略に乗じて佐和山城を攻略。賢政美濃より撤退し回復
- 1561年3月17日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄4年3月2日|長尾景虎派太田資正、武蔵松山城を落とす
- 1561年3月28日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄4年3月13日|長尾景虎は相模国の小田原城総攻撃を開始、城の四門の一つ蓮池口へ攻め寄せたが撃退される/小田原軍は小磯の越軍の前衛と大磯の本営に夜襲をかけたが敗北
- 1561年3月29日-09:00|日本|神奈川県秦野市|永禄4年3月14日|<合戦>北条家臣大藤式部が長尾景虎勢と相模大住郡大槻に戦い被害を与える
- 1561年3月30日 05:00|<sup>ハ</sup>ル/<sup>ス</sup>ペ<sup>イ</sup>ン| |||<死去><sup>ハ</sup>ル副王「カニエ侯アント<sup>ス</sup>・ウルト<sup>テ</sup>・メ<sup>ト</sup>」
- 1561年3月31日-09:00|日本|茨城県筑西市|永禄4年3月16日|常陸国の部将戸安芸守四郎道胤入道は下総国の結城方真壁郡海老ヶ島城主佐野出羽守を攻め破って攻略し、戸安入道は更に真壁郡の下妻を攻め豊加美村の古沢に於て多賀谷政経と戦って敗北
- 1561年4月1日-01:00|<sup>サ</sup>マリ| |||<就任><sup>サ</sup>マリ/共和国執政「ウ<sup>ン</sup>フェツォ<sup>ゴ</sup>ン<sup>ハ</sup>ル<sup>テ</sup>ィ<sup>ニ</sup>」「<sup>ハ</sup>ル<sup>カ</sup>ル<sup>テ</sup>ィ<sup>ノ</sup>ジ<sup>ヤ</sup>ニ<sup>ニ</sup>」
- 1561年4月2日-09:00|日本|大阪府岸和田市|永禄4年3月18日|<死去>岸和田城主「十河一存」(三好長慶の弟)病死(30歳)
- 1561年4月6日-01:00|フランス| |||フランス、カトリック「三頭政治」始まる①ギ<sup>ス</sup>公フランソワ②アンヌ<sup>ド</sup>・モンモランシー③<sup>サ</sup>ントレ(アルブ<sup>ン</sup>元帥)
- 1561年4月6日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄4年3月22日|<佐和山城の戦い>六角義賢に佐和山城を攻められた浅井長政配下の磯野員昌が見事な大返しで美濃から帰還、磨針峠まで進出/六角義賢はすでに城兵を打ち破って本丸に侵入し事実上佐和山城を落城させていたが急ぎょ全軍撤退
- 1561年4月15日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|永禄4年閏3月|尾張国村木村の八幡宮の社殿が建立される
- 1561年4月17日 05:00|<sup>ハ</sup>ル/<sup>ス</sup>ペ<sup>イ</sup>ン| |||<就任><sup>ハ</sup>ル副王「エウ<sup>ア</sup>伯<sup>テ</sup>ィコ<sup>ロ</sup>ス<sup>テ</sup>ィ<sup>ス</sup>ガ<sup>イ</sup>ベ<sup>ラ</sup>ス」(~15640220没)
- 1561年4月18日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄4年閏3月4日|<第一次小田原城包囲>終結/長尾景虎が小田原城の包囲を解く
- 1561年4月19日-01:00|フランス| |||フランス、シャル9世勅令「夫々の住居内で門を閉ざして自由に祈る自由」を付与。三頭政治に抗して改革派政策をとる
- 1561年4月25日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永禄4年閏3月中旬|上杉謙信:北条氏繁と玉縄城攻略戦勝敗つかず
- 1561年4月30日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永禄4年閏3月16日|<交替>関東管領「上杉(山内)憲政」退任⇒「上杉政虎(景虎から改名)」鶴岡八幡宮社前で相続(~天正6(1578)年3月13日死去)
- 1561年4月30日-09:00|日本|埼玉県行田市|永禄4年閏3月16日|成田長泰、上杉陣営から離反/これにより上杉軍は瓦解し関東遠征は失敗に終わる
- 1561年5月-01:00|<sup>ス</sup>ペ<sup>イ</sup>ン| |||<sup>ス</sup>ペ<sup>イ</sup>ン国王フェリペ<sup>2</sup>世が宮廷をマトリド<sup>ド</sup>に移す
- 1561年5月4日-01:00|<sup>ド</sup>イツ| |||<死去>アンハルト<sup>ツ</sup>ェルプ<sup>スト</sup>侯「Kar<sup>11</sup>世」
- 1561年5月14日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄4年4月|上杉政虎が越後へ帰還の途中で北条方の松山城を占領、上杉憲勝を城主に置く
- 1561年5月14日-09:00|日本|長野県上水内郡信濃町|永禄4年4月|武田信玄は北条氏支援のため北信濃に出兵し、謙信の属城割ヶ嶽城を落とした(第四次川中島の戦いの前哨戦)
- 1561年5月16日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄4年4月3日|<梅坪城の戦い>織田信長が西三河へ侵攻。今川方の梅ヶ坪城(三宅氏)を攻撃。また伊保城、矢久佐(八草)城、加治屋村などを攻撃/織田方前野長兵衛義高討死
- 1561年5月19日-09:00|日本|岡山県高梁市|永禄4年4月6日|<移転>備中成羽(鶴首城)領主「三村家親」⇒備中松山(~永禄9年2月5日(15660224)暗殺される)
- 1561年5月24日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄4年4月11日|<牛久保城の戦い>松平元康軍、牛久保城を攻める(松平元康の今川氏からの自立がはじまる)。今川方真木兵庫助重信討死/夜、牧野平左衛門入道父子、松平軍に与す

1570迄 (1937件)

- 1561年5月25日-09:00|日本|島根県大田市|永禄4年4月12日|毛利軍、石見国銀山の山吹城を攻撃するが敗退
- 1561年5月28日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄4年4月15日|三河・菅沼一党、松平に属し、今川に反す
- 1561年5月28日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄4年4月15日|<善明堤の戦い(三河国)>三河国において松平元康と吉良義昭との間で起った戦い/吉良義昭は富永忠元に数百騎を授け酒井忠尚の守る上野城を攻めさせた。家康から指示を受けた好景は康忠と嫡男伊忠を出勤させ深溝城へ戻った。その隙を突いて吉良義昭は中島城を攻めた。好景はすぐに留守の一族・家臣僅か50余騎を率いて中島へ向かい散々に敵を蹴散らした後、敗走する吉良軍を追撃/吉良方の忠元は軍を返し吉良軍を追撃する好景をさらに追撃し好景の退路を断った/吉良領で好景等は伏兵に行く手を遮られ吉良勢に囲まれ好景はじめ一族の者21人、家臣等34人全員倒れた
- 1561年6月-02:00|エストニア/スウェーデン| ||スウェーデンがエストニアを併合
- 1561年6月7日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|永禄4年4月25日|<田峯城の戦い>田峯菅沼刑部貞吉を囲む。大原肥前守資良が、新城菅沼小法師を攻める時、菅沼伊賀守定勝、一族と共にこれを防ぎ敵兵松井兵右衛門を討取る。菅沼定氏、今川方斥候鈴木甚兵衛を伝随山に討取る。菅沼定氏、敵兵倉川弥八郎を討取る
- 1561年6月13日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄4年5月|織田信長:挙母(愛知県豊田市)の中条氏を屈服させ、高橋荘一円を自領とした
- 1561年6月13日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄4年5月|<西尾城の戦い>東条吉良氏の一門荒川義広の内通により岡崎の松平元康は酒井正親の軍勢をもって西尾城(牧野成定)を攻め、成定は城を脱して牛久保へ戻った/酒井正親は西尾城を接收
- 1561年6月13日-09:00|日本|岡山県高梁市|永禄4年5月|三村家親が尼子方の備中松山城を攻撃して占領
- 1561年6月13日-09:00|日本|滋賀県長浜市|永禄4年5月|<改名>近江小谷領主「浅井賢政」、平井氏娘と離縁⇒「浅井長政」
- 1561年6月13日-09:00|日本|鳥取県|永禄4年5月|<死去>因幡国守護代(但馬天神山城主)「山名棟豊」⇒因幡国守護「山名豊数」が家督を継ぐ(~永禄6(1563)年4月3日失領)
- 1561年6月16日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄4年5月4日|今川家の重臣朝比奈助十郎、宇利城を攻め入る
- 1561年6月18日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄4年5月6日|攝津・三好長慶と細川晴元、和睦。細川晴元は摂津富田普門寺に幽閉
- 1561年6月19日-09:00|日本|長野県大町市|永禄4年5月7日|武田信玄、信州安曇の森城(仁科盛政)攻略。盛政は自害。5男の五郎晴清を仁科姓を継がせる。仁科五郎盛信
- 1561年6月20日 00:00|イギリス| ||<死去>ハントントン伯「フランス・ヘイティンクス」
- 1561年6月23日-09:00|日本|岐阜県|永禄4年5月11日|<死去>美濃領主「斎藤義龍」35歳⇒子の「斎藤龍興」が継ぐ(~永禄10(1567)年8月15日失領滅亡)
- 1561年6月25日-09:00|日本|岐阜県大垣市|永禄4年5月13日|<第3次森部合戦>織田軍西美濃に侵攻、墨俣を占拠
- 1561年6月26日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|永禄4年5月14日|肝付兼続が廻城を奪取して島津貴久と本格的に敵対し竹原山の戦いで貴久の弟・忠将を討ち取って大勝
- 1561年6月26日-09:00|日本|岐阜県安八郡安八町|永禄4年5月14日|<森辺の合戦>斎藤龍興が侵入してきた織田信長と美濃森辺(部)で戦うが、長井甲斐守・日比野下野守ら有力武將を失い敗れる
- 1561年6月29日-09:00|日本|長野県上水内郡信濃町|永禄4年5月17日|(4月~)武田信玄は北条氏支援のため北信濃に出兵し謙信の属城割ヶ岳城を落とす
- 1561年7月5日-09:00|日本|岐阜県大垣市|永禄4年5月23日|<十四条の戦い>斎藤龍興は稲葉山城から軍勢を繰り出し稲葉山城の西方の十四条に布陣。信長も墨俣砦から打って出て十四条で合戦となったが敗戦/この戦いで一族の織田信益が討たれている
- 1561年7月5日 11:00|日本|岐阜県大垣市|永禄4年5月23日|<軽海の戦い>織田勢は軽海まで後退し斎藤勢もそれを追撃したため夜になってからここでも戦闘があったが闇も深くなったため斎藤勢が稲葉山城に兵を退いた/信長は翌朝まで軽海に留まったがのちに墨俣に戻り、さらには清洲城に帰城
- 1561年7月10日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄4年5月28日|<富永口の戦い>牛久保衆をふくむ今川軍諸隊は富永口に出撃、松平軍と交戦したが敗退
- 1561年7月10日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄4年5月28日|<西尾城(西尾市錦城町)の戦い>荒川甲斐守義広、酒井正親を八ッ面城に引入れる/酒井正親、西尾城(西尾市錦城町)牧野右馬允成定を攻め、成定は牛久保城(豊川市牛久保町)に撤退
- 1561年7月11日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「セミス・アリ・パシャ」(~15650628)
- 1561年7月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄4年5月29日|松永久秀、小泉城を攻略/小泉重順ら自害
- 1561年7月13日-01:00|フランス| ||フランス、国務会議、改革派の集合と宣教を禁止
- 1561年7月13日-09:00|日本|岐阜県大垣市|永禄4年6月|信長が美濃へ侵攻、大垣まで侵攻して墨俣砦を占領/斎藤軍が墨俣砦へ進軍、信長は交戦するが一度退却。再度交戦し、池田恒興・佐々成政の活躍により織田軍が勝利
- 1561年7月13日-09:00|日本|福井県|永禄4年6月|<若狭高浜の戦い>丹波の内藤宗勝・逸見氏が若狭高浜で朝倉・若狭武田軍に敗北
- 1561年7月15日-01:00|フランス| ||<死去>モンパソエ公「ルイ」
- 1561年7月15日-01:00|フランス| ||<即位>モンパソエ公「Louis de Bourbon」(~15820923死去)
- 1561年7月19日 00:00|ポルトガル| ||「ナヴァル女王」ジャンヌ・ダルク、自領フランス西部のペアルンの公式宗教を新教(プロテスタント)に決定
- 1561年7月23日-09:00|日本|岡山県岡山市|永禄4年6月中旬|宇喜多直家、金川城主松田元賢属將の備前上道郡龍の口城(城主織所元常)を討つ
- 1561年7月25日-08:00|中国| ||明・嘉靖40年6月14日|寧夏、中寧地震(M7.3)死者5000人

1570迄 (1937件)

- 1561年7月28日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄4年6月16日|酒井正親が牧野貞成の三河西尾城を陥し城主となる
- 1561年7月31日-09:00|日本|愛知県丹羽郡大口町|永禄4年6月19日|織田信長、斎藤龍興と結んだ織田信清の於久地を攻撃/信長御小姓衆の岩室長門守、戦死(桶狭間出撃の際、信長にいち早く随従した人物)
- 1561年7月31日-09:00|日本|福井県|永禄4年6月19日|若狭・武田義統の将栗屋勝久、丹波の松永長頼と図り、義統を攻撃。朝倉義景の援軍に敗れる
- 1561年8月2日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ニルスキ男爵ラス・イヴァリオン・フリング・ズ・ストホルム」(~15620227没)、総督代行「クラウス・クリスティエルン・ホルン・フリヘ・ア・アミン」(~同月)
- 1561年8月2日-09:00|日本|愛知県丹羽郡大口町|永禄4年6月下旬|織田信長、織田信清の支配下にある尾張小口城を攻撃するが敗れる
- 1561年8月2日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄4年6月21日|上野国の国峯城主小幡図書助は上杉政虎の援を得て、同國小幡城主小幡尾張守信定が養療の爲め草津に湯治中の留守に乗じて不意に之れを襲い攻略/小幡守信定は甲斐国武田晴信を頼り其の麾下に属す
- 1561年8月8日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国元首「ウルヘル司教ヘレド・キャストラ」(~15710201)
- 1561年8月9日-09:00|日本|新潟県上越市|永禄4年6月28日|上杉政虎は上野国の厩橋城より越後国春日山城に帰国する
- 1561年8月11日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄4年7月|松平元康が独立したことで、今川氏真は吉田城の小原鎮実に、松平家についた国衆から預かった人質を処刑するよう命じる。人質は山家三方衆(田峯菅沼氏・長篠菅沼氏・作手奥平氏)、野田菅沼氏の人質など11~14名で、処刑は城下の吉田山龍拈寺で行われた
- 1561年8月11日-09:00|日本|島根県江津市|永禄4年7月|福屋隆兼、毛利氏に対して謀叛して尼子氏に従属
- 1561年8月11日-09:00|日本|滋賀県米原市|永禄4年7月1日|<太尾城合戦>箕浦城主今井定清は佐和山城主磯野丹波守の加勢を得て六角方に奪われていた太尾城を奪還すべく夜襲を試み忍の者と田辺式部が密かに城中に侵入し火の手をあげそれを合図に本丸二の丸を一挙に攻める手はずが数時間遅れたため焦った今井定清は誤って磯野の兵に討たれた
- 1561年8月16日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄4年7月6日|<長沢戦い>松平元康が牛久保攻めの帰りに今川方糟谷善兵衛と小原藤十郎の守る長沢の城を山路が狭く険しいことから軍勢を二手に分け攻め落とした
- 1561年8月21日-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」2度目の結婚
- 1561年8月22日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|永禄4年7月12日|<合戦>島津貴久が大隅廻城を攻め、島津貴久の弟忠将(42)が戦死するが城は落とす
- 1561年8月25日-09:00|日本|福岡県田川郡香春町|永禄4年7月15日|大友軍は、香春岳城の各砦を落とし、本丸にいた原田義種は自害
- 1561年9月2日-09:00|日本|大阪府岸和田市|永禄4年7月23日|畠山高政を総大将に、安見宗房、遊佐信教、根来衆1万兵で岸和田城を取り囲んだ
- 1561年9月7日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「アントニオ・バランシスコ・コウチニョ」(~15640219)
- 1561年9月7日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄4年7月28日|<將軍地蔵山の戦い(山城国)>細川晴之・六角義賢と三好義興・松永久秀が勝軍地蔵山で戦い細川・六角連合軍が勝利
- 1561年9月8日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄4年7月29日|<野田城合戦>飯尾豊前守・大原資良、牛久保・二連木・伊奈等を率い、伊賀忍び先導に野田城・菅沼定盈・援軍西郷元正を夜襲/菅沼定盈和議を乞い、城明け渡しして西郷高城砦に引く/大原資良、新城菅沼定忠攻め、松井兵右衛門・鈴木甚平・稲垣十郎左衛門・倉川弥八郎討死。野田城に退く
- 1561年9月10日-09:00|日本|愛知県|永禄4年8月|<解任>尾張国守護「斯波義銀」吉良・石橋家と謀って河内の服部左京助の手筈で海上より駿河軍を招こうとしたため織田信長により追放
- 1561年9月10日-09:00|日本|長崎県平戸市|永禄4年8月|<宮/前事件>肥前平戸の七郎/宮の門前、ポルトガル商人フェルナンデスら13人と日本人1人が綿布の取り合いで「イコザ」。そこに松浦家臣伊藤基三郎が通りかかり、フェルナンデスらは伊藤に斬られると勘違いして襲いかかる。伊藤は13人を斬る
- 1561年9月10日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年8月1日|大友義鎮が豊前門司城を陸からは吉弘加兵衛尉の一万五千で、海からはポルトガル船の砲撃で総攻撃
- 1561年9月12日-09:00|日本|愛知県|永禄4年8月3日|木下藤吉郎(25)、織田家弓衆浅野又右衛門長勝の養女おね(実父杉原定利)の入婿となる
- 1561年9月18日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|永禄4年8月9日|鶴殿長照、岡崎勢と戦い、即切崩し随分の敵8人討ち取る
- 1561年9月24日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|永禄4年8月15日|逸見昌経、朝倉・武田氏の攻撃を受け高浜城より退却
- 1561年9月27日-01:00|イタリア| |||<死去>ジェノヴァ共和国ドージェ「パオロ・パチタ・ジウダニス・カガイ」
- 1561年9月29日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄4年8月20日|長沢城糟谷宗益・小原鎮宗、松平信一・石川家成に攻められる/徳川方高木広正、敵兵鶴川権蔵を討取る/徳川方渡辺守綱、小原鎮宗を討取る
- 1561年10月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ネリフェ島知事代理「Alonso de Llarena」(2期目~1562年)
- 1561年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イ・セバステアノ・オフリ」 「フランチェスコ・デ・イ・ピエール・パオ・マルテッリ」
- 1561年10月3日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄4年8月24日|三河・松平元康、今川属城・長沢城(糟谷善兵衛)を攻略
- 1561年10月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「パチタ・シラ・ザグリア」(~15631004)

1570迄 (1937件)

- 1561年10月9日-09:00|日本|福岡県田川郡香春町|永禄4年9月|毛利軍は、大友方志賀鑑隆が守る香春岳城攻略/大友の城將志賀常陸介らは、城を捨て豊後へ退却
- 1561年10月10日-09:00|日本|福岡県飯塚市|永禄4年9月2日|<門司城合戦>戸次鑑連、田原親賢、臼杵鑑速らは、和布刈神社近くの城下まで進出して筑前城山城(宗像氏貞・毛利方)を攻撃
- 1561年10月12日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|永禄4年9月4日|<大塚城戦い>今川軍、大塚城の岩瀬吉右衛門を攻める/千賀と五兵衛戦功。徳川方稲垣林四郎氏連、敵二人討取るが鶴殿新平により討死
- 1561年10月15日-09:00|日本|広島県東広島市|永禄4年9月7日|平賀広相、大檀那として、賀茂郡高屋福岡八幡宮の社殿を造立
- 1561年10月17日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|永禄4年9月9日|吉良義昭に属す鶴殿長祐、宝飯郡形原城を攻めて、数ヶ所の手傷を負いながら奮戦
- 1561年10月18日-09:00|日本|長野県長野市|永禄4年9月10日|<第四次川中島の戦い>上杉政虎は波状攻撃で武田晴信軍に襲いかかった/武田軍は鶴翼の陣を敷いて応戦したものの、信玄の弟の武田信繁や山本勘助、諸角虎定、初鹿野忠次らが討死するなど、劣勢、手薄となった信玄の本陣に政虎が斬り込みをかけた/武田別働隊の到着によって上杉軍は挟撃される形となり形勢不利となった政虎は、兵を引き犀川を渡河して善光寺に敗走、越後国に引き上げた/この戦による死者は、上杉軍が3000余、武田軍が4000余
- 1561年10月19日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄4年9月11日|<五本松城の戦い>宇津山城主朝比奈泰光・西郷正勝の弟西郷照員、五本松城西郷正勝ら70人を夜討し討取る。月ヶ谷城主西郷元正14人駆付け討死/夜、菅沼定盈、西郷に築いた砦を攻めてきた牧野清定・牧野成定を防ぐ
- 1561年10月21日-01:00|フランス| |||僧侶、身分、国庫への財政的援助に同意\* ワン協定が成立
- 1561年10月21日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄4年9月13日|<藤波礮合戦>松平元康、東条城を開城。吉良義昭は降伏。西三河を平定
- 1561年10月21日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄4年9月13日|<川上峡合戦>竜造寺隆信の挑戦状を受け取った神代勝利は、川上へ出陣し合戦、裏切りが出たため神代勝利は竜造寺の追ってを振り切り、波佐見へと逃亡
- 1561年10月21日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年9月13日|<第四次門司城の戦い>小早川隆景は、堀立壱岐守の手勢や豊後守護代杉氏の一族の軍800を決死隊として関門海峡を渡らせ、大友軍の包囲網を切り崩して門司城に入らせた/隆景は児玉就方に命じ、安芸河の内水軍数十艘で豊筑沿岸を襲撃させ、大友軍の背後を攪乱させた/大友軍は、豊前沼の毛利軍支隊を襲撃するが大勢に影響せず
- 1561年10月27日-01:00|スペイン| |||アギレ、ペル征服を唱え、セロ川からリゴに入るが、バルサメントの決戦に敗れ敗死
- 1561年10月30日-09:00|日本|京都府京都市|永禄4年9月22日|絵師・土佐光茂が正親町天皇筆の般若心経に金銀泥絵を描く
- 1561年11月 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Alonso Bernaldez de Quiros」(1期目~1562 0903)
- 1561年11月4日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「デ・イゴ 1世ソング・アムンティ」
- 1561年11月4日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「アフォンソ2世ムンバ・アソング」(~12.1没)
- 1561年11月5日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|永禄4年9月28日|織田信長が、美濃堂洞城の斉藤方岸勘解由らを攻め、これを落とす
- 1561年11月7日-09:00|日本|千葉県香取市|永禄4年10月|安房里見家の重臣である上総勝浦城主・正木時忠は下総国に乱入すると、千葉氏の城を次々に落として香取郡小見川富田台に陣取って周辺地域を襲う
- 1561年11月11日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄4年10月5日|北条氏康、武田信玄に応じ、松山城を攻める
- 1561年11月16日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年10月10日|明神尾の激戦/浦宗勝、児玉就らは毛利水軍を率いて門司沿岸に上陸、大友軍と激突/宗勝と大友側の将、伊美弾正が一騎討ちを演じ、宗勝の勝利で決着
- 1561年11月18日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ヨハネ2世専制侯」(篡奪者~15631109没)
- 1561年11月28日-02:00|ラトビア| |||<就任>ケルラント・ゼムガレン公「ゴットハルト・ケトラ」(~15870517、死去)
- 1561年11月28日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄4年10月22日|<島田城の戦い>島田城菅沼刑部定直を、今川方奥平監物丞貞能攻める/奥平貞能の家臣黒谷半六郎、奥平助次郎包久と相打ち、奥平兵藤五郎太夫は菅沼氏被官一人討取る
- 1561年11月30日-09:00|日本|愛知県名古屋市中区|永禄4年10月24日|古橋重次ら、尾張国広井八幡社の社殿を建立
- 1561年11月30日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄4年10月24日|伊東義祐勢(平良兼賢ら)、飢肥長善寺の北原勢を討滅
- 1561年12月 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯「アングロ・ズ・ダトリー」先代の弟(~15900221死去)
- 1561年12月1日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「アフォンソ2世ムンバ・アソング」
- 1561年12月1日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「バルナルト 1世」(~15 670410没)
- 1561年12月2日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年10月26日|<第四次門司城の戦い>大友軍の再度の門司城総攻撃。和布刈神社の裏手から門司山麓に迫った大友軍は、臼杵、田原、戸次、斎藤、吉弘という大陣容で攻め、臼杵鑑速と田原親賢らの鉄砲隊が小早川勢に射ち込み損害を与えたが、城を落とすことは出来ず日没となり、大友軍は大里まで引き上げた

1570迄 (1937件)

- 1561年12月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・テッサ侯「Joachim1世」アンハルト・ツェルプスト侯国へ統合
- 1561年12月7日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|永禄4年11月|尾張国村木村の八幡大菩薩社の社殿が建立される
- 1561年12月11日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年11月5日|大友義鎮が豊前門司城から撤兵
- 1561年12月11日-09:00|日本|福岡県京都郡苅田町|永禄4年11月5日|毛利元就が豊前松山城を攻略
- 1561年12月12日-09:00|日本|島根県大田市|永禄4年11月6日|福屋隆兼,毛利氏に叛き,石見国福光城を攻める/毛利元就,同国河本に発向.隆兼敗走
- 1561年12月12日-09:00|日本|福岡県|永禄4年11月6日|小早川隆景は水軍衆を引き連れ,撤退中の大友軍に打撃を与えた/毛利軍は松山城と香春岳城ら北豊前の諸城を占領
- 1561年12月14日-09:00|日本|神奈川県三浦市|永禄4年11月8日|里見義弘が水軍を率いて北条領相模三浦に攻め寄せる
- 1561年12月17日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄4年11月中旬|武田信玄上野に入り和田城攻略,高田氏降伏させる
- 1561年12月24日-09:00|日本|群馬県富岡市|永禄4年11月18日|武田信玄,上野に侵攻し,高田城を攻略し,倉賀野城を包囲する
- 1561年12月26日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄4年11月20日|武田信玄が碓氷峠を越え上野甘楽郡国峰城を攻略
- 1561年12月30日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄4年11月24日|<将軍地蔵山の戦い>松永久秀,勝軍地蔵山・神楽岡を攻め,六角義賢に与する永原重澄・薬師寺兄弟・柳本兄弟らを討つが六角軍弓隊の一斉射撃を受け,多数の死傷者を出し敗走
- 1561年12月30日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄4年11月24日|武田信玄が上杉方の国峰城を攻撃,占領.国峰城に小幡憲重・信実(小幡信真)父子を復帰させる
- 1562年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>アンボン島ポルトガル首領「Antonio Pais」(~1564.4死去)
- 1562年-07:00|ロシア/タイ| |||アユタヤとランカ間で対ヒルマ盟約がなる
- 1562年-05:30|インド| |||<即位>ペラル王国(イマート・シャーヒー朝)スルタン「フルハン・イマート・シャー」(~1574年)
- 1562年-04:00|アゼルバイジャン| |||<建国>ツァル(1725年頃からイリス)スルタン国
- 1562年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「ミール・シャリフ・シラジ」(~1566年)
- 1562年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラ・ワリス「ターグ・イッシュ・アリ・ハシヤ」(~1596年)
- 1562年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ウエツィアのカンテ・イア公「マルコ・グリマーニ」(~1564年)
- 1562年-01:00|ポンスニア・ルツェゴヒナ/トルコ| |||<就任>ポンスニア総督「ジャン・ペイ」(~1564年)
- 1562年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Miguel de Meneses」(~1563年)
- 1562年-01:00|フランス| |||<即位>エタンフ公「Jean4世 de Brosse」(~1564年死去)
- 1562年 00:00|イギリス| |||<就任>初代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」(~15700111死去)
- 1562年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Diego de Aguila y Toledo」(~1568年)
- 1562年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テネリフェ島知事「Pedro de Ponte」(~同年)⇒「Armenteros de Paz」(~1565年)
- 1562年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「マヌエル・デ・メスキータ・ペレストレロ」⇒「ジョアン・ヴァス・デ・アルマダ・ファルカン」
- 1562年 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ諸島のコレクター/治安判事「バルナルド・デ・アルホム」(~1566年)
- 1562年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ペドロ・セロン(3回目)」(~1564年)
- 1562年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴとコスタリカの市長「ファン・バスクス・デ・コロナド・ダ・アヤ」(~1565年没)
- 1562年 07:00|メキシコ| |||イバラがメキシコ北部のヌエバ・ビスカヤの征服に着手
- 1562年1月 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴ 総督代行「ファン・デ・エストラダ・ラバゴ・イ・アエリス」(~11月)
- 1562年1月1日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄4年11月26日|小早川軍,門司表で大友軍を破る
- 1562年1月2日-09:00|日本|埼玉県本庄市|永禄4年11月27日|上杉政虎,生野山(生山)の戦い/北条氏康軍に敗れる
- 1562年1月5日-09:00|日本| ||永禄4年12月|<雲芸和議>毛利氏と尼子氏,足利義輝の斡旋を受け和睦
- 1562年1月5日-09:00|日本| ||永禄4年12月|<改名>関東管領・越後国主「上杉政虎」⇒「上杉輝虎」
- 1562年1月5日-09:00|日本| ||永禄4年12月|上杉輝虎軍の成田長康,佐野昌綱,小山高朝,小田氏治等が叛いて北條氏康に必ず
- 1562年1月5日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・正治4年12月|<死去>莫朝(大越)第4代皇帝「宣宗莫福源」
- 1562年1月5日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・光宝8年12月|<即位>大越莫朝5代皇帝「英祖莫茂洽」(~15921228死去)
- 1562年1月14日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄4年12月10日|<第二次唐沢山城の戦い(下野国)>上杉謙信は唐沢山城の佐野盛綱を攻めたが落とせず冬になると厩橋城に引き上げた
- 1562年1月17日-01:00|フランス| |||フランス摂政政府は,宮廷内の党派争いに扇動された地方の無秩序を抑えるべく,サン・ジェルマン勅令(1月勅令)を発した/反乱を回避するためにユグノーに譲歩をし,城壁外および屋内での礼拝を容認
- 1562年1月19日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄4年12月15日|武田晴信が北條氏康と俱に上野国の倉賀野城を攻め上杉方「倉賀野直行」が防衛勝利
- 1562年1月25日-09:00|日本|鹿児島県|永禄4年12月21日|島津氏と肝付氏の間一旦和議が成立
- 1562年1月29日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄4年12月25日|飯盛山城の支城となっていた三箇城の城主・三好政成が畠山軍の武将・宮崎隠岐守の奇襲にあい,討ち死に落城

1570迄 (1937件)

- 1562年1月30日 00:00 | イギリス | ||| <就任>初代マリー伯「ジェームズ・ステュアート」(⇒15620207兼初代マリー伯~15700111死去)
- 1562年2月3日-09:00 | 日本 | 鹿児島県 | 永禄4年12月30日 | 島津氏、飢肥と志布志を伊東方に割譲
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 鹿児島県志布志市 | 永禄5年 | 肝付兼続が日向国志布志城(島津忠朝)を攻略し肝付氏の最大領土を形成
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 島根県雲南市 | 永禄5年 | 毛利元就に出雲三刀屋城(三刀屋久扶)が降る
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 島根県松江市 | 永禄5年 | 毛利元就が出雲洗骸城築城
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 千葉県 | 永禄5年 | <交替>安房国主「里見義堯」隠居⇒「里見義弘」(~天正6年5月20日(15780705)死去)
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 長崎県壱岐市 | 永禄5年 | 波多信時が壱岐国分天満祠[芦辺町]を再建
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 長崎県壱岐市 | 永禄5年 | 文明和上が妙喜山源長寺を布城[立石南触]に開く
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 兵庫県揖保郡太子町 | 永禄5年 | 播磨国斑鳩寺三重塔再建
- 1562年2月4日-08:00 | 中国 | ||| 明・嘉靖41年 | 明で鄭若曾の「籌海図編」が完成
- 1562年2月4日-07:00 | ベトナム | ||| 大越莫朝・淳福1年 | 大越莫朝・淳福と改元(-1565)
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 静岡県湖西市 | 永禄5年1月 | 延兼山妙立寺(湖西市吉美)の塔中樽栄坊から出火し、大明・円行2坊と宝蔵が全焼
- 1562年2月4日-09:00 | 日本 | 島根県邑智郡邑南町 | 永禄5年1月1日 | <余勢城合戦>毛利元就、多胡辰敬に勝利/多胡辰敬は自害
- 1562年2月7日 00:00 | イギリス | ||| <就任>初代マリー伯「ジェームズ・ステュアート」初代マリー伯(~15700111死去)
- 1562年2月18日-09:00 | 日本 | 愛知県 | 永禄5年1月15日 | 織田信長・松平元康が清洲城で会見/清洲同盟と呼ばれる盟約が成立
- 1562年2月25日-09:00 | 日本 | 宮崎県えびの市 | 永禄5年1月22日 | 北原兼孝、北原旧臣の平良兼賢と伊東家臣の長倉祐政により飯野城より誘き出されて殺害された
- 1562年2月26日 10:00 | 日本 | 大阪府大阪市中央区 | 永禄5年1月23日 | 夜、石山本願寺の寺内町で大火が起こり二千軒余が焼失/堂舎は火を逃れる
- 1562年2月27日-02:00 | エストニア/スウェーデン | ||| <死去>スウェーデン・エストニア総督「ニコラス男爵ラス・イヴァリッソン・フレミング・ス・ストルム」
- 1562年2月27日-02:00 | エストニア/スウェーデン | ||| <就任>スウェーデン・エストニア総督「ヘンリック・クラッソン・ホルム・ス・カス」(1回目~6月)
- 1562年3月-08:00 | インドネシア/ポルトガル | ||| <就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Henrique de Sa」(~1564年)
- 1562年3月1日-01:00 | フランス | ||| <グアシーの虐殺>シヤン・ニュのグアシーでギーズ家の郎党が礼拝をしていたカヴァン派を襲撃し、虐殺/クノ戦争の発端となる
- 1562年3月1日 10:00 | 日本 | 埼玉県さいたま市西区 | 永禄5年1月26日 | 北条氏康は武蔵国慈眼寺を焼く
- 1562年3月5日-02:00 | エストニア/リトアニア | ||| オゼル島(リトアニア騎士団の領土)がリトアニアのリトアニア公国の一部となる
- 1562年3月5日-09:00 | 日本 | 茨城県古河市 | 永禄5年2月 | <解任>古河公方「足利藤氏」北条氏康に攻められ逃亡
- 1562年3月5日-09:00 | 日本 | 茨城県古河市 | 永禄5年2月 | 北条氏康は古河を攻め、藤氏を追い出し、支配下に入れる
- 1562年3月5日-09:00 | 日本 | 岐阜県飛騨市 | 永禄5年2月 | 武田信玄、飛騨諏訪城を攻める
- 1562年3月6日-09:00 | 日本 | 愛知県蒲郡市 | 永禄5年2月2日 | <上之郷城の戦い>竹谷松平玄蕃允清善、上之郷城(蒲郡市市神/郷)を攻め70余級討取る
- 1562年3月7日-09:00 | 日本 | 愛知県蒲郡市 | 永禄5年2月3日 | <上之郷城の戦い>竹谷松平玄蕃允清善、上之郷城(蒲郡市市神/郷)を攻め敗れ家士数多討死
- 1562年3月8日-09:00 | 日本 | 愛知県蒲郡市 | 永禄5年2月4日 | <上之郷城の戦い>松平元康が、今川氏真に属する上/郷城を攻めて城將鶴殿長照を殺す/長照の2子を捕え、今川方に人質同然の築山殿・竹千代(信康)・亀姫と交換(長照の母は義元の妹、氏真と長照は従兄弟の間柄)
- 1562年3月9日-09:00 | 日本 | 島根県邑智郡邑南町 | 永禄5年2月5日 | 毛利元就が尼子方の刺賀岩山城(城主多胡辰敬)を落とす。多胡辰敬は城を枕に討死
- 1562年3月10日-09:00 | 日本 | 島根県江津市 | 永禄5年2月6日 | <松山城の戦い>毛利軍の攻撃で松山落城して城主福屋次郎隆任は戦死
- 1562年3月21日-09:00 | 日本 | 群馬県館林市 | 永禄5年2月17日 | <館林城合戦>上杉謙信が上野・館林城(赤井照景)を攻略し、館林城將に長尾当長を任ずる
- 1562年3月24日-09:00 | 日本 | 宮崎県日南市 | 永禄5年2月20日 | 島津氏、飢肥城を伊東氏に明け渡す/島津忠親は飢肥城を捨て串間に逃げた
- 1562年3月26日-09:00 | 日本 | 鹿児島県志布志市 | 永禄5年2月22日 | 伊東方、志布志を肝付氏に割譲することで交渉成立
- 1562年3月26日-09:00 | 日本 | 京都府相楽郡南山城村 | 永禄5年2月22日 | 松永久秀、多聞山より南山城へ出陣、筒井氏に加担した狛・稲八妻氏と戦う
- 1562年3月27日-09:00 | 日本 | 奈良県 | 永禄5年2月23日 | 反三好、親畠山・六角の国人一揆が大和で起こる
- 1562年3月27日-09:00 | 日本 | 奈良県奈良市 | 永禄5年2月23日 | 柳本城から多聞山へ帰陣した十市氏・郡山辰巳向井氏が筒井衆と戦い敗れる
- 1562年3月28日-09:00 | 日本 | 愛知県新城市 | 永禄5年2月24日 | <富永口の戦い>稲垣平右衛門尉重宗、三浦右衛門大夫義鎮を設楽郡富永に案内し、先陣として随近の敵一人討取る/富永城菅沼定盈が一宮砦に加勢のため出陣してくるのを牽制/今川氏真25歳、三河に出馬し牛久保城に入る/今川軍千余、一宮砦本多百助信俊5百人を攻め、端城二つ攻落す。松平元康3千にて後詰
- 1562年3月30日-09:00 | 日本 | 福岡県京都郡苅田町 | 永禄5年2月26日 | 毛利軍1万余、松山城を攻め、首級1千余をあげ

1570迄(1937件)

大勝

- 1562年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジ・ローモ・ジ・ジャンニニ」「クラウデ・イ・ベルツツイ」
- 1562年4月2日-01:00|フランス| |||フランス、ルイ・ド・コンテ、カレアンを占領、ユグノー派の暫定的な首都とする
- 1562年4月2日-09:00|日本|島根県江津市|永禄5年2月29日|石見・毛利元就、音明城(福屋隆兼)を攻略し、石見を平定/隆兼、出雲を経てのちに大和へ逃亡
- 1562年4月4日-09:00|日本|大阪府|永禄5年3月|<就任>河内国守護「畠山高政」(~5月没落)
- 1562年4月4日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄5年3月|長光寺、建正院祐岳善宗居士によって創立
- 1562年4月8日-09:00|日本|大阪府河内長野市|永禄5年3月5日|<第2次久米田合戦>畠山高政が紀伊根来衆・十市遠勝らと和泉久米田に三好実休(義賢=長慶の弟)を破り、三好方にあった高屋城を回復。三好実休は討死。三好長治が家督継承
- 1562年4月9日-09:00|日本|大阪府岸和田市|永禄5年3月6日|安宅冬康は在番していた岸和田城(和泉国)を放棄、同城は畠山高政の支配下となる
- 1562年4月9日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年3月6日|上京・下京、兵火により焼亡
- 1562年4月9日-09:00|日本|京都府八幡市|永禄5年3月6日|足利義輝、和泉国での敗戦により洛中より八幡へ移座
- 1562年4月10日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年3月7日|畠山高政・六角義賢(承禎)が洛中へ進軍、占拠
- 1562年4月16日-01:00|フランス| |||「ユグノー軍」フランス北部のルアンを制圧
- 1562年4月17日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄5年3月14日|<第三次唐沢山城の戦い>上杉謙信が下野・唐沢山城を攻めるが失敗し、上杉憲政と越後に帰る
- 1562年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年3月18日|六角義賢が洛中を占拠。徳政令を出す
- 1562年5月1日-01:00|フランス/アメリカ| |||「ジャン・リボ」らのユグノーがフロリダに到着し植民開始
- 1562年5月7日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄5年4月5日|六角義賢に呼応した畠山高政が長慶を飯盛城に攻める
- 1562年5月7日-09:00|日本|三重県津市|永禄5年4月5日|北畠具信(川原之御所)、北畠「大御所」を襲撃し北畠「御所様」を殺害する/北畠具信(川原の御所)親子はその場で殺害される
- 1562年5月9日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄5年4月7日|<富永城の戦い>富永城菅沼定盈、今川軍に計略を以って攻められ開城し西郷高城砦に移る。千賀与五兵衛、富永城牧野成定在番で敵一人討ち取る
- 1562年5月13日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄5年4月11日|畠山高政の軍勢が飯盛山城の周辺の城を攻略し終える
- 1562年5月14日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄5年4月12日|松平元康、鳥屋根城(豊川市長沢町)を攻める
- 1562年5月22日-09:00|日本|東京都葛飾区|永禄5年4月20日|<葛西城合戦>北条氏康、本田氏・興津氏らに命じて、里見氏家臣・網代大炊允の守備する葛西城を再び攻略
- 1562年6月2日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王国パラチン「タマス・グロフ・ナダステイ・ナダステイ・イス・フカラスフェルティ」
- 1562年6月2日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王国パラチン代行「アントン・シュバートリ・エクセティ」(~9.25)
- 1562年6月2日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|永禄5年5月|<交替>常陸太田領主「(佐竹氏第17代当主)佐竹義昭」隠居⇒「佐竹義重」が家督継承
- 1562年6月2日-09:00|日本|大分県|永禄5年5月|<改名>豊前・豊後・筑前・筑後・肥前・肥後国守護「大友義鎮」出家⇒「大友瑞峰宗麟」
- 1562年6月2日-09:00|日本|大阪府|永禄5年5月|<就任>河内国守護「三好康長」(~永禄11(1568)年9月没落)
- 1562年6月2日-09:00|日本|群馬県|永禄5年5月|武田信玄、再び西上野に侵攻
- 1562年6月2日-08:00|中国| |||明・嘉靖41年5月|広東の張璉の反乱、明軍に鎮圧される
- 1562年6月2日-09:00|日本|大分県臼杵市|永禄5年5月1日|大友義鎮が居城を豊後府内の大友館から臼杵城(丹生島城)に移す
- 1562年6月4日-09:00|日本|愛知県犬山市|永禄5年5月3日|犬山城主織田信清が織田信賢・宇留摩城主大澤次郎左衛門基康と組んで反旗し楽田城を奪う
- 1562年6月4日-09:00|日本|愛知県知多郡|永禄5年5月3日|知多水軍千賀親久・重親、今川氏に背き織田方に属す
- 1562年6月4日-09:00|日本|岐阜県本巣郡|永禄5年5月3日|織田信長が美濃本巣郡に軍を送り齋藤龍興軍と交戦するも敗退
- 1562年6月6日-09:00|日本|三重県|永禄5年5月5日|<死去>伊勢長野領主「長野藤定」37歳⇒養子の「長野具藤」が継ぐ(~永禄11(1568)年解任)
- 1562年6月8日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄5年5月7日|<富永城の戦い>今川方牧野成定在番で敵一人討ち取る。稲垣重宗戦功
- 1562年6月9日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|永禄5年5月8日|真田幸隆の誘いに大戸城の大戸浦野氏が武田方へと離反/浦野氏が攻め込んだ長野業氏ら80余名を討ち取る
- 1562年6月11日-01:00|イタリア/トルコ| |||クリストフォ・カール、イオニア海で四隻のトルコ船を撃滅
- 1562年6月11日-09:00|日本|宮崎県|永禄5年5月10日|相良家の人吉勢、北原家再興に助力し、伊東家が篡奪した真幸院へ討ち入り、1日で5つの城を落とす
- 1562年6月19日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄5年5月18日|日向佐土原領主「伊東義益」が飢肥の完全なる領有に成功
- 1562年6月20日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|永禄5年5月19日|<葉引野合戦>三好康長、畠山高政・根来寺の連合軍に勝利。湯川直光は討死/湯川衆が総崩れ、続いて雑賀衆、大和衆が敗走し、多くが討ち死に/河内衆、譜代衆も総崩れとなり本陣崩壊、譜代衆の多くが討ち死に
- 1562年6月21日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄5年5月20日|畠山高政・紀伊根来寺衆徒らが三好康長の飯盛山城

1570迄 (1937件)

- を攻めるが、援軍の松永久秀・三好康長らに敗れて紀伊へ敗走
- 1562年6月21日-09:00|日本|福井県小浜市|永禄5年5月20日|武田氏家臣の大塩氏と南部氏が遠敷郡尾崎村で戦い、大塩氏が敗北
- 1562年6月24日-09:00|日本|岐阜県本巣市|永禄5年5月23日|<美濃軽海の戦い>織田軍は十四条の戦いで斎藤勢に敗退、追撃してきた斎藤勢と西美濃の軽海で合戦/斎藤勢は退却
- 1562年6月25日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄5年5月24日|松永久秀、「菩提山寺」の筒井陳を攻め、坊舎を残らず焼き蔵物を奪う
- 1562年6月26日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄5年5月25日|松永久秀、「矢田寺」(奈良県大和郡山市)の諸坊を悉く焼き払う、「東明寺」松尾・平群谷・生駒谷を焼く
- 1562年6月30日-02:00|エストニア/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン・エストニア総督「スガ・アンテ・ステンソン・シュール」(~15640727)
- 1562年7月1日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||オスマン帝国のスレイマン1世と神聖ローマ帝国フェルディナント1世の間の和約が成る/ハンガリー全土がオスマン帝国領となる
- 1562年7月2日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄5年6月|今川氏真が18,000の兵を率いて出陣、三河の牛久保城へ入る。今川軍が牛久保城の北にある一宮砦(城主 本多信俊)を攻撃。元康は兵3,000にて出陣、敵陣を突破して一宮砦の本多信俊を救出して退却する。その後氏真も武田軍が駿河へ侵攻するとの噂を聞き、撤退
- 1562年7月2日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄5年6月|小田氏治、北条氏康と和睦、上杉方から北条方へ離反
- 1562年7月2日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄5年6月|武田信玄が再度上野へ侵攻、和田城を攻撃、占領
- 1562年7月2日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|永禄5年夏|南条宗勝は毛利氏が尼子氏を攻めると、毛利氏を頼り、三十数年ぶりに羽衣石城を奪回
- 1562年7月3日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄5年6月2日|<野田城合戦>菅沼定盈、野田城を奪回
- 1562年7月3日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年6月2日|六角義賢が三好長慶に降伏和睦して京都占領を中止
- 1562年7月4日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|永禄5年6月3日|<横川城の戦い>島津義弘が島津歳久・新納忠元とともに北原領の横川城を占領
- 1562年7月9日 00:00|ポルトガル/ブラジル| ||ケアンパペを指導者とする先住民族連合ふたたび反乱
- 1562年7月9日-09:00|日本|島根県大田市|永禄5年6月8日|<山吹城の戦い>毛利元就、石見・山吹城(本城常光)を攻略し、大森銀山を獲得
- 1562年7月16日-09:00|日本|長崎県|永禄5年6月15日|日本布教長のトルスガルス・デ・アルメイダに命じて大村純忠と交渉/大村純忠は平戸に代わる港として横瀬浦を開港[開港協定]・布教の自由・会堂の建設・横瀬浦港町の半分の土地と農民を教会に治めさせる
- 1562年7月19日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄5年6月18日|和田城の和田業繁、上杉謙信に反旗を翻し武田家に帰属
- 1562年7月22日-09:00|日本|愛知県丹羽郡大口町|永禄5年6月下旬|<小口城合戦>信長は犬山城主の織田信清の重臣中島豊後守が守る於久地(小口)城を攻め近習の岩村長門守がこめかみを突かれて戦死
- 1562年7月23日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年6月22日|將軍足利義輝、京都を奪回し帰京
- 1562年7月23日-09:00|日本|三重県伊勢市|永禄5年6月22日|伊勢の国山田の神人ら宇治を攻めて内宮を焼く
- 1562年7月24日-09:00|日本|和歌山県田辺市|永禄5年6月23日|熊野本宮が焼ける
- 1562年7月27日-09:00|日本|大阪府|永禄5年6月26日|三好長慶、河内国平定のため出兵
- 1562年7月31日-09:00|日本|鳥取県東伯郡湯梨浜町|永禄5年7月|毛利軍が南条宗勝を支援、南条宗勝が伯耆の羽衣石城を奪還
- 1562年7月31日-09:00|日本|新潟県上越市|永禄5年7月|上杉輝虎が五智如来堂を再建
- 1562年7月31日-09:00|日本|福岡県田川郡香春町|永禄5年7月|大友軍は再び香春岳城を攻め落とし、原田親種を追い出して、城将・千手宗元を降伏させる
- 1562年8月2日-09:00|日本|愛知県知多郡|永禄5年7月3日|尾張知多郡の今川水軍、信長に属する
- 1562年8月2日-09:00|日本|富山県魚津市|永禄5年7月3日|上杉輝虎(33、謙信)、松倉城の椎名康胤の救援の為に越中に出陣。越中守護代・神保長職が征伐を受ける
- 1562年8月3日 00:00|イギリス| ||<死去>16代オックスフォード伯「ジョン・ド・ウァー」
- 1562年8月3日 00:00|イギリス| ||<就任>17代オックスフォード伯「エドワード・ド・ウァー」先代の子(~16040624死去)
- 1562年8月5日 00:00|ポルトガル| ||<就任>初代ハルヘロス公「ジョアン1世」(~15630922)
- 1562年8月12日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄5年7月13日|(~14日)毛利軍の出雲侵攻を受け、大友軍が門司城を攻撃。落城できず対峙
- 1562年8月15日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|永禄5年7月16日|松永久秀方の箸尾為綱が箸尾城を築く
- 1562年8月15日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|永禄5年7月16日|松永久秀方の箸尾為綱が伴堂・金剛寺両城を破却
- 1562年8月16日-09:00|日本|群馬県吾妻郡中之条町|永禄5年7月17日|庵原忠胤・小原藤五郎鎮宗3千、三浦土佐守に属し叛した遠江国嵩山城奥山修理亮貞範を攻め落す/織田信長の援軍の将白石縫殿助を討取る
- 1562年8月19日-09:00|日本|千葉県長生郡一宮町|永禄5年7月20日|上総・勝浦城将・正木時忠、里見義弘属城・一宮城(糟谷大炊助)を攻略
- 1562年8月24日-09:00|日本|佐賀県多久市|永禄5年7月25日|龍造寺隆信の軍勢が梶峯城をおとす。前多久氏亡ぶ
- 1562年8月25日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄5年7月26日|<嵩山中山の戦い>宇津山城主朝比奈泰光、五本松城の支城八名郡堂山城攻落
- 1562年8月25日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|永禄5年7月26日|<赤浜原の合戦>小田原北条方の松山城主上田氏の家臣山田伊賀守が上杉輝虎方の太田三楽斎資正の配下の道祖土図書助に討ち取られた

1570迄(1937件)

- 1562年8月27日-09:00|日本|島根県|永禄5年7月28日|毛利元就、赤穴から出雲侵入し、高瀬城主・米原綱寛、三刀屋城主・三刀屋久扶、白鹿城主・松田誠保ら出雲諸将を降伏させる
- 1562年8月30日-09:00|日本|群馬県吾妻郡長野原町|永禄5年8月|上野国長野原の戦いで大戸氏、真田幸隆に降伏
- 1562年8月30日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄5年8月|<移転>大和信貴山領主「松永久秀」⇒大和多聞山(永禄6(1563)年12月14日隠居)
- 1562年8月30日-09:00|日本|愛知県一宮市|永禄5年8月1日|尾張国奥村の総氏子、千野社本殿を再建
- 1562年9月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのベイルベグ代行「アフマト・パシャ・カバア」(同年)⇒「ハサン・パシャ」(3回目~1566年)
- 1562年9月3日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Alonso Perez de Manzanedo」(~15630623死去)
- 1562年9月4日-09:00|日本|岡山県|永禄5年8月6日|<任命>備中・備後国守護「毛利隆元」(~永禄6(1563)年8月4日死去)
- 1562年9月13日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|永禄5年8月15日|常陸・相馬盛胤、太田城攻略を図るも佐竹義昭迎撃し講和
- 1562年9月16日-09:00|日本|秋田県大館市|永禄5年8月18日|<長岡城の戦い>安東愛季は出羽比内地方へ侵略開始/浅利則祐は扇田・長岡城に籠もって反撃したが長岡城で自刃/比内地方は安東氏が勢力下におさめた
- 1562年9月20日-01:00|チェコ| |||<即位>ホーヘンシュタイン王「マクシミリアン1世」フェルディナント1世の子(~15761012死去)
- 1562年9月20日 00:00|イギリス/フランス| |||ロンドン西郊の旧王宮でイングランド女王エリザベス1世とユグノーのコンテ親王、「軍事同盟」締結(ルイ・コンテがシャルル司教代理とモンモリーを名代としてイングランドに派遣)
- 1562年9月21日-01:00|フランス| |||「ユグノー」指導者「コンテ」公ルイ1世、イングランド女王エリザベス1世と「ハンプトン・コート条約」を結ぶ/「ハンプトン・コートの密約」新教徒への軍事援助の見返りとしてフランス北部のルアーヴル、デイエップ、ルーアンを引き渡す約束をする
- 1562年9月23日-09:00|日本|京都府京都市|永禄5年8月25日|伊勢貞孝父子、將軍義輝の内命で六角義賢・畠山高政と連絡し北山で挙兵、杉坂より入京
- 1562年9月24日 00:00|イギリス| |||<死去>第4代ケント伯「ヘンリー・グレイ」
- 1562年9月24日 00:00|イギリス| |||<就任>第5代ケント伯「レギナルド・グレイ」(~15730317死去)
- 1562年9月25日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督「ミクロス・オラー」(~15680114没)
- 1562年9月28日-09:00|日本|鹿児島県志布志市|永禄5年9月|肝付兼続が島津豊州家の志布志城を攻撃、占領
- 1562年9月28日-09:00|日本|群馬県安中市|永禄5年9月|武田信玄、上野安中城(安中忠成)を攻略
- 1562年9月28日-09:00|日本|奈良県橿原市|永禄5年9月|十市遠勝、松永久秀に降伏。遠勝娘・おなへが多聞山城で人質となる/のちに十市遠勝は十市城から追放され、石橋忠義が城主となる
- 1562年10月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||ジョン・ホーキンスがシエラレオネから新大陸へ奴隷貿易を開始
- 1562年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「ピエール・パオロ・ボネリ」「マルクアントニオ・ゴジ」
- 1562年10月2日-09:00|日本|富山県|永禄5年9月5日|再挙した神保勢、神通川の合戦で上杉勢を破り、神保民部大輔・土肥二郎九郎その他多数を討取る勝利
- 1562年10月4日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリス軍がルアーヴルを占領
- 1562年10月8日-09:00|日本|京都府京都市北区|永禄5年9月11日|<長坂山合戦>三好義興・松永久秀、六角義賢・畠山高政に通じた伊勢貞孝・有馬重則を京都杉坂に攻め、これを討つ。伊勢貞孝・貞良父子は討死
- 1562年10月13日-09:00|日本|高知県高知市|永禄5年9月16日|<朝倉城の戦い>長宗我部元親が3千の兵を率いて本山茂辰の朝倉城を攻撃
- 1562年10月14日-09:00|日本|高知県高知市|永禄5年9月17日|<朝倉城の戦い>本山茂辰の子・親茂の見事な活躍もあって攻め込んだ長宗我部軍が崩れたち逆に神田城に追い込まれる
- 1562年10月14日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄5年9月17日|島津忠広の家臣日置・柏原、夜半飢肥城を攻撃し、混乱に乗じて占拠
- 1562年10月15日-01:00|イタリア| |||ベネチアで厳しく、細目に渡る衛生法施行
- 1562年10月15日-09:00|日本|高知県高知市|永禄5年9月18日|<朝倉城の戦い>長宗我部勢は神田城を打って出て再び朝倉城に迫ったが朝倉城から迎撃に出た本山勢と鴨部の宮の前で遭遇戦となり本山方の死者は343人、長宗我部方は511人/双方ともに決定的な打撃を与えるまでには至らず元親は本拠の岡豊城に兵を退いた
- 1562年10月15日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄5年9月18日|酒谷城の伊東方も全面撤退し、飢肥の新知行地の大半を失う
- 1562年10月16日-09:00|日本|山口県|永禄5年9月19日|<任命>周防・長門国守護「毛利隆元」(~永禄6年8月4日(15630901)死去)
- 1562年10月18日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|永禄5年9月21日|今川方牧野八太夫定成・岩瀬家久、中島城を攻め取る
- 1562年10月19日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄5年9月22日|<大塚城戦い>大塚城主の子息岩瀬家久が今川軍を城中に引き入れ、今川方牧野定成が大塚城を攻落。城主岩瀬吉右衛門は討死
- 1562年10月22日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄5年9月25日|<八幡の戦い>今川方牧野定成、徳川軍と戦い被官と徳川方本多弥次左衛門相討ち/徳川方渡辺六左衛門真綱、八幡御合戦で首級を得る
- 1562年10月26日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル9世と「カトリック勢力」が、「新教徒」の手からフランス北部のルーアンを奪取
- 1562年10月26日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄5年9月29日|<御油台戦い>松平元康、今川氏真の兵を三河御油に破る
- 1562年10月26日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄5年9月29日|武田軍の攻撃により上野国箕輪城主・長野業盛自害

1570迄 (1937件)

、落城

- 1562年10月28日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官・4代ハトリ伯・初代マリ伯「ジョージ・コールドン」
- 1562年10月28日 00:00|イギリス| |||<就任>マリ伯「ジェームズ・ステewart」(~15700123死去)
- 1562年10月28日 04:00|刊| |||刊・サンフアゴ 沖地震 (M8.0)、死者多数
- 1562年10月28日-09:00|日本|神奈川県三浦市|永禄5年10月|里見義弘、相模の三浦三崎を攻め、近辺放火したが大敗し、龍崎縫殿頭兄弟3人ほか20余人討死
- 1562年10月28日-09:00|日本|千葉県富津市|永禄5年10月|上杉輝虎に古河御所を追われた古河公方足利義氏が、氏康の庇護のもと、佐貫城に仮の御所を置く
- 1562年11月1日-09:00|日本|富山県富山市|永禄5年10月5日|越中守護代・神保長職、金屋村の戦い後、富山城に籠り上杉輝虎を迎え撃つ。景虎勢、富山城攻撃。長職は能登守護畠山義綱に仲介を頼み輝虎に降伏(長職の越中統一の野望は潰え去る)。長職の射水・婦負2郡の知行安堵
- 1562年11月9日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄5年10月13日|上杉輝虎(政虎)の家臣が、小幡景貞の守る国峰城を攻略
- 1562年11月9日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄5年10月13日|大友勢と毛利勢、豊前国柳浦にて一戦を交え大友方の大勝利
- 1562年11月10日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄5年10月14日|<第1次稲葉山城合戦>遠藤盛数は討死
- 1562年11月17日-01:00|スペイン| |||<死去>ナワラウ王国国王「アントニオ」44歳/カトリック側に与して「宗教戦争」に参加し、「ルーアの攻囲戦」で負傷していた
- 1562年11月22日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「マクシミリアン2世」フェルディナント1世の息子(⇒15640725神聖ローマ皇帝~15761012)
- 1562年11月27日-09:00|日本|愛知県岩倉市|永禄5年11月1日|織田信長が岩倉城主織田信賢を攻めて追放し尾張統一
- 1562年12月1日-09:00|日本|島根県大田市|永禄5年11月5日|<山吹騒動>吉川元春、宍道・幡屋滞陣中の本城常光と一族郎党を殺害。高矢倉・銀山城を奪取し石見を征服⇒石見国人衆熊野城主熊野兵庫、白鹿城主松田誠保、牛尾城主牛尾信濃守らは動揺し毛利家から離反、再び尼子氏につく
- 1562年12月5日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄5年11月9日|<大代口戦い>松平元康が奥平定直の領地大代に迫ると、奥平貞能自ら救援/被官三日月甚五郎は竹尾新次郎を、被官林与右衛門尉が本田八蔵討取る
- 1562年12月7日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄5年11月11日|武蔵・北条氏康・武田信玄連合軍は松山城を攻め
- 1562年12月19日-01:00|フランス| |||フランス、トルの戦い(パリ西75Km、ブランヴィル(トル近傍)) 国王軍(司令官モンモランシー)、ユグノー軍(ルイ・ド・コンテ軍)に大勝利/国王軍:モンモランシーはユグノー軍の捕虜に、サン・タンクレ元帥は戦死/ユグノー軍:ルイ・ド・コンテは国王軍の捕虜に、ガスパール・ド・コリニは残党をまとめてオルヴァンに向う
- 1562年12月20日-09:00|日本|埼玉県|永禄5年11月24日|武田信玄・北条氏康が連携して上野・武蔵の上杉方の諸城を攻略
- 1562年12月22日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|永禄5年11月26日|毛利軍、豊前国門司表で大友軍を撃退
- 1563年-07:00|オーストリア| |||ランサン国がビエンチャンに遷都
- 1563年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Ghiyasuddin Jalal Shah」
- 1563年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Ghiyasuddin Bahadur Shah2世」(~1564年)
- 1563年-05:30|インド| |||クトブ・シャーヒー朝がウジヤナガル王国に敗北
- 1563年-04:00|ロシア| |||<死去>シベリヤ支配者「ヤク・ガル」
- 1563年-04:00|ロシア| |||<即位>シベリヤ「クチュム」(~1598年)
- 1563年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルベイ「ムスタファ・パシャ」(1期目~同年)⇒「ヒジル・パシャ」(~1564年)
- 1563年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ダウイテ・デ・イ・ピエトロ・トルヴァン」(~1565年)
- 1563年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ムエズジン・ガド・アリ・パシャ」(~1566年)
- 1563年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督代行「ヤコブ・ヘステスコ・ティル・ストンベリ」(~1564年7月)
- 1563年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「クロー・パシャ」(~同年)⇒「ラルム・ムスタファ・パシャ」(~1569年)
- 1563年-02:00|エストニア/スウェーデン/リトアニア| |||スウェーデンがヴァイクとダゴ島を占領/デンマークはゾーネブルクを含む島々のリグニア領土と引き換えに、リトアニアにヴァイクを割譲
- 1563年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Francesc1世」(~1572年)
- 1563年-01:00|フランス| |||<就任>シャテルロー公「デアヌ・ド・フランス」(~1582年、アングレーム公爵位と交換に放棄)
- 1563年-01:00|フランス| |||<就任>ヌヴェール公「Jacques」(~1564年)
- 1563年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Fernaо de Meneses」(2期目~1564年)
- 1563年-01:00|イタリア| |||サヴォイア公国/トリノに遷都
- 1563年 00:00|カナダ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴードン・コスタ長官「フランシスコ・デ・パロス・デ・パウアー」
- 1563年 05:00|ペルー| |||エンリケ・ガルセスとアマトル・デ・カブレラ、ワカヘリカ水銀鉱山を発見
- 1563年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカグア県総督「アロンソ・オルティス・デ・エルケタ」(~1567年)
- 1563年 06:00|コスタリカ/ニカラガ/パナマ| |||コスタリカ、ニカラガはパナマの管轄下に入る
- 1563年 06:00|グアテマラ/パナマ/ペルー| |||パナマのアフティエンシア、グアテマラを離れペルー副王領に編入
- 1563年1月4日-09:00|日本|島根県松江市|永禄5年12月10日|毛利軍は宍道湖北岸に本陣となる洗合(荒隈)城を築いた
- 1563年1月7日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「モートン伯ジェームズ・ダグラス」(1期目~15660320)
- 1563年1月8日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄5年12月14日|第16代井伊肥後守直親27歳主従20名、掛川到着後、朝

1570迄 (1937件)

- 比奈泰朝数百騎により討死/井伊次郎法師直虎(直盛娘)継承. 奥山城奥山因幡守、朝比奈泰朝に攻められ落城
- 1563年1月10日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄5年12月16日|武田信玄、北条氏康と共に武蔵松山城を攻撃
- 1563年1月24日-09:00|日本|千葉県富津市|永禄6年|里見義弘が佐貫城を攻撃して奪還。足利義氏は鎌倉へ避難
- 1563年1月24日-09:00|日本|三重県|永禄6年|<交替>伊勢・志摩国守護「北畠具教」隠居⇒嫡男の「北畠具房」(~天正3(1575)年隠居)
- 1563年1月31日-03:00|イェチピア| ||<死去>イェチピア帝国(ソモン朝) 皇帝「マヌ・レブナ・デングル」
- 1563年1月31日-03:00|イェチピア| ||<即位>イェチピア帝国(ソモン朝) 皇帝「カル・デングル・マヌ」(~15971004没)
- 1563年1月31日-09:00|日本|千葉縣市川市|永禄6年1月8日|<市川・国府台合戦>北条氏康・氏政が江戸川を渡って里見軍に夜襲。里見軍主力である土岐為頼が里見義弘を裏切って戦場を離反、筆頭重臣正木信茂は戦死、義弘は重臣の安西実元が身代わりとなり土気城主酒井胤治に救出されてやっとのことで戦場を脱出
- 1563年2月2日-09:00|日本|高知県高知市|永禄6年1月10日|長宗我部元親、土佐朝倉城(本山茂辰)を攻略
- 1563年2月2日-09:00|日本|高知県長岡郡本山町|永禄6年1月10日|<移転>土佐朝倉領主「本山茂辰」⇒土佐本山(~永禄7(1564)年死去)
- 1563年2月9日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「尹元衡」(~15650909)
- 1563年2月16日-09:00|日本|大阪府|永禄6年1月24日|和泉で三好勢と根来寺が合戦
- 1563年2月19日-09:00|日本|奈良県桜井市|永禄6年1月27日|松永久秀が、多武峰東口で多武峰衆徒を攻めて敗れ、壺阪まで退く
- 1563年2月19日-09:00|日本|福岡県京都郡苅田町|永禄6年1月27日|豊前国松山城の城将天野隆重、大友軍の攻撃を退ける
- 1563年2月24日-01:00|フランス| ||<死去>キース公「フランソワ」がノール戦争でユグノーのホルト・ド・メルに銃撃され、その傷が元で
- 1563年2月24日-01:00|フランス| ||<就任>キース公「アンリ1世」(~15881223アンリ3世の刺客により暗殺される)
- 1563年2月26日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年2月4日|木部範虎、父子は木部城を捨て箕輪城に逃る
- 1563年2月26日-09:00|日本|埼玉県東松山市|永禄6年2月4日|<松山城合戦>北条氏康・武田信玄の連合軍、上杉憲勝に勝利。北条氏康、武蔵国松山城を攻略/成田長泰・小田朝興・小山秀綱ら諸将が上杉陣営から離反
- 1563年3月6日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|永禄6年2月12日|武田信玄、国峰城を攻略
- 1563年3月12日-09:00|日本|長崎県対馬市|永禄6年2月18日|<死去>宗晴康(89歳) 前対馬守護
- 1563年3月15日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年2月21日|武田晴信は上野国鷹留城(箕輪城の最大の支城)を攻略
- 1563年3月15日-09:00|日本|埼玉県加須市|永禄6年2月21日|<騎西城合戦>上杉輝虎、小田家時に勝利/騎西城攻略⇒<忍城合戦>成田長泰は上杉輝虎に再服属
- 1563年3月19日-01:00|フランス| ||フランス中部ワール川沿いの町アンボワーズで、「アンボワーズの和議」が結ばれる①「アンボワーズ王令」で新教徒の礼拝の自由を承認/一旦「ユグノー戦争」(「第1次フランス宗教戦争」)が終結
- 1563年3月21日-09:00|日本|宮崎県|永禄6年2月27日|伊東氏と相良氏同盟を締結
- 1563年3月23日-09:00|日本|茨城県石岡市|永禄6年2月29日|<三村合戦>小田氏治、大掾貞国を攻め勝つ
- 1563年3月24日-09:00|日本|茨城県古河市|永禄6年3月|上杉輝虎によって古河城に足利藤氏が復帰
- 1563年3月24日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|永禄6年3月|那須上庄黒羽城主・大関高増は大田原綱清・佐竹家一族の東義堅と共に烏山へ攻め寄せ、下野国那須郡烏山城主・那須資胤と烏山城近くの大海で戦い、劣勢の資胤勢は烏山城へ逃げろ城、大関勢は兵を退く
- 1563年3月24日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄6年3月1日|<死去>第17代細川京兆家当主「細川晴元」(元管領)摂津富田の普門寺で病没/細川信良が家督継承
- 1563年3月29日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄6年3月6日|<第2次牛久保城の戦い>徳川家康1千5百、牛久保城牧野保成攻める/牧野保成・稲垣重宗負傷。牧野定成・成定父子は宇津山へ退く
- 1563年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツァイ」「ピエール・パオロ・コルベツァリ」
- 1563年4月1日-09:00|日本|東京都青梅市|永禄6年3月9日|<辛垣合戦(武蔵国)>辛垣城の三田綱秀は滝山城主の北条氏照の攻撃を受け辛垣城落城
- 1563年4月10日 00:00|イギリス| ||イギリスで、職人規制法が制定される/農業人員確保の為、労働可能で無職の者に労働を義務づけ、雇用者は治安判事の許可なくして解雇を禁止
- 1563年4月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>リッパ伯「ヘルンハルト8世」
- 1563年4月15日-01:00|ドイツ| ||<就任>リッパ伯「ジーン・モン6世」(~16131207死去)
- 1563年4月15日-09:00|日本|兵庫県赤穂郡上郡町|永禄6年3月23日|那須資胤はふいに下那須諸将と共に大関高増の白旗城へ仕返しに攻め寄せたが白旗城は落ちず資胤は兵を退いた
- 1563年4月16日-09:00|日本|栃木県小山市|永禄6年3月24日|<小山城攻め>上杉輝虎(謙信)、小山秀綱の立て籠もる小山城を攻略
- 1563年4月18日-09:00|日本|京都府京都市|永禄6年3月26日|<死去>伏見宮邦輔親王(51歳) 皇族
- 1563年4月18日-09:00|日本|高知県高知市|永禄6年3月26日|<吉良峰城の戦い>土佐・長宗我部元親、弘岡城(吉良駿河)を追い落とし、弟親貞に吉良氏を称させる
- 1563年4月22日-08:00|中国| ||明・嘉靖42年4月|俞大猷、福清の倭寇を殲滅して、戚継光とともに平海衛の倭寇を大破り、斬首二千、興化収復
- 1563年4月23日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄6年4月|上杉輝虎が結城城(城主結城晴朝)を攻撃、占領
- 1563年4月23日-09:00|日本|神奈川県厚木市|永禄6年4月|上杉輝虎は相模国の厚木金光山最勝寺の阿弥陀三尊を再建

1570迄 (1937件)

- 1563年4月24日-09:00|日本|京都府京都市南区|永禄6年4月2日|京都東寺五重塔、雷火によって焼失
- 1563年4月25日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|永禄6年4月3日|<湯所口の戦い(因幡国)>山名豊数は秋里氏・橋本氏・別所氏らを先陣に中村伊豆守豊重を大将と定めて、現在の鳥取市秋里の方面から城下の湯所口へ兵を進めた。これを迎え撃つ高信は城下へ乱入されまいとして、久松山を下り抗戦。両者一進一退の激戦が続いたが、中村伊豆守の軍勢の一部がついに木戸を破って城内へ侵入し、一気に攻め入った。布施側の勝利は目前かと思われた頃、武田勢によって城内に仕掛けてあった鉄砲が一斉に攻め込む布施勢に放たれた。突然のことに布施衆が混乱する中、一発が大将の中村伊豆守に命中し、武田勢によって討ち取られた。中村伊豆守の討死や武田勢の猛攻により優勢であった布施屋形勢は押し戻されて劣勢へと転じ、最終的に戦いは武田勢の勝利に終わった
- 1563年5月7日-09:00|日本|栃木県小山市|永禄6年4月15日|<祇園城合戦>上杉輝虎、小山秀綱に勝利
- 1563年5月7日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄6年4月15日|<唐沢山城攻め>上杉輝虎(謙信)佐野昌綱の唐沢山城を攻め佐野昌綱に対し勝利
- 1563年5月9日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄6年4月17日|信長、斎藤竜興を美濃稲葉山井口城を攻めるが失敗
- 1563年5月12日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄6年4月20日|松永久秀、筒井順慶に信貴山城を奪われる
- 1563年5月13日-09:00|日本|岐阜県各務原市|永禄6年4月21日|<新加納の戦い>織田信長が美濃新加納へ侵攻するが、齋藤龍興の家臣 竹中半兵衛の伏兵策により敗北
- 1563年5月16日-09:00|日本|岐阜県海津市|永禄6年4月24日|美濃衆・一橋(市橋)九郎右衛門長利の仲介で、美濃駒野城主・高木貞久が織田信長に降伏
- 1563年5月22日-09:00|日本|岡山県|永禄6年5月|浦上政宗と浦上宗景、和睦
- 1563年5月22日-09:00|日本|群馬県|永禄6年5月|武田信玄、上野国浦井氏・高山氏・和田氏を従属させる
- 1563年5月26日 03:00|ブラジル| ||ノブラガとアンシタ、ヌイ族との間に「イロイグ 講和」を締結
- 1563年5月26日-09:00|日本|高知県南国市|永禄6年5月5日|土佐・長宗我部元親が本山城攻撃のため本山城に出陣したすきをねらって、安芸国虎は岡豊城に出撃したが退却
- 1563年6月2日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄6年5月12日|<御油台片坂戦い>不慮の戦いにおいて、三浦正俊・旗本、随分の者討取る/徳川家康の旗本林光正、野田城主板倉弾正・板倉主水と戦い討死
- 1563年6月4日-09:00|日本|宮崎県えびの市|永禄6年5月14日|日向佐土原領主「伊東義益」は真幸の大明神城を攻め落とす
- 1563年6月11日-09:00|日本|栃木県大田原市|永禄6年5月21日|佐久山氏は大関高増・福原資孝兄弟らの計略によって境ヶ峰の酒宴で討たれて滅亡/佐久山城は福原領に併合
- 1563年6月14日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄6年5月24日|筒井衆が信貴山城を一時的に落とす/松永久秀はその後すぐ奪還
- 1563年6月21日-09:00|日本|東京都青梅市|永禄6年6月|三田綱秀(73歳)が北条氏照に攻められ二俣尾の辛垣城で自害
- 1563年6月22日 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督代行「パドロー・デ・ビジャグラ・イ・マルティネス」(~1565年6月)
- 1563年6月22日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄6年6月2日|菅沼定盈に、野田城稲垣十郎左衛門を攻め落とされ、牧野成定属す稲垣氏俊討死
- 1563年6月22日-09:00|日本|静岡県磐田市|永禄6年6月2日|<見付端城の戦い>見付城堀越氏延・村松茂国反乱。匂坂長能・糟谷但馬守・小原鎮実・三浦左衛門尉攻め落とす(堀越氏延、海蔵寺で自害)
- 1563年6月23日 04:30|ペルー/スペイン| ||<死去>ペルー領「Alonso Perez de Manzanedo」
- 1563年7月 06:00|コスタリカ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・カルタゴとコスタリカの市長「ファン・ジャン・デ・カストロ」(~1564年4月)
- 1563年7月14日-09:00|日本|静岡県袋井市|永禄6年6月24日|犬居城天野守景泰・元景父子が今川家に反乱
- 1563年7月15日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年6月25日|武田信玄は上野国の倉賀野城を攻略
- 1563年7月20日-09:00|日本|愛知県小牧市|永禄6年7月|尾張国主「織田信長」清洲城から小牧山城へ移る
- 1563年7月20日-09:00|日本|佐賀県小城市|永禄6年7月|<丹坂峠の戦い>(3月~)有馬氏大村氏両家は連合して東肥前に侵攻するが肥前佐嘉領主「龍造寺隆信」は千葉胤連と同盟を結んでこの連合軍を破った
- 1563年7月20日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|永禄6年7月|竜造寺隆信の佐嘉勢が須古(主将平井経治)を攻めたが隆信は佐嘉城に引き上げる/第1回須古攻め
- 1563年7月20日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|永禄6年7月|松永久秀、高取城を攻略し越智氏を追う
- 1563年7月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄6年7月6日|三河岡崎領主「松平元康」今川氏と断交し、名を家康と改める
- 1563年7月27日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス軍がル・アブルを奪回/イギリス軍は撤退
- 1563年7月31日-01:00|デンマーク/スウェーデン| ||デンマークとスウェーデンの北方7年戦争が開始
- 1563年8月 00:00|イギリス| ||<死去>ウェストモラント 伯「ヘンリー・ホイル」
- 1563年8月 00:00|イギリス| ||<就任>ウェストモラント 伯「チャールズ・ホイル」先代の子(~1571年剥奪)
- 1563年8月 05:00|パナマ/コロンビア| ||パナマをふくむヌエバ・レイノ・デ・グラタは総督領と改称/ペルーからの自治権を強化
- 1563年8月9日-02:00|ルーマニア| ||<就任>エルダヴァイ総督「ステファン7世トムサ」(1563年11月9日まで対立総督~1564年2月死去)
- 1563年8月13日-09:00|日本|佐賀県唐津市|永禄6年7月25日|百合野の戦い/鍋島直茂、有馬軍本陣を夜襲し討つ
- 1563年8月13日-09:00|日本|佐賀県多久市|永禄6年7月25日|龍造寺隆信、梶峰城留守役の成富種貞を討ち城を陥落させる
- 1563年8月15日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄6年7月27日|松平家康、吉田城攻めの為小坂井牛久保辺りの砦を巡視する所、吉田城大原資良により攻められ平岩親吉に救われる

1570迄 (1937件)

- 1563年8月15日-09:00|日本|長崎県大村市|大越莫朝・淳福2年7月27日|<後藤の乱>大村純忠領内で後藤貴明を擁しての叛乱発生. 針生城主・針生伊賀守も叛乱に加担/夜半、横瀬浦奉行・朝長純安の一行を針生の岸で襲い殺害
- 1563年8月16日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|永禄6年7月28日|大橋口の戦い/龍造寺隆信が平井経治と戦い隆信に利なく退却
- 1563年8月22日-09:00|日本|広島県|永禄6年8月4日|<死去>周防・長門・安芸・備後・備中国守護「毛利隆元」41歳/出雲に向かう途中の佐々部での急死⇒家督は子の「毛利輝元」が継承
- 1563年8月24日-01:00|デンマーク| ||木星と土星が合、ティコ・ブラーエがこのころから観測を開始
- 1563年8月31日-09:00|日本|島根県松江市|永禄6年8月13日|<白鹿城の戦い>毛利軍の総攻撃が行われ、小白鹿城と呼ばれる出丸を占拠し、牛尾久清にも手傷を負わせたものの、本丸を落とすことはできなかった
- 1563年9月8日-01:00|ロシア/ハンガリー| ||<即位>ロシア王「マクシミアン」兼ハンガリー国王「ミクシャ1世」フェルディナント1世の長男、ウラズロ2世の孫(ホヘミア王マクシミアン1世⇒15640725、神聖ローマ皇帝「マクシミアン2世」~15761012死去)
- 1563年9月12日-09:00|日本|徳島県|永禄6年8月25日|<死去>阿波国主「三好義興」芥川山城で⇒養子「三好義継」が継ぐ
- 1563年9月17日 00:00|イギリス| ||<死去>フランス伯「ヘンリー・マーズ」
- 1563年9月17日 00:00|イギリス| ||<就任>フランス伯「エドワード・マーズ」先代の長男(~15870414死去)
- 1563年9月18日-09:00|日本|茨城県古河市|永禄6年9月|北条軍が古河城を攻撃、足利藤氏を捕え、足利藤氏は小田原へ送られる(以降古河公方は天正11年(1583年)に消滅するまで、有力大名の傀儡とされる)
- 1563年9月18日-09:00|日本|群馬県吾妻郡長野原町|永禄6年9月|<長野原の戦い>吾妻郡の大戸氏、武田氏の部将真田幸隆に降伏
- 1563年9月19日-09:00|日本|福井県三方郡美浜町|永禄6年9月2日|<第1次国吉城合戦>敦賀の朝倉勢、三方郡佐柿国吉城攻撃を開始. 国吉城主粟屋越中守配下の山東十郎・田辺半大夫らが佐田付近で防戦し退ける
- 1563年9月20日-09:00|日本|福井県三方郡美浜町|永禄6年9月3日|<第1次国吉城合戦>天筒山城主朝倉太郎左衛門が国吉城を攻めるが粟屋勢が城を守り通す
- 1563年9月22日 00:00|ポルトガル| ||<就任>6代ブラガンサ公・5代ウイラウ・イザール侯・10代オウム伯・7代アロウバ伯・7代ポルトガル王「シメオン1世」テオドシオ1世の長男(~15830222死去) 初代ポルトガル公
- 1563年9月22日-09:00|日本|愛知県|永禄6年9月5日|<三河一向一揆(三河国)>西三河に地盤を置く浄土真宗(一向宗)と対立が深まり、一揆が勃発/三河三ヶ寺の本證寺・上宮寺・勝鬘寺は守護使不入(守護大名の介入を拒否する特権が与えられた領地。夫役・段銭の免除、罪人逮捕禁止などの特権がある)となっていたが、家康に特権を侵害されたとして全門徒が蜂起、西三河は内乱状態となる。家康の家臣にも多数の一向宗門徒がおり、本多正信・本多正重兄弟、石川重康、夏目吉信らは一揆方、本多忠勝・石川数正らは家康方に残り各家でも派閥が分かれる。西尾城(酒井正親)、深溝城(松平伊忠(深溝松平家松平家忠の父))、竹之谷城(松平清善)、形原城(形原松平家の松平家忠)、土井城(本多広孝)などは家康方となる
- 1563年9月27日 05:00|イタリヤ/ポルトガル| ||<設立>トリス王立大審問院(ハル副王領の一部)。カカ、ナリニョ、バジエ(現コロンビア)はトリス総督領となる
- 1563年9月27日-09:00|日本|島根県松江市|永禄6年9月10日|<熊野城の戦い>毛利軍が出雲の熊野城を攻めるが熊野氏は良く守りこれを退けた
- 1563年10月-01:00|フランス/イギリス| ||フランス、ヴェルグトの戦い(フランス西南部、ペリゴール地方のユグノーの中心地ベルジュラク)モンリュック元帥とモンパシエ、テュルフォール・デュラスに勝利。ユグノー5千戦死
- 1563年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ルト・ヴァイコ・ベルツィ」 「マルクアントニオ・ボネッティ」
- 1563年10月4日-09:00|日本|三重県|永禄6年9月17日|<死去>北畠晴具(61歳)前伊勢国司
- 1563年10月7日-01:00|イタリヤ| ||<就任>ジェノヴァ共和国「ジェンジョ・アンニバチスタ・ルカリ」(~15651007)
- 1563年10月8日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄6年9月21日|<宇津山城騒動>宇津山城主・朝比奈泰充を弟の朝比奈真次(伊奈城本多忠俊の婿)が殺し替わって城主となる
- 1563年10月10日-09:00|日本|島根県松江市|永禄6年9月23日|尼子倫久、1万余を率い白鹿表に殺到。毛利軍これを撃破
- 1563年10月10日-09:00|日本|三重県伊勢市|永禄6年9月23日|伊勢神宮第40回外宮式年遷宮
- 1563年10月14日-09:00|日本|島根県松江市|永禄6年9月27日|<白鹿城の戦い(出雲国)>毛利軍が出雲の白鹿城を落城させる
- 1563年10月17日-09:00|日本|富山県砺波市|永禄6年10月|上杉輝虎が越中で上杉方の椎名氏を攻撃する神保長職を攻撃. 増山城を包囲し、神保長職を降伏させる/長職は畠山義綱に仲介を依頼、畠山義綱は富山城を破棄させ、射水・婦負郡を安堵することとし、輝虎も同意
- 1563年10月17日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永禄6年10月1日|<観音寺騒動>六角義治、重臣の後藤賢豊父子を観音寺城に招いて謀殺
- 1563年10月23日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永禄6年10月7日|<観音寺騒動>後藤一族は永田・三上らの他にも池田秀雄・平井定武・進藤賢盛と語らって六角氏と敵対関係にあった浅井長政の支援を仰ぎ挙兵
- 1563年10月24日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|永禄6年10月8日|<観音寺騒動>(9日)六角義賢親子、家臣に追われ城下・石寺兵火に
- 1563年10月26日-01:00|フランス/イギリス| ||ギーズ公指揮国王軍、ルアン奪回、占領。モンメリーを取り逃がす
- 1563年10月27日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄6年10月中旬|一揆に乗じて吉良義昭が挙兵するが、家康は東条城を攻撃
- 1563年10月29日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|永禄6年10月13日|<岩櫃城合戦>武田信玄配下・真田幸隆(幸綱)ら上野吾妻郡の諸士、羽尾氏を支援した上杉方の斎藤憲広の居城・岩櫃城を攻め落とす

1570迄 (1937件)

- 1563年11月1日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄6年10月16日|和泉・根来寺衆徒、三好長慶と和睦し堺で盟約
- 1563年11月2日-09:00|日本|広島県福山市|永禄6年10月17日|小早川隆景、坪生荘の神森神社々殿を再興
- 1563年11月6日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄6年10月21日|二侯城主松井宗恒が今川家を離反、松平方につく
- 1563年11月9日-02:00|ル=マニア| |||<死去>モルダウイ総督「ヨハネ2世専制候」(篡奪者)
- 1563年11月14日-09:00|日本|島根県安来市|永禄6年10月29日|毛利軍、富田城内に武器・兵糧搬入を図る尼子軍と弓ノ浜に戦い潰走させる
- 1563年11月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄6年10月30日|松平家康、佐崎で三河一向一揆勢を撃破
- 1563年11月18日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ザルマムト・パシャ」(~1564年6月)
- 1563年11月26日-09:00|日本| ||永禄6年11月11日|<死去>寛欽入道親王(50歳)伏見宮貞敦親王の皇子
- 1563年11月30日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄6年11月15日|三郎衛門正行、林居蔵天神社(春野町横根)造営
- 1563年11月30日-09:00|日本|鳥取県米子市|永禄6年11月15日|尼子勢が伯耆国弓ヶ浜で毛利軍に夜討ちをかけるも退けられる
- 1563年12月 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ総督「ルイス・デ・グスマン」
- 1563年12月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「フアン・ブスト・デ・ビゼカス」(~同月)⇒「ロペ・ガルシア・デ・カストロ」(~1564年)
- 1563年12月3日-09:00|日本| ||永禄6年11月18日|<死去>谷宗養(38歳)連歌師
- 1563年12月10日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄6年11月25日|松平家康の軍勢が、三河一向一揆を原木坂で破る
- 1563年12月16日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄6年12月|松平家康は東条城を占領。東条城には(東条松平家の)松平家忠を置く
- 1563年12月16日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年12月|武田信玄は倉賀野城攻撃のため、木部城を再興
- 1563年12月16日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|永禄6年12月|引間城飯尾連龍、今川氏真に反乱/真言宗青林山頭陀寺に飯尾連龍・飯尾土佐守・江間弥七籠城
- 1563年12月16日-09:00|日本|東京都|永禄6年12月|武藏国豊島郡江戸北郊の太田康資が北條氏康に叛く
- 1563年12月16日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|永禄6年12月|<失領>因幡国守護「山名豊数」武田高信の猛攻を受けて布勢天神山城を退去し鹿野城に退いた
- 1563年12月16日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|永禄6年12月|山名家家臣・武田高信、毛利氏を背景に因幡鳥取で挙兵、山名氏本拠布施天神山城を攻略
- 1563年12月17日-09:00|日本| ||永禄6年12月2日|<死去>三条西公条(76歳)右大臣、歌人
- 1563年12月18日-09:00|日本|島根県大田市|永禄6年12月3日|毛利氏、石見銀山を朝廷・幕府に献上
- 1563年12月20日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年12月5日|武田信玄が陣頭指揮をして上野倉賀野城(倉賀野直行)を攻めるが落とせず
- 1563年12月29日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄6年12月14日|<交替>大和多聞山領主「松永久秀」隠居⇒子の「松永久通」(~元亀4(1573)年11月織田信長に降伏)
- 1564年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アラウデ・イン・リアヤット・シャー2世」
- 1564年-08:00|インドネシア/ポルトガル| |||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Alvaro de Mendonca」(~1566年)
- 1564年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「ムサ・ファル・シャー2世」(~1570年没)
- 1564年-08:00|マレーシア| |||<即位>パタニ王国国王「スルタン・マンズル・シャー」(~1572年)
- 1564年-08:00|インドネシア| |||アチェ王国が商売敵のジョホール王国を攻撃、そのスルタンを捕虜に
- 1564年-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンライ朝国王「ウイスッテイテウー」(~1578年)
- 1564年-05:30|インド| |||<即位>パネーティヤ朝君主「Gataiyavarman Adiveerama Pandyan」(~1604年)
- 1564年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Taj Khan Karrani」(~1566年)
- 1564年-05:30|インド| |||ムガル帝国が非ムスリムへの人頭税を廃止
- 1564年-05:00|カザフスタン| |||<即位>ガイ・オルダ・ハン「Tin Ahmad」(~1579年)
- 1564年-02:00|ギリシャ| |||<死去>ナクソス公「ジョウアン4世」
- 1564年-02:00|シリア=アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ペイルベイ「ムスタファ・パシャ」(2期目~1565年)
- 1564年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「タニエレ・バルバロ」(~1566年)
- 1564年-02:00|ギリシャ| |||<就任>ナクソス公「ジヤコメ4世」(~1566年)
- 1564年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテン代行「ベルキオール・ボテリヨ」⇒キャプテン「ジエロニモ・バルット」(~1567年)
- 1564年-01:00|フランス| |||<死去>エタンブ公「Jean4世 de Brosse」
- 1564年-01:00|ベルギー| |||<辞任>リエージュ公「ロベルト・オブ・ベルゲス」
- 1564年-01:00|ポズナア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナア総督「ムスタファ・ペイ」(~1566年)
- 1564年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Pedro da Cunha」(2期目~1565年)
- 1564年-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「マッシミア-12世」神聖ローマ皇帝(~15761012)
- 1564年-01:00|フランス| |||<即位>ヌヴェール女公・ルテル伯「アンリエット」(~16010624死去)
- 1564年-01:00|北マケドニア| |||マリウ・オフレブの反乱(~1565年)
- 1564年 00:00|サントメ=プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Francisco de Gouveia」(~1569年)
- 1564年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール暫定首長「デ・イコ・ロペス・デ・フランサ」(2回目~同年)
- 1564年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「フェルナント・カトルーゾ」
- 1564年 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「ロバート・タートリー」(~15880904死去)

1570迄(1937件)

- 1564年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サントミンゴ 総督・総司令官「アントニオ・デ・オリア・イ・ウイガス」(~1565年)
- 1564年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル 一般市長「ファン・ヌエス・デ・プラト /アソボロシオ・メンデス(2回目)」(~1567年)
- 1564年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア市長「ベルナト・ヘルメス」(~1567年)
- 1564年 06:00|アメリカ/フランス| |||フランス人がフロリダにカリヌ砦を建設
- 1564年1月1日-01:00|フランス| |||フランス王シャルル9世「パリ勅令」を發布し、「1月01日(世俗年)を新年とする暦」を採用(それまでは「復活祭の日」(春分の後の最初の満月の次の日曜日)でだいたい4月初旬だった)
- 1564年1月1日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア 総督代理「Alonso Bernaldez de Quiros」(2期目~15660512)
- 1564年1月4日-09:00|日本|大阪府|永禄6年12月20日|<任命>摂津国守護「細川昭元」(~永禄11(1568)年9月30日逃亡)
- 1564年1月4日-09:00|日本|京都府|永禄6年12月20日|<死去>室町幕府管領・丹波・摂津国守護「細川氏綱」50歳、淀城(山城国)にて
- 1564年1月4日-09:00|日本|京都府|永禄6年12月20日|<任命>丹波国守護「細川昭元」(~永禄11(1568)年9月30日逃亡)
- 1564年1月11日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|永禄6年12月27日|相模国円覚寺焼失
- 1564年1月14日-09:00|日本|群馬県太田市|永禄6年閏12月|武田信玄は利根川を越えて、太田金山城の由良成繁を攻撃
- 1564年1月27日-09:00|日本|奈良県|永禄6年閏12月14日|<交替>大和国主「松永久秀」隠居⇒嫡男「松永久通」に家督を譲る
- 1564年2月-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア 総督「ステファン7世トムサ」
- 1564年2月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア 総督「アレクサンドル4世ラフ・シュネツ」(2回目~15680309)
- 1564年2月1日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄6年閏12月19日|上杉輝虎、横田康景の和田城(高崎城)攻め/勝敗つかず
- 1564年2月9日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄6年閏12月27日|常陸の小田城城主小田氏治が北条氏康と通じ上杉輝虎に背く
- 1564年2月12日-08:00|中国| ||明・嘉靖43年2月|興化の倭寇残部、戚継光に敗れて、海上に逃れる
- 1564年2月13日-09:00|日本|高知県長岡郡本山町|永禄7年|<死去>土佐本山領主「本山茂辰」⇒子の「本山親茂」が継ぐ(~元龜2(1571)年長宗我部氏へ臣従)
- 1564年2月13日-09:00|日本|鳥取県|永禄7年|<任命>因幡国守護「山名豊国」(~天正元(1573)年毛利氏に降伏)
- 1564年2月18日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第19代国王「マヒンガラ・タイラト(マヒン)」(~15680512)
- 1564年2月18日-01:00|イタリア| |||<死去>ミランツェロ・ブオッパローティ/88歳(誕生:14750306)イタリアの画家で彫刻家
- 1564年2月19日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ジヨアン・デ・メントゥサ」(~9.3)
- 1564年2月20日 05:00|ベルギー/スペイン| |||<死去>ベルギー副王「ニエウア伯デ・イゴ・ロベス・デ・スニガ・イ・ベラスコ」
- 1564年2月20日 05:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー暫定副王「ファン・デ・サバト」(~9.2)
- 1564年2月20日-09:00|日本|千葉県市川市|永禄7年1月8日|<第2次国府台合戦>(7日~)小田原の北条氏康・氏政父子が下総国葛飾郡の国府台に於て安房国館山城主里見義堯・義弘父子、武藏国岩槻城主太田資正、江戸北郊の太田康資、上総国正木城主正木時綱・時忠兄弟らの連合軍と戦って撃退/北条氏康は里見領の下総、上総両国の大半を平定、安房国館山城主里見義弘は安房一国と上総の一半を所領と成し、上総国正木城主正木時綱は上総国の大多喜城に移り居住する
- 1564年2月21日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラナダ 大統領・総督・総司令官「アンドレス・デ・イラス・ベネ・イ・レハ」(~1574年)
- 1564年2月23日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月11日|<三河一向一揆(三河国)>上和田砦土呂(本宗寺)・針崎(勝鬘寺)一揆が上和田砦に押し寄せ、大久保一党と大激戦. この戦いで大久保忠世・忠勝兄弟は共に片目を負傷. 家康が駆け付け、劣勢を持ち直すが、鶴殿十郎三郎と宇津与五郎が蜂屋半之丞貞次と渡辺高綱に打ち取られた. その渡辺高綱は甥である内藤家長に射殺された
- 1564年2月23日-09:00|日本|岡山県備前市|永禄7年1月11日|<死去>備前三石領主「浦上政宗」赤松政秀の襲撃を受けて子とともに戦死(第2次室津騒動)⇒弟の備前天神山領主「浦上宗景」(~天正5(1577)年失領)
- 1564年2月23日-09:00|日本|千葉県佐倉市|永禄7年1月11日|臼井原氏当主・原胤貞は正木氏の手にあった臼井城を攻め落とし旧領を奪還
- 1564年2月24日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月12日|<三河一向一揆(三河国)>土呂・針崎の一揆が再び上和田砦を攻める. 家康が再び援軍として駆け付け一揆は後退するが、その際水野藤十郎忠重が 殿の蜂屋貞次と槍を合わせたがかなわず退くと、その後に槍を合わせた松平金助は討たれた. その直後家康が駆け付け蜂屋に声をかけると、蜂屋は槍を担いで退散
- 1564年2月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月13日|<三河一向一揆(三河国)>早朝、大久保一族が針崎(勝鬘寺)に押し寄せる. 大久保忠世は本多正重を狙撃し命中したが傷は浅かった. 一揆方は大久保勢を挟み撃ちにする計略を立てていたが、蜂屋貞次がそれとなく知らせたため、上和田に引き揚げた
- 1564年2月26日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月14日|<三河一向一揆(三河国)>佐々木(上宮寺)・深津九三郎、青山虎之助が上宮寺に潜入し火をかけようと試みるが捕まって鳩首される
- 1564年2月27日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月15日|<三河一向一揆(三河国)>早朝、佐々木の一揆は桑子の妙源寺に籠っていた家康側と激突. 家康は鐘の音を聞いて加勢に駆け付け、一揆を上宮寺に押し戻した

1570迄(1937件)

- 1564年2月27日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月15日|<馬頭原合戦>土呂・針崎の一揆が馬頭原から岡崎城に向けて展開している報告を受け、信元と共に加勢に駆け付け、矢作川を渡りそのまま小豆坂まで押し上がり、石川新九郎・新七郎を将とする一揆勢を攻めた。馬頭原で乱戦となったが家康方が勝利し、一揆方の首130を挙げた。土屋重治死亡/家康は降伏した蜂屋貞次ら家臣を赦免、寺院や道場は全て破壊し、僧侶は追放。本多正信も追放処分となる亡
- 1564年3月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年1月25日|<三河一向一揆(三河国)>六栗城(野場城)野寺の本證寺から退却した大津半左衛門、乙部八兵衛らの浪人衆と門徒が、六栗の夏目吉信を頼り籠城。頑強に抗戦したが、深溝松平伊忠が乙部の内応により城を陥した。土蔵で捕えられた夏目吉信は家康に赦され、松平伊忠の与力となった
- 1564年3月10日-09:00|日本|茨城県筑西市|永禄7年1月27日|上杉輝虎が小田領の常陸国真壁郡海老ヶ島城主平塚山城守入道自省を攻め、佐竹義昭や多賀谷政経らが平塚自省を討取って攻略
- 1564年3月12日-09:00|日本|茨城県桜川市|永禄7年1月29日|常陸国筑波郡小田城主小田氏治が西茨城郡岩槻の坂戸城を攻め城主小宅三左エ門尚時は城を出て之れを高森原に於て迎撃したが敗北し坂戸城に籠城/小田方は宇都宮の援軍が到着前に坂戸城を攻略、小宅尚時父子は小栗城に落ちのびる
- 1564年3月12日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄7年1月29日|<第2次山王堂合戦>上杉輝虎・佐竹義昭・宇都宮広綱の連合軍、小田城を攻略。城主小田氏治は土浦城に逃走
- 1564年3月13日-09:00|日本|愛知県新城市|永禄7年2月|作手城主の奥平貞勝、今川氏から離反し松平氏に帰属
- 1564年3月13日-09:00|日本|熊本県人吉市|永禄7年2月|<改名>肥後人吉領主「相良頼房(義陽)」⇒「相良義頼」
- 1564年3月13日-09:00|日本|佐賀県杵島郡白石町|永禄7年2月|龍造寺隆信が平井経治の高城攻撃/隆信、経治の弟直秀を娘婿にし講和
- 1564年3月13日-09:00|日本|島根県安来市|永禄7年2月|出雲富田城に立て籠もっていた尼子家臣湯原春綱が毛利氏に投降
- 1564年3月18日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄7年2月6日|<稲葉山騒動>菩提山城主竹中半兵衛重治・竹中重矩・安藤守就が稲葉山城を奪取、斎藤龍興脱出(⇒8月竹中重治、斎藤龍興に稲葉山城を返還し辞去)
- 1564年3月20日 04:00|フ・エルトリコ/スペイン| ||<就任>フ・エルトリコ知事兼提督「Francisco Bahamonde de Lugo」(~1568年)
- 1564年3月20日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年2月8日|<三河一向一揆(三河国)>安城小川|野寺本證寺の空誓を将とする一揆と安城小川で戦う。桜井の円光寺順正が空誓の身代わりとなって壮絶な自害を遂げた。家康は本證寺を攻めずに引き揚げる
- 1564年3月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄7年2月13日|松平家康が、居城の岡崎城を攻囲した一向一揆の軍勢を撃退
- 1564年3月29日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄7年2月17日|<第五次唐沢山城の戦い(下野国)>下野の佐野昌綱が北条氏康に応じて背いたため、上杉輝虎が唐沢山城を攻め、城主佐野昌綱降伏/色部勝長、荻原伊賀守、吉江織部を唐沢山城に留めて守らせる
- 1564年3月30日-09:00|日本|静岡県浜松市東区|永禄7年2月18日|<市野砦の戦い>今川氏真の配下大村高信、引間口市野砦へ乗り入れ端城を突破る
- 1564年4月-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<死去>アンボボン島ポルトガル首領「Antonio Pais」
- 1564年4月 06:00|コスタリカ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・カルタゴとコスタリカの市長「アントニオ・アントラダ」⇒「ミゲル・サンチェス・デ・グエイ」(1565年まで代行~1566年)
- 1564年4月1日-01:00|サマリニ| ||<就任>サマリニ共和国執政「シオ・アント・レア・ベルツイ」「リナルド・ディ・ジョアンニ・バルディ」
- 1564年4月1日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「ロレンソ・ピレス・デ・タウオラ」(~1566年)、暫定首長「ティエゴ・ロペス・デ・フランサ」(3回目~)
- 1564年4月6日 05:00|エクトル/スペイン| ||<就任>スペイン領トリス総督・総司令官「フアン・サザール・デ・ウイサンテ」(~27日)
- 1564年4月9日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄7年2月28日|<三河一向一揆>(永禄6年09月05日~)徳川家康勢は一向宗派に加担した吉良義昭の庶流・荒川義広が籠もる八ッ面城を陥落させ荒川義広は河内国へ亡命/松平家康、一向一揆と和議を結び、結果、旧守護家吉良氏の勢力を駆逐、今川家に心寄せて両端を持っていた松平一門のあるものも含む豪族を一掃
- 1564年4月11日-01:00|フランス/イギリス| ||<トロワの和約>イングランド、カレーを放棄(1562年月「ハプトンコートの密約」でエノーがカレーの譲渡を約束)フランス・イングランド間の通商の自由、「関税」撤廃
- 1564年4月11日-09:00|日本| ||永禄7年3月|尾張国主「織田信長」・近江小谷領主「浅井長政」攻守同盟/信長の妹お市御寮人(17)を浅井長政に嫁がせる
- 1564年4月11日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|永禄7年3月|龍造寺隆信が馬場鑑周の中野城攻撃/馬場鑑周は降伏
- 1564年4月11日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄7年3月|浄行律師日能、恵光山定林寺開基
- 1564年4月11日-08:00|中国| ||明・嘉靖43年3月|潮州の倭、俞大猷に破られる
- 1564年4月17日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄7年3月7日|上杉輝虎が、白井長尾憲景、新田金山城の横瀬成繁、常陸佐竹義昭、下野宇都宮広綱とともに和田城を攻めるが、武田信玄による補充で落とせず撤退
- 1564年4月26日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄7年3月16日|島津貴久は日向新山坊で伊東義祐を破った
- 1564年4月27日 05:00|エクトル/スペイン| ||<就任>スペイン領トリス総督・総司令官「アロンソ・ヌニョ・デ・アヤ」(~9.18)
- 1564年4月28日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄7年3月18日|<死去>大和国筒井城主「筒井順政」和泉堺で(不明)
- 1564年4月28日-09:00|日本|長野県上水内郡信濃町|永禄7年3月18日|武田信玄、信濃水内郡野尻城を奪い返す
- 1564年5月11日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄7年4月|牛久保牧野貞成・佐脇八幡三浦左馬介、家康1千に敗れる

1570迄 (1937件)

- 1564年5月11日-09:00 | 日本 | 愛知県豊橋市 | 永禄7年4月 | 二連木戸田重貞、松平家康に降る
- 1564年5月11日-09:00 | 日本 | 愛知県西尾市 | 永禄7年4月 | 牧野・幡豆小笠原康元、松平家康に降る
- 1564年5月11日-09:00 | 日本 | 群馬県安中市 | 永禄7年夏 | 武田信玄、安中忠成の守る松井田・安中城を攻略
- 1564年5月11日-09:00 | 日本 | 栃木県小山市 | 永禄7年4月 | 謙信が越後に帰陣すると北条氏政は二万の兵を率いて古河城に入り、小山秀綱の籠る祇園城を攻撃、高朝・秀綱父子は城を棄てて逃れた/氏政はついで結城城を攻撃、晴朝は氏政に降伏
- 1564年5月17日-09:00 | 日本 | 高知県長岡郡本山町 | 永禄7年4月7日 | 長宗我部元親が本山城の本山親茂を攻め、親茂は瓜生野に退去
- 1564年5月25日 00:00 | アイルランド / イギリス | ||| <就任> アイルランド 副卿「ニコラス・アーノルド」卿 (~15660120)
- 1564年5月27日-01:00 | スイス / フランス | ||| <死去> フランス出身の神学者ジャン・カルクアン(55歳)がジュネーブで/後継改革派リダール、テオドル・ペザ(テオドル・ト・ペーズ)
- 1564年5月27日-09:00 | 日本 | 島根県安来市 | 永禄7年4月17日 | 毛利元就、富田城に迫り、尼子義久と戦い撃破
- 1564年5月28日-09:00 | 日本 | 新潟県 | 永禄7年4月18日 | 上杉輝虎、武田信玄に通じて越後国に侵入した陸奥国合津城主葦名盛氏軍を壊滅させる
- 1564年6月-01:00 | ハンガリー / トルコ | ||| <就任> ブダペストのペレハイ代行「ハン・ペイ」(~7月)
- 1564年6月7日-01:00 | 日本 | 茨城県筑西市 | 永禄7年4月28日 | <山王堂の戦い(常陸国)>辰の刻(8時)、上杉軍は丘上から静々と降りてきたが、突如疾風の如く、鬨の声をあげて深田を真一文字に突き進んできた。小田氏治方の菅谷政貞、信太治房、平塚弥四郎、赤松凝淵齊らは敵を寄せつけじと、弓・鉄砲・槍・薙刀で応戦。多くの死者が出たが、上杉勢は怯まず、討たれた味方の人馬を足代にして泥田を踏み越え、叫びながら切り込んできた。さすがの小田勢も、この猛攻に耐え切れず十町ばかり退いて陣容を立て直そうとするも、上杉勢が追撃にかかったため、両軍入り乱れて鎧を削り、鎧を割り、黒煙を蹴立てて戦った。この時の戦闘の激しさを、真壁氏幹の郎従・稲川石見守という18歳の若武者が目撃している。「武者ぼこりの一面に立つ中に、打ち合わせる太刀の光が電光のように煌めくだけであって、戦い終わってから戦場に黒い霧が立ち込めたように、おぼろおぼろに見えた」と後に語っている。小田方の先鋒・菅谷政貞は大いに戦功を上げたが、嫡子・彦次郎政頼は弓弦絶え、矢種尽きて苦戦しているので、左右の者はひとまず退くことを勧めたが、命を捨てて忠節を尽くすのはこの時ぞと叫び、群がる敵中に切り込んで討ち死にした
- 1564年6月7日 07:00 | 日本 | 茨城県筑西市 | 永禄7年4月28日 | <山王堂の戦い(常陸国)>申の刻(16時)まで激戦は続き、小田勢は地の利を生かして奮戦したものの敗色は濃くなる一方であった。氏治は朝方渡った筑輪川に馬を乗り入れ引き返そうとしたが、あまりに馬が疲れているので馬首を川上に引き向けて水を飲ませているところへ、上杉勢が6、7騎追いかけて来て矢を放った。札よき鎧なので裏まで貫通せず、氏治は川岸を駆け上り敗れた兵をまとめて小田城に帰還し手筈をして上杉勢の攻撃に備えた
- 1564年6月9日-09:00 | 日本 | 愛知県犬山市 | 永禄7年5月 | <犬山城合戦>織田信長、織田信清に勝利し犬山城を攻略
- 1564年6月13日-09:00 | 日本 | 茨城県水戸市 | 永禄7年5月5日 | <死去> 常陸江戸氏7代当主「江戸忠通」⇒廃嫡の江戸通政が家督継承
- 1564年6月17日-09:00 | 日本 | 愛知県豊川市 | 永禄7年5月9日 | 松平家康に、牛久保城(牧野貞成)開城
- 1564年6月17日-09:00 | 日本 | 大阪府大東市 | 永禄7年5月9日 | 三好長慶が、松永久秀の讒訴に応じ、安宅冬康(37:三好長慶の弟)を飯盛山城に誘殺
- 1564年6月25日-09:00 | 日本 | 群馬県高崎市 | 永禄7年5月17日 | 武田信玄、倉賀野城を攻略
- 1564年7月-01:00 | ハンガリー / トルコ | ||| <就任> ブダペストのペレハイ代行「アルスタン・ペイ」(~10月)
- 1564年7月5日-09:00 | 日本 | 静岡県浜松市 | 永禄7年5月27日 | <引間城合戦>引馬城主・飯尾連龍、今川氏真に謀反
- 1564年7月7日-09:00 | 日本 | 宮城県えびの市 | 永禄7年5月29日 | 伊東義祐軍、日向今城(大河平隆利)を攻略
- 1564年7月9日-09:00 | 日本 | 茨城県結城市 | 永禄7年6月 | <結城城合戦>北条氏政、結城晴朝に勝利/結城晴朝は再び北条方になった
- 1564年7月10日-09:00 | 日本 | 千葉県君津市 | 永禄7年6月2日 | 北条氏政が秋元義久の小糸城攻略/義久落命
- 1564年7月12日-09:00 | 日本 | 栃木県小山市 | 永禄7年6月4日 | 北條氏康・氏政父子が下野国に出陣し、下都賀郡小山祇園城主小山高朝・秀綱父子を攻め破って攻略し、武藏国滝山城主北條氏照に守らせる。更に河内郡宇都宮城主宇都宮廣綱を攻めて降伏させ攻略し、安蘇郡佐野城主佐野昌綱を攻め、下総国結城郡結城城主結城晴朝と対立
- 1564年7月18日-09:00 | 日本 | 愛知県豊橋市 | 永禄7年6月10日 | <吉田城の戦い>松平家康軍、吉田城大原資良を包囲/蜂屋貞次、今川方二人討取り、河井正徳の鉄砲に当りその夜死す/竹谷松平清宗、龍念寺口を囲み、自ら鎧を合わせ首五級得る。自身もニカ所創を受け家士三人討死/小笠原安元が船形山砦を守らせ、駿河方面からの後援遮断/兵糧攻め
- 1564年7月22日-09:00 | 日本 | 愛知県豊橋市 | 永禄7年6月14日 | <吉田城の戦い>松平家康軍、吉田城を総攻撃/松平清宗、龍念寺口攻め、5人討取り家臣3人討死/松平家康方天野正重、下条において討死(41歳)/松平家康方成瀬正義、敵先鋒で金の切裂をさした侍を討取る
- 1564年7月24日-06:30 | ミャンマー | ||| <即位> ムラウケウ国王「セカヤ」(~15720207)
- 1564年7月24日-09:00 | 日本 | 茨城県石岡市 | 永禄7年6月16日 | 佐竹義昭、大掾貞国を府中城から追放。府中に移る
- 1564年7月25日-01:00 | ドイツ / イタリア / オーストリア / チェコ / ハンガリー / スロベニア / クロアチア | ||| <死去> 神聖ローマ皇帝・ドゥイッ王・オーストリア大公・ハンガリー国王・クロアチア王・ボヘミア王・ケルテン公・カニオーラ公・モラヴィア辺境伯「フェルディナント1世」61歳(誕生15030310)
- 1564年7月25日-01:00 | ドイツ / イタリア / オーストリア / チェコ / ハンガリー / クロアチア | ||| <即位> 神聖ローマ皇帝・ドゥイッ王・ボヘミア王・オーストリア・シュタイアーマルク大公・モラヴィア辺境伯「マクシミリアン2世」(ハンガリー王・クロアチア王ミクシャ1世~15761012死去)
- 1564年7月25日-01:00 | オーストリア / イタリア | ||| <即位> 前方オーストリア大公・ホルバ「フェルディナント2世」フェルディナント1世の次男(~15950715死去)

1570迄 (1937件)

- 1564年7月25日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>内オーストリア大公・シュターア-マルク公・ケルテン公「カール2世」フェルディナント1世の三男 (~15900710死去)
- 1564年7月25日-01:00|スロベニア| |||<即位>カルニオラ公「カール2世」 (~15900710死去)
- 1564年7月27日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ヘルマン・ヘンリクス・フレイミング・ズ・レヒティス」 (~1565年)
- 1564年7月28日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄7年6月20日|<吉田城合戦>松平家康、今川氏真の部将小原鎮実の守る吉田城攻略、吉田城を酒井忠次に与えて東三河の旗頭として大小の武士を統轄させる
- 1564年7月31日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<死去>ヌエバ・イスパニヤ副王「ルイ・デ・ベラスコ・イルイス・デ・アラコン」
- 1564年8月1日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「(大審問院長) フランシスコ・デ・セイス・オブ・レゴン・イ・ゲラテ・ラ・ベガ」(1回目 ~15661019)
- 1564年8月2日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ暫定総督・大審問院長「フランシスコ・ブレナ」 (~15700105)
- 1564年8月4日-09:00|日本|千葉県勝浦市|永禄7年6月27日|上総勝浦正木時忠、里見氏から離反し北条氏に帰属
- 1564年8月7日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|永禄7年7月|伯耆の南条宗勝が小寺元武率いる毛利氏の援軍と共に因幡國に侵攻し鹿野城を攻略
- 1564年8月7日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|永禄7年7月|姉小路嗣頼は上杉謙信と手を結んでいたために、その宿敵である武田信玄の武将である山県昌景や木曾義昌の侵攻を受けて降伏し、武田氏の配下となった
- 1564年8月7日-09:00|日本|岐阜県飛騨市|永禄7年7月|飛騨/江馬輝盛は、信玄の部将山県昌景に攻められて武田氏に降る
- 1564年8月7日-09:00|日本|群馬県安中市|永禄7年7月|武田信玄が上野安中城を攻略、安中城主安中左近大夫廣盛らを攻め破る
- 1564年8月8日-09:00|日本|愛知県犬山市|永禄7年7月2日|黒田城主和田新介・小口城主中嶋豊後守の犬山城両家老が丹羽長秀を通じて降伏
- 1564年8月8日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|永禄7年7月2日|北美濃加治田城主・佐藤紀伊守三省、岸良澤を使い丹羽五郎左衛門長秀を通じて降伏
- 1564年8月10日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄7年7月4日|<死去>畿内・阿波国の大名「三好長慶」飯盛城で(43歳) →子の「三好重存」が跡を嗣ぐ(~天正元(1573)年11月滅亡)
- 1564年8月11日-09:00|日本|長野県上水内郡信濃町|永禄7年7月5日|<野尻湖騒動>越後国上田城主「長尾政景」、宇佐美定満と野尻湖で舟遊中に溺死/上杉輝虎は政景の子喜平次景勝を養子と成す
- 1564年8月19日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|永禄7年7月13日|島津忠良の次男島津忠将、肝付勢が竹原山に布陣した島津勢を攻め、竹原山で肝付勢に囲まれ家臣五十余名と共に討死/城攻めも失敗に終わり、島津勢は撤退
- 1564年8月21日-09:00|日本|茨城県結城市|永禄7年7月15日|北条氏政は再び出陣し下総国結城城主結城晴朝を攻め破って攻略し之れを降伏させる
- 1564年8月26日-09:00|日本|千葉県市原市|永禄7年7月20日|北条氏政が上総国の池和田城主多賀藏人、同右工門尉兄弟を攻め里見方の正木大膳亮時綱らと戦って之れを破り多賀兄弟を討取って攻略
- 1564年8月28日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|永禄7年7月22日|毛利軍、因幡国鹿野麓で南条宗勝の軍を破る
- 1564年8月29日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|永禄7年7月23日|武蔵岩槻城・太田資正(反北条、越後謙信との「アヅ」役)、北条氏と密約した子氏資によりを追放、氏資は北条氏に城門開く/岩槻を追われた資正は常陸佐竹氏に身をよせ、北条氏への抵抗を続ける
- 1564年8月31日-09:00|日本|福岡県|永禄7年7月25日|毛利元就は大友宗麟と和睦/宗麟の娘を小早川秀包に嫁がせ、毛利は筑前の諸城を大友氏に返却
- 1564年9月2日 05:00|ベルギー/スペイン| |||<就任>ベルギー暫定副王「ロベール・ガルス・デ・カストロ」 (~15691126)
- 1564年9月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「アントニオ・ノロニヤ」 (~15680910)
- 1564年9月6日-09:00|日本|愛知県犬山市|永禄7年8月|<犬山城合戦>丹羽長秀、犬山の家老和田新介(黒田城)・中嶋豊後守(小口城)を調略、織田信長へ内通させ、両名の手引により犬山へ侵入、城下を焼き、瑞泉寺焼失、まもなく落城/織田信清(信長の従兄弟)は城を脱出して甲斐へ亡命/信長の尾張統一がほぼ完成
- 1564年9月6日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄7年8月|北条氏康、唐沢山城を攻め、佐野昌綱は降伏
- 1564年9月11日-09:00|日本|鳥取県日野郡江府町|永禄7年8月6日|伯耆国日野郡の蜂塚氏ら国人衆が尼子氏に通じて挙兵し、宮景盛配下の兵を襲撃、毛利勢が蜂塚氏の江尾城を攻略し、伯耆国を平定
- 1564年9月12日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄7年8月7日|波多三河守信時の後室新芳が茶宴に事よせ、毒味を与えて老臣日高大和守資を暗殺
- 1564年9月18日 05:00|エクアドル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「ヘルナンド・デ・サンティヤン・イ・ウイゲロ」 (~15710719)
- 1564年9月27日-09:00|日本| ||永禄7年8月22日|<永禄の盟約>独立性が強く、時には「合戦」に及ぶこともあった日蓮宗(法華宗)寺院が盟約を結ぶ/妙顕寺、妙覚寺、妙蓮寺、妙伝寺、妙満寺、妙泉寺、本国寺、本隆寺、要法寺、本満寺、本禅寺、頂妙寺、本法寺、本能寺、立本寺の計15寺
- 1564年10月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイルヴェイ「イスタンブール・パシャ」 (~15650519)
- 1564年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・フランケティ」 「ベネチア・ドミニオン」
- 1564年10月5日-09:00|日本|広島県三次市|永禄7年9月|三吉豊長、大檀那として、三次郡河内の八王子権現本殿を造立
- 1564年10月10日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄7年9月6日|<上野城の戦い>上野城酒井忠尚、松平家康に攻められ駿河へ逃げる/松平家康家臣内藤信成、酒井忠尚家臣坂部造酒丞を討取る



1570迄 (1937件)

- 1565年1月17日-09:00|日本|岡山県真庭市|永禄7年12月15日|<高田城合戦>三村家親に攻められ高田城(三浦貞勝)陥落/城主貞勝(28)自害
- 1565年1月22日-10:00|北マリアナ諸島/グアム/スペイン| |||泥棒島、グアムはミゲル・ロペス・レガスピによってスペインの所有物として開拓された
- 1565年1月23日-05:30|インド| |||<即位>グジャラタール王国(アラーイット朝)国王ティルマラ・デーヴァ・ラーヤ(~1572年)
- 1565年1月23日-05:30|インド| |||インドのグジャラタール王国が、デカンのムスリム五王国の連合軍にタリクータの戦いで大敗
- 1565年1月26日-10:00|北マリアナ諸島/スペイン| |||レガスピがラドネス(マリアナ)諸島の領有を宣言
- 1565年1月28日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|永禄7年12月26日|<大坂永禄7年石山本願寺の大火>(~27日)真夜中頃になって、市中で大火/富裕であった僧侶の城も御殿も、また本中でもっとも華麗な寺院の一つであった建物も、灰じんに帰した/三、四時間以内に約九百戸が焼け、火災から逃げ得なかった婦女子、老人、病人ら百名が火中で死に果てた
- 1565年1月30日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ハンク・クラツン・ホルン・ス・カス」(2回目~1568年)
- 1565年1月31日-09:00|日本|佐賀県唐津市|永禄7年12月29日|日高甲斐守喜と鶴田越前守前・鶴田因幡守勝は岸岳城を襲い城中に火を放った/後室は波多家の跡目藤童丸を連れ逃れた
- 1565年2月-04:00|ロシア| |||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」が、大貴族の権力を抑制するため国の主要部分を直轄地と
- 1565年2月1日-09:00|日本|愛知県田原市|永禄8年|<田原城合戦>松平家康、田原城を攻略し、三河を統一/田原城を本多広孝に与えて東三河の旗頭として大小の武士を統轄させる
- 1565年2月1日-09:00|日本|愛媛県西予市|永禄8年|<死去>伊予黒瀬領主「西園寺実充」⇒「西園寺公広」が継ぐ(~天正13(1585)年失領)
- 1565年2月1日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄8年|奥山氏、鶴ヶ城(静岡県浜松市天竜区)築城
- 1565年2月1日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄8年|日高喜は兵を壱岐に進め、壱岐六人衆を撃滅して波多氏の壱岐代官波多隆の弟波多正(政)をたてて壱岐代官としておき、壱岐の支配権を握る
- 1565年2月1日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉南区|永禄8年|大友宗麟が毛利との講和後も抵抗を続ける規矩郡長野助盛(秋月文種の子秋月種信と言われる)の小三岳城を攻撃、占領
- 1565年2月1日-09:00|日本|福島県|永禄8年|<交替>陸奥国主「伊達晴宗」隠居⇒次男「伊達輝宗」に家督を譲る(実権はまだ晴宗が握る)
- 1565年2月1日-09:00|日本|山梨県甲府市|永禄8年|甲斐善光寺金堂が完成
- 1565年2月16日-09:00|日本|兵庫県|永禄8年1月16日|<死去>播磨国守護(播磨置塩城主)「(赤松氏第11代当主)赤松晴政」⇒子の「赤松義祐」が家督を継ぐ(~元亀元(1570)年隠居)
- 1565年2月20日-08:00|フィリピン/スペイン| |||ミゲル・ロペス・レガスピ、サマル島に到着、フィリピン諸島の領有化を宣言
- 1565年2月25日-09:00|日本|愛媛県|永禄8年1月25日|土佐一条氏の家臣佐竹信濃守らが宇和郡に侵入し、土居清良・中野通正らがこれを撃退
- 1565年3月1日 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガル人によるリオ・デ・ジャネイロ市が建設される
- 1565年3月4日-01:00|フランス| |||<即位>グゼル公「Louis Gonzaga」(~15951023死去)
- 1565年3月15日-09:00|日本|千葉県千葉市緑区|永禄8年2月13日|(12日~)土気城合戦(北条対酒井)北条氏康は氏政を大将に臼井城主原胤貞と臼井衆、東金城主の酒井胤房・政辰父子を差し向け土気城を攻撃するが土気胤治が撃退
- 1565年3月20日-09:00|日本|愛知県西尾市|永禄8年2月18日|戸田三郎右衛門忠次、家康からの付け人22騎と共に佐久島を出帆し馬草砦を奪い、さらに進んで地蔵坂において今川方の伏兵を戸田兵右衛門尉光定・戸田九右衛門勝則・戸田与五右衛門尉の友軍によって撃退
- 1565年3月24日-09:00|日本|愛知県犬山市|永禄8年2月22日|織田信長、犬山城の織田信清を攻め、落城させる/この時、城下の瑞泉寺が戦火により焼失
- 1565年4月-01:00|スペイン/フランス| |||旧教保護者のスペイン王の専制支配に反発し、新教派の「低地諸州」の人々が蜂起し、フランス国内のプロテスタントたちがフランス王の支援・介入を求める
- 1565年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ヴァンチェツォ・ゴンベルティーニ」「ジヤコモ・デ・イェヴァンジエリスタ・ベルツィ」
- 1565年4月3日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄8年3月3日|<第一次関宿合戦>(2日~)北条勢先陣の太田氏資が関宿城(城主築田晴助)攻撃、宿中まで攻め入ったが後退
- 1565年4月6日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄8年3月6日|上杉謙信方「長野業盛」が武田信玄と箕輪城防衛戦、勝利
- 1565年4月19日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄8年3月19日|吉田城合戦(三州錯乱)松平家康、小原鎮実に勝利/小原鎮実は開城退去/松平家康、三河を統一し戦国大名として自立
- 1565年4月24日-09:00|日本|鹿児島県出水郡長島町|永禄8年3月24日|薩州島津家第6代当主島津義虎の叔父島津忠兼、相良領長島を攻め、堂崎城を攻め落とした。また獅子島も占領、支配下に置く
- 1565年4月27日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「ミゲル・ロペス・レガスピ」(~15720820死去)
- 1565年4月27日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<設立>スペイン植民地フィリピン諸島(ニュー・スペインに従属~18210928)
- 1565年4月27日-08:00|フィリピン/ポルトガル/スペイン/グアム| |||スペインの艦隊がフィリピンのセブ島に上陸し、グアム、フィリピンの征服を開始/ポルトガルはフィリピンの権益を主張し退去を要求
- 1565年4月27日-09:00|日本| |||永禄8年3月27日|本願寺顕如光佐、武田信玄と音信を結び、对上杉輝虎(謙信)の軍事同盟を結ぶ
- 1565年5月8日-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインのレガスピがセブ島でサン・ミゲル市を建設

1570迄 (1937件)

- 1565年5月15日 05:00|パナマ/スペイン| |||<再設>パナマ大審問院(~1718年)
- 1565年5月18日-01:00|マルタ/トルコ| |||<マルタ包圍戦>オスマン軍がマルタ島の包圍戦を開始
- 1565年5月19日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ヤハ・シャザーテ・ルラン・パシャ」(~15660803没)
- 1565年5月23日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄8年4月24日|竜造寺隆信は土生島城を攻めとり、神代長良は筑前  
の大都留宗秀を頼って逃れた
- 1565年5月27日-09:00|日本|島根県安来市|永禄8年4月28日|<第1次月山富田城総攻撃>(17日~)毛利元就、月山富  
田城を包圍総攻撃するが押し返され、出雲国星上より洗骸の本陣に帰る/尼子軍、これを襲うが撃退される
- 1565年5月28日-02:00|リビア| |||<死去>リビア陸軍元帥(首相)「ミカロジ・ユス・ラビラ・ジ・ウダシ」
- 1565年5月29日-02:00|リビア| |||<就任>リビア陸軍元帥(首相)代行「オスタ・ス・ウ・アラウ・イユス」(~15660311)
- 1565年5月30日-09:00|日本|宮城県|永禄8年5月|陸奥・相馬盛胤、伊達領古佐井・金津を攻略
- 1565年5月30日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄8年5月1日|<改名>河内飯盛山領主「三好義存」⇒「三好義継」
- 1565年5月30日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄8年5月1日|伊東義祐、新山城を攻める/城主日置忠光戦死
- 1565年6月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「ド・リコ・デ・コカ・ロペス・ウ・ヨア」(2回目~1567年8月)
- 1565年6月1日-09:00|日本|愛知県名古屋千種区|永禄8年5月3日|尾張国小井村の氏子、八幡宮本殿を建立
- 1565年6月3日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄8年5月5日|三河一向一揆、終結
- 1565年6月4日-01:00|スペイン/フィリピン| |||カスピがマホンの子で首長のトゥアスとその他の首長たちとの間で平和友  
好条約を締結/セブ島にスペインの主権を樹立するというもの
- 1565年6月5日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|永禄8年5月7日|太田資正、岩付城奪回のため岩付城を攻撃  
するも負け、成田氏の元に退く
- 1565年6月15日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄8年5月17日|立花山城主立花鑑載を戸次鑑連(後の立花道雪)  
・吉弘鑑理が攻撃、鎮圧する。立花鑑載は助命される
- 1565年6月17日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリホ・リタニア・ペイルベイ「キリチ・アリ・パシャ」(~15680627)
- 1565年6月17日 14:00|日本|愛知県田原市|永禄8年5月19日|<田原城の戦い>松平家康が田原城を攻撃、占領。城主  
に本多広孝を置く
- 1565年6月17日 14:00|日本|京都府京都市|永禄8年5月19日|<死去>室町幕府第13代征夷大将軍「足利義輝」松永久  
秀(56)と三好三人衆に二条の居館を急襲され、午刻(午後11時頃)自刃/30歳(誕生:天文5(1536)0310)次男の興  
福寺一乗院門跡覚慶(後の義昭)は同院に幽閉
- 1565年6月20日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄8年5月22日|<第2次上野倉賀野城合戦>武田信玄、倉賀野尚行に勝  
利し倉賀野城を攻略。倉賀野尚行は越後に敗走
- 1565年6月21日-09:00|日本|京都府京都市左京区|永禄8年5月23日|久通・三好義継らが一乗寺を破壊し放火
- 1565年6月22日-09:00|日本|岡山県美作市|永禄8年5月24日|<三星城の戦い>三村家親が後藤勝基と戦い後藤が勝  
利
- 1565年6月22日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄8年5月24日|<第一次関宿合戦>(3月6日~)北条氏康・氏政父子の率  
いる軍勢が大井川沿いの親井まで進軍したが大きな戦果なく築田晴助の援軍として佐竹義重が進軍したため  
撤退
- 1565年6月23日-01:00|リビア/トルコ| |||<死去>オスマン帝国トリホ・リタニア・ペイルベイ「トルグ・ト・レイス」
- 1565年6月28日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ソコル・ムフド・パシャ」(~15791011)
- 1565年7月3日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王国執事「アイラ・ハルテンベルク・ティル・マトラップ・ウ・イトフト」
- 1565年7月3日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「ヨハン・フリース・ティル・ヘッセルゲル」(2回目~15670817)
- 1565年7月6日-09:00|日本|愛媛県伊予郡松前町|永禄8年6月9日|豊後国大友義鎮の部将星野・黒木らの兵、伊予郡  
松前・今出などに来襲し、河野の将兵これを撃退する
- 1565年7月10日-09:00|日本|熊本県宇城市|永禄8年6月13日|相良勢が豊福城を取り戻す
- 1565年7月16日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|永禄8年6月19日|<死去>前陸奥国守護・出羽国米沢城主「(伊達  
氏第14代当主)伊達植宗」78歳/丸森城にて
- 1565年7月20日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マー伯「ジョン・アースキン」(~15721028死去)
- 1565年7月22日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄8年6月25日|<倉賀野城合戦>武田信玄、倉賀野城を攻略、城主の倉  
賀野直行を追放
- 1565年7月27日-09:00|日本|ポルトガル|長崎県長崎市|永禄8年7月|<福田沖合戦>ポルトガル水軍、松浦水軍に勝利
- 1565年7月29日 00:00|イギリス| |||スコットランド女王マリー・ステュワートがダーク・ノーリ卿と結婚
- 1565年7月31日-09:00|日本|京都府京都市|永禄8年7月5日|朝廷、三好義継の奏請によりカスパー・イル・リス=フロイス  
を京より追放。宣教師は堺へ退去
- 1565年8月-03:00|イメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国野総督「Ridwan Pasha + Murad Pasha」(~1567.4)
- 1565年8月3日-09:00|日本|鹿児島県出水市|永禄8年7月8日|島津忠兼、出水にて甥の薩州島津家第6代当主島津義  
虎に殺害される
- 1565年8月5日-09:00|日本|岐阜県|永禄8年7月10日|美濃方の加治田城の佐藤忠能親子、丹羽長秀を通じて信長へ  
内々に忠節を申し入れ
- 1565年8月6日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||サク島の領地は、エリザベス1世(カースターに從属)によってヘリエド・カレ  
ットに領地として与えられた
- 1565年8月10日-09:00|日本|愛知県犬山市|永禄8年7月15日|<犬山城合戦>織田信長、織田信清に勝利。織田信長、  
犬山城を攻略
- 1565年8月26日-09:00|日本|岐阜県各務原市|永禄8年8月|<鵜沼城の戦い>木下藤吉郎が斎藤領の美濃鵜沼城を攻  
略

1570迄 (1937件)

- 1565年8月26日-09:00|日本|岐阜県可児市|永禄8年8月|<金山城合戦>織田信長、東美濃に出陣、金山城を攻略
- 1565年8月26日-09:00|日本|岐阜県加茂郡坂祝町|永禄8年8月|<猿啄城合戦>丹羽長秀と河尻秀隆、多治見光清に勝利。織田信長、河尻秀隆を猿啄城に配置
- 1565年8月26日-09:00|日本|長崎県長崎市|永禄8年8月|<福田沖合戦>ポルトガル船、大村領の長崎福田港入港。松浦家の兵船と堺の商船が福田港のポルトガル船を襲撃/ポルトガル水軍、松浦水軍に勝利
- 1565年8月27日-09:00|日本|兵庫県丹波市|永禄8年8月2日|丹波八木城主の松永長頼(内藤宗勝)が黒井城に荻野(赤井)直正を攻めるが逆襲に遭い戦死/三好家丹波を失い、狄野・波多野・内藤三氏の割拠に戻る
- 1565年8月28日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ペドロ・メンドーサ・アビレス」(~15740917死去)
- 1565年8月28日 06:00|アメリカ/スペイン| |||ペドロ・メンドーサ・アビレスらスペイン人千5百名、フロリダに最初の植民地セント・オガスティンを建設。イエズス会、フロリダでインディアンへの布教開始
- 1565年8月31日-09:00|日本|鳥取県日野郡江府町|永禄8年8月6日|<江尾城の戦い>毛利方三千の大軍を迎え討ち尼子との信を守って決戦の末蜂塚一門は全員城を枕に討死
- 1565年9月-04:00|ジョージア| |||<即位>イムレティ王「ジョージ2世」(~1585年死去)
- 1565年9月4日-09:00|日本|京都府京都市|永禄8年8月10日|<死去>陰陽師・勘解由小路在富/一時、勘解由小路家当主が空白状態
- 1565年9月7日-09:00|日本|広島県三原市|永禄8年8月13日|小早川隆景、大位那として、豊田郡真良の八幡宮社殿を再興
- 1565年9月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李浚慶」(~15710620)
- 1565年9月11日-01:00|マルタ/トルコ| |||<マルタ包囲戦>マルタ島を襲ったトルコ人が、総長ジャン・ドゥ・ウアラットによって撃破される
- 1565年9月12日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督「フランシスコ・ガルシア・オリオ・デ・サントバル」(~15680724)
- 1565年9月14日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄8年8月20日|神代長良は土生島城を奇襲で攻め落とし代々の三瀬城に戻る
- 1565年9月20日-01:00|フランス/スペイン/メキシコ| |||スペイン軍が、フロリダ半島のフランス人居住区フォル・カリヌを襲撃し、フランス人を虐殺
- 1565年9月22日-09:00|日本|岐阜県美濃加茂市|永禄8年8月28日|<堂洞合戦>織田信長軍・加治田衆と斎藤龍興方の岸信周との間で行われた堂洞城を中心とした合戦/織田軍は河尻秀隆・森可成が天主構へ乗り入り、丹羽長秀も本丸に攻め込んだ。敵味方も分からない乱戦の中、信周夫妻は辞世の歌を詠んで刺し違え、信周の弟信貞も必死の防戦後討死して、堂洞城は落城
- 1565年9月23日-09:00|日本|岐阜県|永禄8年8月29日|<関・加治田合戦>信長軍が犬山へ帰還途中、関城から長井道利が、井ノ口(岐阜)からの斎藤龍興援軍と合わせて3,000人余りで信長軍に襲い掛かった。信長の手兵は800ばかりで合戦は無理だったので、ひろ野に退いて体制を整え、かかるように見せかけておいて鶴沼へ退却
- 1565年9月24日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄8年9月|一揆に加担した上野上村城を松平家康が攻撃、占領
- 1565年9月24日-09:00|日本|岐阜県可児市|永禄8年9月|<拝領>「森可成」美濃金山75000石(鳥ヶ峰城を金山城と改称) (~元亀元年9月19日(15701019)死去)
- 1565年9月24日-09:00|日本|岐阜県可児市|永禄8年9月|久々利城の久々利頼興、斎藤氏から離反し織田氏に帰属
- 1565年9月24日-09:00|日本|岐阜県加茂郡川辺町|永禄8年9月|米田城の肥田忠政、斎藤氏から離反し織田氏に帰属
- 1565年9月24日-09:00|日本|岐阜県関市|永禄8年9月1日|<関・加治田合戦>織田信長が斎藤方長井道利の拠る美濃関城を攻め落とし道利は越前に奔る
- 1565年9月26日-09:00|日本|京都府京都市|永禄8年9月3日|<完成>「洛中洛外図屏風」(狩野永徳の作品)
- 1565年9月26日-09:00|日本|鳥取県東伯郡琴浦町|永禄8年9月3日|<八橋城の戦い>毛利方の侵攻により八橋城が落城。城主吉田源四郎は月山富田城まで退く
- 1565年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ボネット・デ・イマリノ・ボネッティ」「マリノ・ボネリ」
- 1565年10月2日-09:00|日本|山梨県|永禄8年9月9日|武田家と織田家が同盟を結ぶ/武田信玄四男の四郎勝頼と織田信長の養女龍勝院(信長の姪)の婚姻が成立(元亀3年(1572年)の信玄による徳川領侵攻まで続く)
- 1565年10月3日 07:00|メキシコ| |||ウルタネタがアカプルコに帰港し太平洋往復航路を確立(大圏航路)
- 1565年10月4日-09:00|日本|奈良県桜井市|永禄8年9月11日|松永久秀方が「小夫城」(奈良県桜井市)攻略、小夫氏は多田(東山内)へ逃れる
- 1565年10月11日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「オトリコ・オッタヴィオ・ジエンフレ」(~15671011)
- 1565年10月13日-09:00|日本|島根県安来市|永禄8年9月20日|<山中幸盛・品川将員の一騎討ち(出雲国)>月山富田城下の富田川の中州(現在の島根県安来市広瀬町)で行われた、山中幸盛と益田家の侍大将品川将員の一騎討ちの戦い/幸盛が将員を討ち取り勝利
- 1565年10月13日-09:00|日本|千葉県香取市|永禄8年9月20日|正木時忠、府馬、森山勢三千を率い、木内右馬介の守る米野井城(蛇蜂城)を攻撃
- 1565年10月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン公「ヨハン・フリードリヒ2世」
- 1565年10月21日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ヨハン・ウイヘルム」(~1572年所領分割)
- 1565年10月21日-09:00|日本|岐阜県加茂郡富加町|永禄8年9月28日|<堂洞城合戦>織田信長、美濃加茂郡堂洞城を攻略。城主岸勘解由左衛門信周・岸信房自刃
- 1565年10月21日-09:00|日本|福井県|永禄8年9月28日|<中山合戦>武田軍、朝倉軍に勝利

1570迄 (1937件)

- 1565年10月31日-09:00|日本|京都府京都市北区|永禄8年10月8日|丹波波多野晴通等、同国荻野直正に応じて山城長坂口に出陣するに依り、松永久秀、竹内秀勝をして之を撃退
- 1565年11月3日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄8年10月11日|大和国龍王山城(天理市)が松永方に謀反
- 1565年11月7日-09:00|日本|奈良県桜井市|永禄8年10月15日|小夫城が開城、小夫氏は多田(東山内)へ逃れる
- 1565年11月7日-09:00|日本|山梨県|永禄8年10月15日|武田信玄嫡男・義信、父信玄暗殺を企てた謀反にかかわったとされ甲府東光寺に幽閉され、今川義元の娘嶺松院と強制的離縁の上、後継者としての地位を失う/飯富虎昌が責任を取らされ自害。曾根周防・長坂源五郎ら80人処刑
- 1565年11月23日-09:00|日本|岡山県美作市|永禄8年11月|(5月24日~)備中・三村家親、美作に出陣、三星城(後藤勝基)を攻めるが、攻めあぐね兵を引く
- 1565年11月23日-09:00|日本|岡山県美作市|永禄8年11月|備中松山城主三村家親が毛利方として美作へ侵攻、三浦氏の高田城を攻撃、占領/毛利家から牛尾久盛が派遣され、高田城主として入る
- 1565年11月23日-09:00|日本|栃木県小山市|永禄8年11月|<第六回関東遠征>(~永禄9年5月)上杉輝虎が関東へ侵攻、下野小山城(城主小山秀綱)を占領
- 1565年11月25日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|永禄8年11月3日|<死去>常陸太田城主「(常陸佐竹氏第17代当主)佐竹義昭」病死/35歳→息子の「佐竹義重」が継ぐ(天正14(1586)年隠居)
- 1565年12月2日-09:00|日本|愛知県稲沢市|永禄8年11月10日|尼妙秀ら、尾張国安楽寺に涅槃図を寄進
- 1565年12月5日-09:00|日本|愛知県一宮市|永禄8年11月13日|黒田次右衛門ら、尾張国御裳社の社殿を再興
- 1565年12月5日-09:00|日本|山梨県|永禄8年11月13日|織田信長、甲斐守護武田信玄と同盟成立/信長、信玄次男伊那高遠諏訪四郎勝頼に美濃中津川苗木城城主遠山勘太郎(信長の妹婿)の娘(信長養女とし)の縁組実現
- 1565年12月7日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄8年11月15日|<第2次永禄の争乱>河内・三好長逸、三好義継を担いで飯盛城を攻め、松永久秀と断交
- 1565年12月9日-01:00|パキスタン| ||<死去>第224代ローマ教皇「ピウス4世」/66歳(誕生14990331)
- 1565年12月9日-09:00|日本|群馬県吾妻郡中之条町|永禄8年11月17日|西上野の嶽山城(中之条町)の池田佐渡守ら、真田幸隆(53)の仲介により武田氏に帰属開城
- 1565年12月10日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄8年11月18日|<第六次筒井城の戦い>松永久秀が大和国筒井順慶の筒井城を攻め落城させる/筒井軍は筒井党であった布施城を頼って落ち延びた
- 1565年12月11日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄8年11月19日|阿部山・ハ、塚城が落城/十市郷南部が焼き払われる/また布施城に入った筒井方に細井戸・南郷両氏が同心
- 1565年12月13日-09:00|日本|愛知県津島市|永禄8年11月21日|尾張国津島社八王子殿の遷宮
- 1565年12月18日-09:00|日本|奈良県大和高田市|永禄8年11月26日|<高田城の戦い>筒井順慶は高田当次郎の居城・高田城下を焼討ち
- 1565年12月23日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄8年12月|厩橋城の上杉謙信の家臣「北条高広」が後北条氏に内通
- 1565年12月23日-08:00|中国| ||明・嘉靖44年12月|四川大足の蔡伯貫が率いる白蓮教徒の乱がおこる
- 1566年-08:00|インドネシア/ポルトガル| ||<就任>モルッカ諸島ポルトガル司令官「Diogo Lopes de Mesquita」(~1571年)
- 1566年-07:00|ロシア| ||<建立>「タートルアン寺院」[ヒエンチャン]
- 1566年-07:00|カンボジア| ||<死去>カンボジア王国国王「オンチャン1世」
- 1566年-07:00|カンボジア| ||<即位>カンボジア王国国王「ハロム・リヤチ1世」(~1576年死去)
- 1566年-05:30|インド| ||<即位>ファルク朝ハン「Miran Muhammad Shah2世」(~1576年)
- 1566年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Sulaiman Khan Karrani」(~1572年)
- 1566年-04:00|ロシア| ||<即位>カシモフ・ハン国ハン「サイン・ブラト」アフマト・ハンの孫ベグ・ブラトの子(~1573.7)
- 1566年-03:30|イラン| ||<就任>サファヴィー朝宰相「マサム・ベグ・サファヴィー」(~1568年)
- 1566年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダッド・ワリス「イスクンデル・パシヤ」⇒「ムラト・パシヤ」(~1575年)
- 1566年-02:00|フィンランド/スウェーデン| ||<死去>スウェーデン王領フィンランド 総督「ゲスタフ・フィンケ・ティル・ポルカラ・オッフ・ソネス」
- 1566年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ベイルベイ「サル・マフマト・パシヤ」(~1567年)
- 1566年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「フランチェスコ・ソランツォ」(~15670724)
- 1566年-02:00|キプロス/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ニコラ・ティマルコ・クリニ」(~1567年)
- 1566年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「マフマト・パシヤ」(~1567年、銃撃によって暗殺された)
- 1566年-02:00|フィンランド/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「イヴァル・マンソン・スタークロス・ティル・カルクネス」(~1568年)
- 1566年-02:00|ギリシャ| ||<即位>ナクソス公「ヤセフ・ナツ」オスマン帝国が任命(~1579年没)
- 1566年-02:00|ギリシャ/トルコ| ||イトラはオスマン帝国の一部(ルメリアのエイヤレットの一部、1661年からモリアのエイヤレット)/ナクソス、アントロス(アントロス)、セオ(ケア)、フサラはオスマン帝国の一部(シエサイル・イ・バル・イ・セフィト)のエイヤレットの一部
- 1566年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのベイルベイ「ムハンマト1世・パシヤ」(~1568年3月)
- 1566年-01:00|ポスニア/ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポスニア総督「メフメド・ベイ」(1回目~1568年)
- 1566年-01:00|スペイン/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Francisco Pereira」(~1567年)
- 1566年-01:00|フランス| ||<就任>ルル伯「ルイ4世」(~15951023死去)女公アンリエットと結婚
- 1566年-01:00|フランス| ||<即位>アンジュー公・ブルボン公「アンリ3世」兼フランス王太子、アングレーム公、オルレアン公/フランス国王アンリ2世とカトリック・マティスの四男(~15740530)
- 1566年-01:00|リビア/トルコ| ||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン「ムハンマト・アル・ファシ」⇒「アル・ムスタシール・イブン・ムハンマト」(~1580年)
- 1566年 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<死去>アイスランド 支配者「ホル・スティグセン・ハイウイデ」

1570迄(1937件)

- 1566年 00:00|フェロ諸島/ルウェー/デノマーク| |||フェロ諸島行政は(ルウェーではなく)コペンハーゲンに從属
- 1566年 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ諸島のコレヒトル/治安判事「マヌエル・デ・アントゥラデ」(~1570年)
- 1566年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ暫定総督「ファン・デ・ピド」(~同年)
- 1566年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「ジョン・ヴァスケス・デ・コロナド・デ・アヤ」(就任しなかった)、「アロンソ・デ・カサス」(~1575年)
- 1566年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カカゴとコスタリカの市長「ペドロ・ベネディクト・ロス・リオス」(~1568年)
- 1566年 07:00|メキシコ| |||コルテスの息子マルチンらによる、現地支配層をまきこんだ反乱失敗/メキシコに対する王権確立
- 1566年1月4日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄8年12月13日|小田氏治、小田城を奪還し、城代北義廉は逃亡、大山義近は戦死/更に木田余城も回復
- 1566年1月6日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄8年12月15日|井戸氏が松永方古市郷を焼く/筒井より中坊駿河守が二千の兵を率いて出陣、松永方から井戸城を奪回
- 1566年1月7日-01:00|パチカン| |||<就任>第225代ローマ教皇「ピウス5世」(~15720501死去)
- 1566年1月7日-09:00|日本|広島県竹原市|永禄8年12月16日|浦宗勝、大檀那として、豊田郡宮床浦の宮床大明神社殿を再興
- 1566年1月11日-09:00|日本|静岡県静岡市|永禄8年12月20日|今川氏真、飯尾連竜(姪は氏真寵)、松井宗親を駿府へ呼び寄せ、駿府の丸飯尾邸で、三浦義鎮百騎で討つ(松井宗恒・飯尾連竜・大森泰綱・鶴殿長綱討死)
- 1566年1月12日-09:00|日本|奈良県|永禄8年12月21日|<乾脇合戦>三好長逸らが松永久秀と大和国乾脇に交戦勝利
- 1566年1月17日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|永禄8年12月26日|<大坂永禄7年石山本願寺の大火>(~27日)
- 1566年1月17日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄8年12月26日|三好三人衆が撤退/多聞山勢が宝来・西京を焼く
- 1566年1月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄8年12月28日|多聞山勢が西京へ押し寄せるが、兵を少々損ねる
- 1566年1月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ハリー・シドニー卿」(2回目~15671014)
- 1566年1月21日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・崇康1年|大越莫朝・崇康と改元(~15780206)
- 1566年1月22日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄9年|織田軍の佐久間信盛が西三河へ侵攻、今川方の寺部城を攻撃、占領(以降、既に織田が占領していた拳母城・梅ヶ坪城・広瀬城などともに西三河の高橋郡を支配下に置く)
- 1566年1月22日-09:00|日本|京都府京都市北区|永禄9年|三好義嗣が父長慶の菩提をとむらうため大徳寺聚光院建立
- 1566年1月22日-09:00|日本|群馬県沼田市|永禄9年|<交替>沼田城主「沼田顕泰」隠居⇒家督を3男弥七郎朝憲に譲り、天神城(川場村)に隠退
- 1566年1月22日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄9年|正円院日泉、禅寺高橋山建徳寺(高橋)を日蓮宗に改め開山
- 1566年1月22日-09:00|日本|長崎県佐世保市|永禄9年|龍造寺隆信は相神浦の松浦親を屈服させ、下松浦の大半を支配下においた
- 1566年1月22日-09:00|日本|三重県桑名市|永禄9年|織田軍の滝川一益が北伊勢の桑名へ侵攻、下深谷城(近藤家教)を占領
- 1566年1月22日-09:00|日本|岡山県新見市|永禄9年1月|備中の三村家親が備中北部の楳城を攻撃、占領
- 1566年1月22日-09:00|日本|滋賀県|永禄9年1月|布施公雄、浅井長政に通じて六角義賢に謀反
- 1566年1月22日-09:00|日本|島根県隠岐郡|永禄9年1月|隠岐・隠岐氏、毛利氏に帰属する
- 1566年1月22日-09:00|日本|島根県安来市|永禄9年1月1日|尼子義久、毛利家への内通の罪で家老の宇山久兼・久信親子を誅殺
- 1566年1月23日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄9年1月2日|遠江鶴津山城において、謡初め会の際、兄弟争論の末、弟朝比奈真次が兄朝比奈泰長を殺し城主となる
- 1566年2月-01:00|フランス| |||「ムラン王令(裁判改革王令)」が出され、裁判制度の改革が行われる
- 1566年2月5日-09:00|日本|鹿児島県薩摩郡さつま町|永禄9年1月15日|虎居城城主・祁答院氏13代当主、祁答院良重、虎居城に於いて夫人に刺殺され、祁答院氏断絶/入来院重豊(14代)が祁答院を領する
- 1566年2月5日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|永禄9年1月15日|越智伊予守家増が筒井氏から貝吹城を受け取り入城する
- 1566年2月8日-01:00|フランス| |||<即位>オルソン公「カトリヌ」(~15890105、腹膜炎で病死/69歳)
- 1566年2月14日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年1月24日|松永久通が筒井城に兵糧を運び入れようと動きを察知した筒井軍はそれを阻止すべく出兵、久通隊に対して多くの死傷者を与えた
- 1566年2月18日-09:00|日本| ||永禄9年1月28日|<死去>加藤景春(不明)陶工
- 1566年2月20日-09:00|日本|鹿児島県|永禄9年2月|<交替>薩摩国守護「島津貴久」隠居剃髪し伯圀齋と号す⇒子の「島津義久」(~天正15(1587)年薩摩一国安堵)
- 1566年2月20日-09:00|日本|岐阜県各務原市|永禄9年2月|<鶴沼城合戦>(永禄8年8月~)木下秀吉、大沢基康に勝利、木下秀吉、鶴沼城を開城
- 1566年2月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄9年2月4日|<多聞山城合戦>松永久秀、多聞山城から筒井衆へ討つて出、二十余名を討つ。美濃庄に兵を残して久秀は多聞山城に帰陣
- 1566年2月24日-09:00|日本|岡山県高梁市|永禄9年2月5日|<死去>備中松山領主「三村家親」50歳、遠藤秀清・遠藤俊通に暗殺される(興禅寺の変)⇒子の「三村元親」が継ぐ(~天正3年6月2日(15750709)自害滅亡)
- 1566年2月24日-09:00|日本|岡山県真庭市|永禄9年2月5日|美作の三浦貞盛が毛利に奪われた高田城を攻撃、奪還
- 1566年3月7日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄9年2月16日|<小田城の戦い>上杉輝虎・佐竹義重、小田城(小田氏

1570迄(1937件)

治)を攻略

- 1566年3月8日-09:00|日本|大阪府堺市西区|永禄9年2月17日|<上之芝合戦>三好三人衆が畠山・遊佐勢と河内上芝に破る/畠山・遊佐方は堺へ逃げる/討ち取った首は実検分の463を含め、1000程という
- 1566年3月8日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄9年2月17日|松永久秀、調略により松山彦十郎を味方につけ、芥川山城を奪取させる
- 1566年3月8日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|永禄9年2月17日|<滝山城の戦い(摂津国)>三人衆は安宅信康に命じて淡路水軍を率いて滝山城攻略を開始、城の守りは非常に固く11名の首を打ち取っただけで兵を引いた。その後しばらくは膠着状態が続いた
- 1566年3月11日-02:00|リトニア| |||<就任>リトニア陸軍元帥(首相)「ジヨナス・ジェロマス・ホケイユス」(~15690701)
- 1566年3月12日-09:00|日本|千葉県松戸市|永禄9年2月下旬|上杉謙信が下総小金城を攻めるが落とせず
- 1566年3月15日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年2月24日|松永久通が筒井城へ兵糧を入れる際合戦があり、討死少々と多くの負傷者を出す
- 1566年3月17日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|永禄9年2月26日|<八上城合戦>丹波の波多野秀治は居城の八上城を奪還し、大名として独立
- 1566年3月18日-09:00|日本|福島県須賀川市|永禄9年2月27日|蘆名盛氏が須賀川城主の二階堂盛義を降伏させる。蘆名盛氏は二階堂盛義の嫡男 盛隆を人質に取り、また蘆名盛氏の嫡男盛興と伊達晴宗の四女彦姫を婚姻させ、蘆名家と伊達家も和睦
- 1566年3月19日-09:00|日本|佐賀県|永禄9年2月28日|<死去>有馬晴純(84歳)前肥前有馬氏当主
- 1566年3月20日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ハントリー伯ジョージ・ゴードン」(~15671111)
- 1566年3月21日 00:00|イギリス| |||英国の宗教改革指導者トマス・クランマーが女王マリ1世の命により火刑
- 1566年3月22日-09:00|日本| ||永禄9年3月|足利義秋(義昭)が織田信長と美濃の斎藤龍興に和平を勧告。両者と和睦
- 1566年3月22日-09:00|日本|茨城県猿島郡五霞町|永禄9年3月|栗橋城の野田景範、上杉氏から離反し北条氏に帰属(翌年9月23日、野田景範は栗橋城を接收されから古河城に移転)
- 1566年3月22日-09:00|日本|広島県三次市|永禄9年3月|藤原隆述、高田郡粟屋郷八幡宮の木造御神体を再興
- 1566年3月24日-09:00|日本|静岡県浜松市|永禄9年3月3日|久頭郷城奥山貞益、奥山定茂・遠山景則に攻められ討死/奥方於加波御前、逃げる途中水窪池田平で、母子共に死亡
- 1566年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「マルクアントニオ・ゴジ」「ジヨヴァンニ・アントニオ・デ・アントニオ」
- 1566年4月13日-09:00|日本|千葉県佐倉市|永禄9年3月23日|<臼井城の戦い>上杉輝虎は千葉胤富の家臣原胤貞の治める下総臼井城に攻め寄せ、上杉勢が有利に戦闘を進め、実城の際まで迫ったが、佐倉の将門山の城にいた千葉胤富や北条氏による原胤貞への救援もあり敗北/上杉輝虎は房総から完全撤退
- 1566年4月18日-09:00|日本|静岡県浜松市|永禄9年3月28日|今川氏真が引馬城を攻めると江馬泰顕・江馬時成、松平家康の加勢(本多信俊・渡辺守綱・中根利重)を新居まで送り返し和睦/江馬時成の母(飛騨国司久我家の臣並河主水の娘)と子江馬弥三一成6歳を人質として駿府へ。引間城代に進藤周防守とする/飯尾家臣大森親綱討死
- 1566年4月20日-09:00|日本|愛知県あま市|永禄9年4月|伊東某、三河国下田村の八幡社社殿を建立
- 1566年4月20日-08:00|中国| ||朝鮮・嘉靖45年4月|吳平、万橋山に大敗し、のち行方不明
- 1566年4月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄9年4月4日|三好三人衆軍は筒井軍と合流、総勢6千兵で多聞山城に向かうと、迎撃の松永軍3千兵による抑えを突破
- 1566年4月29日-09:00|日本|広島県東広島市|永禄9年4月10日|乃美隆興、大檀那として、豊田郡清武の八幡宮社殿を再興
- 1566年5月9日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄9年4月20日|飢肥の沖で海戦/島津義久、伊東義祐を破る
- 1566年5月10日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年4月21日|美濃庄城が筒井・三人衆連合軍へ降伏し、城を明け渡した
- 1566年5月12日 04:30|ペルー/スペイン| |||<就任>スペイン領ペルー 総督「Pedro Ponce de Leon y Riquelme」(~15690523)
- 1566年5月19日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄9年5月|長野業通は、鷹留城を兵数百で防戦するも落城
- 1566年5月19日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|永禄9年5月|相馬盛胤、伊達輝宗方の陸奥金山城・小斎城を落とす
- 1566年5月27日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄9年5月9日|牛久保城主の牧野成定、今川氏から離反し松平氏に帰属、松平家康が三河を平定
- 1566年5月28日-09:00|日本|岡山県岡山市|永禄9年5月10日|<沼表の戦い>三村家成、備前沼城(宇喜多直家)を攻撃するも敗死
- 1566年6月4日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|永禄9年5月17日|松下蔵人建昌、鴨江寺(鴨江)本堂を再建
- 1566年6月9日-09:00|日本|大阪府大阪市平野区|永禄9年5月22日|松永久秀、摂津国喜連で大和国から転進した三好三人衆と戦い敗れる
- 1566年6月11日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|永禄9年5月24日|<高屋城の戦い>松永久秀が、三好義継らを高屋城に攻めたが敗れ、堺へ退く
- 1566年6月16日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄9年5月29日|松永久秀は6千兵で堺を制圧/三好氏にとって畿内の戦略基盤としていた都市を三人衆から掠め取った
- 1566年6月17日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄9年5月30日|三好義継らが松永久秀を堺に攻め、久秀を逃走させる
- 1566年6月18日-09:00|日本|富山県砺波市|永禄9年6月1日|上杉輝虎、再度、越中増山城(神保長職)を攻略
- 1566年6月18日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄9年6月1日|<大和大安寺合戦>大安寺南大門前で郡山衆(筒井方)

1570迄 (1937件)

- と多聞山衆による合戦があり、両軍数名の戦死者が出る；三好三人衆、堺を制圧。松永久秀、出奔
- 1566年6月19日 00:00|イギリス| |||<就任>ロス公(スコットランド王位の法定推定相続人)・16代キリク伯「ジェームズ・ステュアート」(~15670724スコットランド王ジェームズ6世として即位)
- 1566年6月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年6月8日|<第七次筒井城の戦い(大和国)>筒井順慶が大和の筒井城を奪還/以後、順慶は攻撃に転じて久秀の諸城を落としていく
- 1566年7月 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ総督「アロンソ・アリアス・デ・エレラ・イ・マルト・ナド」(~8月没)
- 1566年7月2日-01:00|フランス| |||<死去>ミシェル・ド・ノートルダム/62歳(誕生:15031214)大予言者
- 1566年7月6日-09:00|日本|福井県|永禄9年6月19日|<若狭海戦>武田義統、逸見昌経に勝利
- 1566年7月15日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンザール首長「ジョアン・デ・メセス・オ・クラヴェロ」(~15720801)
- 1566年7月17日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄9年7月|<蒲生野合戦>浅井長政、湖南に軍事介入するも六角義弼に敗退
- 1566年7月17日-09:00|日本|千葉県|永禄9年7月|正木時忠と千葉氏は和睦が成立
- 1566年7月20日-09:00|日本|京都府京都市右京区|永禄9年7月4日|三好三人衆が方松永方の西院城を攻略
- 1566年7月26日-09:00|日本|京都府京都市|永禄9年7月10日|<死去>近衛植家(65歳)元関白、太政大臣
- 1566年7月29日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年7月13日|三好三人衆、松永派「小泉城」(奈良県大和郡山市)を攻略
- 1566年7月29日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永禄9年7月13日|<越水城合戦>篠原長房、瓦林三河守から摂津越水城を奪還
- 1566年8月 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ総督「アロンソ・アリアス・デ・エレラ・イ・マルト・ナド」
- 1566年8月2日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|永禄9年7月17日|三好三人衆、松永派の摂津「淀城」「勝龍寺城」を攻略
- 1566年8月3日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<死去>ブダペストのベイル・イ「ヤハヤ・シャザーデ・ルスラン・パシャ」
- 1566年8月3日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイル・イ「ソクルムスタファ・パシャ」(~15781001没)
- 1566年8月4日-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク伯「クリストフ」
- 1566年8月5日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||オスマン朝軍が、ハンガリーのシゲトヴァールを包囲
- 1566年8月7日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永禄9年7月22日|大友義鎮の兵、宇和郡三間に侵入し土居清良これを撃退
- 1566年8月14日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄9年7月29日|<蒲生野の戦い>池田定輔と浅井長政・布施公雄が戦い池田が勝利
- 1566年8月15日-09:00|日本|秋田県鹿角市|永禄9年8月|安東愛季は五千の兵を遣わし鹿角郡に侵入/石鳥谷城・長嶺城などは安東勢の猛攻にたまらず落城
- 1566年8月15日-09:00|日本|秋田県鹿角市|永禄9年8月|出羽の安東愛季が南部領の鹿角郡長牛城(城主一戸友義)を攻撃するが、安東軍を退却させる
- 1566年8月15日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄9年8月|松浦隆信の家臣波多重が井関宗蓮を討ち、壱岐国を回復
- 1566年8月15日-09:00|日本|長崎県対馬市|永禄9年8月|<交替>対馬国主「宗義調」隠居⇒子の「宗茂尚」が継ぐ(~永禄12(1569)年隠居)
- 1566年8月16日-09:00|日本| ||永禄9年8月2日|<死去>津田宗達(63歳)豪商、茶人
- 1566年8月17日-09:00|日本|滋賀県守山市|永禄9年8月3日|<矢島合戦>三好長逸、矢島御所を襲撃。細川藤孝、一色藤長、仁木義政、和田惟政、明智光秀らがこれに抵抗。六角家部将の蒲生賢秀、矢島御所に救援として出陣/三好方30人ほどが討ち取られた
- 1566年8月24日-01:00|スペイン/バルセロナ| |||ティト・グンとチャルカスの聴訴官マティエンソのあいだにアコハンバ協定締結。スペイン国王への臣従を誓う
- 1566年8月28日-09:00|日本|大阪府大阪市淀川区|永禄9年8月14日|<中嶋城合戦>篠原長房、中嶋城を攻略し細川藤賢を追放
- 1566年8月31日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|永禄9年8月17日|<滝山城合戦>安宅信康らの攻撃により松永久秀の摂津滝山城が落城
- 1566年9月3日-09:00|日本|岐阜県大垣市|永禄9年8月20日|木下藤吉郎秀吉が墨俣に築いていた城が完成する(47日間の短期間で完成/後に墨俣一夜城と呼ばれる)
- 1566年9月6日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第10代スルタン「スレイマン1世」ハンガリーのシゲトヴァール要塞を攻撃中に病死/71歳(誕生1494年)
- 1566年9月6日-09:00|日本|千葉県君津市|永禄9年8月23日|武藏国埼玉郡岩槻城主太田源五郎氏資が上総国三船城を攻め、里見勢と戦い討死、北條氏康は氏政の次男十郎氏房に太田家の名跡を継がせ太田十郎氏房と名乗らせる
- 1566年9月7日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|永禄9年8月24日|常陸国・佐竹義重は大関高増に加勢し下総国で那須方属城である那須郡南那須の森田城、烏山の滝田城、南那須の神長、高瀬等の諸城を攻略/烏山城主那須胤胤は之れを高瀬に於て迎撃して破り治部内山に撃退し、更に追撃して千束ノ台に包囲し佐竹方の部将東政義を降伏させる
- 1566年9月12日-09:00|日本|京都府京都市上京区|永禄9年8月29日|京都御霊通で大火/知恩寺などが炎上
- 1566年9月14日-09:00|日本| ||永禄9年閏8月|宇都宮・皆川・成田が後北条氏に通じ上杉輝虎に背く
- 1566年9月21日-09:00|日本|岐阜県各務原市|永禄9年閏8月8日|<河野島の戦い>未明、織田信長軍は美濃国境まで進軍し木曾川が洪水となったため動きが取れなくなり、ようやく水が引き撤退を始めたが、多数の兵が川で溺死/斎藤龍興軍はその残党のうち少々を川際で討ち取った

1570迄 (1937件)

- 1566年9月30日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第11代スルタン「セリム2世」先代の子(~15741215死去)
- 1566年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ジヤンニ」  
「セバステアノ・ディ・クリストファロ・ジヤンツ」
- 1566年10月7日-09:00|日本|福井県小浜市|永禄9年閏8月24日|武田義統に対し子の元明を擁する軍勢が小浜を攻撃するが退却
- 1566年10月13日-09:00|日本|宮崎県小林市|永禄9年9月|日向佐土原領主「伊東義益」は飯野地区攻略の前線基地として小林村に三ツ山城(後の小林城)を築城させる
- 1566年10月17日-09:00|日本|群馬県太田市|永禄9年9月5日|金山城の由良成繁、上杉氏から離反し北条氏に帰属
- 1566年10月17日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|永禄9年9月5日|摂津「伊丹城」(兵庫県伊丹市)城将伊丹親興、松永久秀、に背き、足利義親(義栄)に降る
- 1566年10月19日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「ファルステ侯ガストン・デ・ペラルタ」(~15680310)
- 1566年10月21日-09:00|日本|鹿児島県霧島市|永禄9年9月9日|霧島山永禄9年の噴火>人多く死す、最古の死傷記録
- 1566年10月21日-09:00|日本|滋賀県|永禄9年9月9日|近江・六角義賢、浅井長政に敗れる
- 1566年10月29日-09:00|日本|愛知県豊田市|永禄9年9月17日|佐久間信盛、三河寺部城を陥し城主鈴木日向守重教が駿河に逃亡
- 1566年11月-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「ヨハン・ウイヘルム」(~1572年所領分割)
- 1566年11月5日-09:00|日本|岐阜県|永禄9年9月24日|木下藤吉郎秀吉が墨俣を本拠として斎藤竜興の軍勢を破る
- 1566年11月6日-09:00|日本|奈良県|永禄9年9月25日|筒井藤政(順慶)が五千の兵を従え奈良へ入る。西手掻で多聞山衆と山田・井戸衆の間に合戦があり、多聞山衆が少々討ち取られる
- 1566年11月7日-09:00|日本| ||永禄9年9月29日|武田晴信、上杉謙信方の上野箕輪城(長野業盛)を攻略
- 1566年11月8日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄9年9月27日|武田信玄は保渡田砦から箕輪城を攻める際に、善龍寺を焼いた
- 1566年11月9日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄9年9月28日|<改名>大和筒井城主「筒井藤政」成身院にて得度→「筒井陽舜房順慶」
- 1566年11月10日-09:00|日本|群馬県太田市|永禄9年9月29日|北條氏政が金山城の由良氏を降伏させる
- 1566年11月10日-09:00|日本|群馬県高崎市|永禄9年9月29日|武田晴信は上野国箕輪城主長野右京進業盛を破って攻略、業盛は自殺
- 1566年11月22日-09:00|日本|群馬県|永禄9年10月11日|<第7次関東遠征>上杉輝虎、関東に出陣
- 1566年12月7日-09:00|日本|宮崎県小林市|永禄9年10月26日|島津義久、伊東義祐が築城中の日向三山城(米良氏)を攻撃するも敗退
- 1566年12月12日-09:00|日本|石川県|永禄9年11月|<交替>能登国守護「畠山義綱」畠山家臣団により追放(能登永禄九年の変)⇒能登国主「畠山義慶」(~天正2年(1574)年死去)
- 1566年12月19日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|永禄9年11月8日|三好宗渭、大和国箸尾郷を接收
- 1566年12月25日-09:00|日本|鹿児島県肝属郡肝付町|永禄9年11月14日|大隅の肝付兼統は島津氏の大反攻を受けて居城である高山城を落とされ、翌日隠居城の志布志付近で自殺
- 1566年12月26日-02:00|ラトビア/リトアニア| |||<設立>リガ公国(リガ公領がリトアニアとの完全な統合により)
- 1567年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダ王国マハラジャ「Raja Mulya/ Prabu Surya Kencana」(~1579年)
- 1567年-04:00|ロシア| |||<死去>カシモフ・ハン国ハン「シャー・アリー」
- 1567年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「サイン・ブラト」ベク・ブラト(アマト・ハンの孫)の子(~1573年)
- 1567年-03:00|エチオピア| |||<死去>ハラール・スルタン国スルタン「Amir Nor Dhuhi-Suha 'Ali」
- 1567年-03:00|エチオピア| |||<即位>ハラール・スルタン国スルタン「Amir 'Isman AlHabashi」(~1569年)
- 1567年-03:00|エチオピア| |||エチオピアでオモ人がハラール占拠
- 1567年-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「マムト・パシャ」銃撃によって暗殺された
- 1567年-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのキプロス副官「ニコラ・ディ・ジローモ・ダントロ」(~15700909没)
- 1567年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「コカ・サン・パシャ」(1回目~1569年)
- 1567年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ゾアラ・キープテン「ヘト・ロ・ハレット・ロム」(~1569年)
- 1567年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Manuel de Meneses e Noronha」(1期目~1574年)
- 1567年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Ludovico Madruzzo」(~1600年)
- 1567年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルヒツァ大公「ニコラ・ジッチ」(~1581年)
- 1567年-01:00|チュニジア/トルコ| |||オスマン朝海軍がチュニスを再び征服
- 1567年-01:00|アルジェリア| |||コンスタンティンはクサンティナのベイク、アルジェの臣下
- 1567年-01:00|スペイン| |||フィリピン2世がイスラム教禁止令を出し、隠れムスリムが反乱
- 1567年-01:00|オランダ/スペイン| |||ベルゲン・オブ・ズーム、ブレダはスペインが行政(~1577年)
- 1567年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Eugenio de Salazar」(~1570年)
- 1567年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>ランサローテ島領主「Agustin1世 de Herrera y Rojas」(~1598年死去)
- 1567年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「ディエゴ・デ・ウエラ」(~1568年)
- 1567年 04:00|チリ/スペイン| |||スペインがチリ島の領有宣言
- 1567年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ 総督「フアン・ド・ガウティエル」(~1575年)
- 1567年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「マヌエル・パロス・デ・サン・ジヤン」(2回目~1569年)
- 1567年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「フアン・デ・バルガス・カバル」(~1573年)
- 1567年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ロペ・バルド」(~1569年)
- 1567年1月1日-09:00|日本|島根県松江市|永禄9年11月21日|富田城が開城したため熊野城も開城

1570迄 (1937件)

- 1567年1月1日-09:00|日本|島根県安来市|永禄9年11月21日|出雲・毛利元就、富田月山城(尼子義久)を攻略/中国地方10か国と豊前国・伊予国の一部を支配する大大名となる
- 1567年1月11日-09:00|日本|群馬県桐生市|永禄9年12月|柄杓山城の桐生助綱、上杉氏から離反し北条氏に帰属
- 1567年1月11日-09:00|日本|群馬県館林市|永禄9年12月|上杉家部将館林城の長尾景長、北条氏に寝返る
- 1567年1月11日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄9年12月|上杉家部将北条高広(厩橋城)、上杉輝虎から再度離反、北条に寝返る
- 1567年1月11日-09:00|日本|宮崎県小林市|永禄9年12月|紙屋城主・米良主税助、島津方に寝返った
- 1567年1月11日-09:00|日本|宮崎県小林市|永禄9年12月|野尻城主・福永祐友が、島津方である高原城主・上原尚近の説得を受け入れ、島津方に寝返った
- 1567年1月11日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|永禄9年12月|内山城主の野村刑部少輔文綱(野村松綱の子)、島津方に寝返った
- 1567年1月15日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡身延町|永禄9年12月5日|穴山信嘉、義信事件に関与し身延山久遠寺塔頭で自害
- 1567年1月20日 00:00|ポルトガル/ブラジル| ||「ウルミムの戦い」姦計連合は180隻の船に1万2千人が乗り込み、要塞を攻撃するが敗れる/姦計連合は崩壊しアインベレら指導者はさらし首/グアパラのフランス植民地も駆逐される
- 1567年1月23日-08:00|中国| ||明・嘉靖45年12月14日|<死去>明第12代皇帝「世宗嘉靖帝(朱厚㯿)」仙薬中毒で
- 1567年2月2日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄9年12月23日|「宿院城」(奈良市)松永久秀が築城
- 1567年2月4日-08:00|中国| ||明・嘉靖45年12月26日|<即位>明第13代皇帝「穆宗隆慶帝(朱載堉)」嘉靖帝の子(~隆慶6年5月26日(1572年7月5日)死去)
- 1567年2月8日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄9年12月29日|<改姓>三河国主「松平家康」⇒「徳川家康」
- 1567年2月9日-09:00|日本|愛知県知多郡阿久比町|永禄10年|尾張国阿久比城主久松信俊、同国洞雲院の大日如来堂を建立
- 1567年2月9日-09:00|日本|宮城県大崎市|永禄10年|<交替>陸奥大崎領主「大崎義直」隠居⇒子の「大崎義隆」(~天正18(1590)年失領)
- 1567年2月9日-08:00|中国| ||明・隆慶1年|明が200年にわたる海禁を解除し宥和策に転換、中国人の海外渡航を許す
- 1567年2月9日-08:00|中国| ||明・隆慶1年1月1日|明・隆慶と改元
- 1567年2月10日-01:00|ドイツ| ||<死去>トリア選帝侯「ヨハン6世」
- 1567年2月10日-01:00|ドイツ| ||<就任>トリア選帝侯「ヤコブ3世」(~15810604死去)
- 1567年2月10日 00:00|イギリス| ||<死去>グレンリー卿ヘンリー・ステュアート(スコットランド女王メアリー・ステュアートの夫)が、対立しているボスウェル伯ジェームズ・ハップバートの一味の仕掛けた火薬で爆死/21歳(誕生15451207)
- 1567年2月10日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄10年1月2日|<鶴津山城合戦>鶴津山城・朝比奈真次、大原資良より討たれる/長池八郎が鶴津山城を守る
- 1567年2月20日-09:00|日本| ||永禄10年1月12日|<死去>大覚寺義俊(64歳)真言宗の僧、連歌師
- 1567年3月11日-09:00|日本|秋田県鹿角市|永禄10年2月|安東愛季、陸奥鹿角郡の長牛城を襲うが、城主一戸友義が辛うじて撃退
- 1567年3月11日-09:00|日本|広島県三原市|永禄10年2月|<築城>小早川隆景が備後国三原城
- 1567年3月11日-09:00|日本|三重県|永禄10年2月|織田家部将の滝川一益、北伊勢に侵攻し桑名郡と員弁郡を占拠(第1次伊勢侵攻)
- 1567年3月20日-02:00|エストニア| ||<就任>エゼル・ヴァイク選帝侯「マグヌス・ヘルツォーク・フォン・ホルシュタイン」(~15720509)
- 1567年3月22日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄10年2月12日|<第七次唐沢山城の戦い>佐野昌綱が再び反旗をひるがえしたため、上杉謙信が唐沢山城を攻めるが勝敗つかず
- 1567年3月26日-09:00|日本|大阪府|永禄10年2月16日|三好方の総大将、三好義継(長慶の子)、三好三人衆に不満を抱き、三好康長、安見直政らとともに松永久秀に降る
- 1567年3月27日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|永禄10年2月17日|下野・佐竹義重、烏山城(那須資胤)を攻め敗れる
- 1567年3月31日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヘッセン方伯「フィリップ1世(寛大伯)」ヘッセン方伯領はその4人の息子たちの間で分割相続された
- 1567年3月31日-01:00|ドイツ| ||<即位>ヘッセン=カッセル方伯「ゲイルハルト4世(賢明伯)」フィリップ1世の一番上の息子(~15920825死去);ヘッセン=マルブルク方伯「ルートヴィヒ4世(遺言伯)」フィリップ1世の2番目の息子(~16041009死去、子供が無く1代で絶家);ヘッセン=ラインフェルス方伯「フィリップ2世(若伯)」フィリップ1世の3番目の息子(~15831120死去、子供が無く1代で絶家);ヘッセン=ダルムシュタット方伯「ゲオルク1世(敬虔伯)」フィリップ1世の4番目の息子(~15960207死去)
- 1567年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・デ・イピエール・パオロ・マルテッリ」「マリノ・デ・クリストファロ・シヤンギ」
- 1567年4月2日-01:00|ドイツ| ||<死去>ブラウンシュヴァイク=ケルベンハーゲン侯「エルスト3世」
- 1567年4月2日-01:00|ドイツ| ||<即位>ブラウンシュヴァイク=ケルベンハーゲン侯「ウルガング」エルスト3世の弟(~15950514死去)
- 1567年4月10日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「ベルナルド1世」
- 1567年4月10日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ヘンリー1世(リカ・アム・ド・テイ)」(~15680201戦死)
- 1567年4月10日-09:00|日本|福島県白河市|永禄10年3月|佐竹義重、白河義親の白河城を攻めて大勝
- 1567年4月12日-09:00|日本|広島県|永禄10年3月3日|毛利元就、赤川元保一族を滅ぼす

1570迄 (1937件)

- 1567年4月13日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄10年3月4日|河野氏家臣村上通康・平岡房実が大洲北方の宇都宮氏の上須戒城を奪取/宇都宮氏の劣勢を知った一条兼定は軍勢を北上させ、宇都宮氏の支援を行った
- 1567年4月15日-09:00|日本|群馬県渋川市|永禄10年3月6日|真田幸綱、白井上杉氏の拠点上野白井城を攻略
- 1567年4月19日-09:00|日本|青森県弘前市|永禄10年3月10日|<就任>陸奥大浦城主「津軽為信」大浦為則の養子となり大浦氏を継ぐ(⇒天正18(1590)年陸奥津軽郡一円45000石本領安堵)
- 1567年4月21日-09:00|日本|福井県|永禄10年3月12日|坂井郡の有力国人堀江景忠、朝倉義景に対して謀反、景忠に味方する加賀勢が、金津上野で朝倉軍と合戦
- 1567年4月24日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|永禄10年3月15日|常陸太田領主「佐竹義重」、上杉輝虎(謙信)に離反し、信玄と通ずる
- 1567年4月24日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永禄10年3月15日|土居清良、宇和郡立間石城を再興して土居似水を城代とする
- 1567年4月24日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄10年3月15日|<第八次唐沢山城の戦い>上杉輝虎はまた叛いた下野国佐野城主佐野昌綱を攻めて之れを攻略/謙信は再び昌綱を助命
- 1567年4月26日-01:00|イギリス| ||<死去>クワアア・パン「ペーテル・エルデ・イ」
- 1567年4月26日-01:00|イギリス| ||<就任>クワアア・パン代行「イワン・レコウ・イツ」(~7.20)
- 1567年4月27日-09:00|日本|長野県上水内郡信濃町|永禄10年3月18日|上杉謙信、武田軍により信・越国境の拠点のひとつである信濃国野尻城を攻め落とされるも即日取り返した
- 1567年5月1日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄10年3月22日|西郷吉貞、三河国正宗寺の客殿を再建
- 1567年5月9日-09:00|日本|新潟県五泉市|永禄10年4月|蘆名盛氏、越後菅名に出陣するが上杉輝虎が撃退
- 1567年5月9日-09:00|日本|福岡県|永禄10年4月上旬|秋月種実(秋月文種の次男)も呼応して挙兵/大友宗麟は高橋鑑種、秋月種実を討つため戸次鑑連、吉弘鑑理、臼杵鑑速ら20,000の兵を出陣させる
- 1567年5月12日 00:00|イギリス| ||<就任>オークニー公「ジェームズ・ヘフ・パン」第4代ホースウェル伯(~同年剥奪)
- 1567年5月14日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄10年4月6日|厩橋城将北条高広、北条氏康に応じて謀反/上杉謙信が厩橋城攻略
- 1567年5月15日 00:00|イギリス| ||マリー・ステュワートがホースウェル伯と結婚
- 1567年5月16日-09:00|日本|福井県|永禄10年4月8日|<死去>若狭国守護「武田義統」42歳⇒子の「武田元明」が継ぐ(~天正10年7月19日(15820807)死去滅亡)
- 1567年5月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年4月11日|<移転>大和信貴山城主「松永久秀」三好義継を擁し⇒大和多聞山城
- 1567年5月26日-09:00|日本|滋賀県|永禄10年4月18日|近江国の戦国大名・六角氏が分国法「六角氏式目」を制定、家臣による条文の起草、主君による承認・誓約という珍しい形式による
- 1567年5月26日-09:00|日本|千葉県野田市|永禄10年4月18日|北条氏政、下総国関宿城主「築田晴助・持助」と盟約を結ぶ/甲相駿三国同盟破れる
- 1567年6月6日 00:00|イギリス| ||マリー・ステュワートとホースウェル伯との結婚に反対するスコットランドの国民がクーデターを起こす/マリーはローレンス城に監禁される
- 1567年6月7日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄10年5月1日|伊東・島津両軍、飢肥美々田で合戦/伊東義祐、島津日新斎忠良と和睦
- 1567年6月11日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄10年5月5日|武田信玄配下真田幸綱、上野総社城を攻略
- 1567年6月23日 00:00|イギリス| ||<死去>11代サラント伯「ジョン・ゴードン」
- 1567年6月23日 00:00|イギリス| ||<就任>12代サラント伯「アレクサンダー・ゴードン」(~1594年)
- 1567年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド支配者「ヘリック・クラッグ・ティル・トリンテラップ」(1回目~15690623)
- 1567年6月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年5月18日|池田勝正軍は宿院城を攻城/松永軍も頑強に防御し、逆に池田軍は多くの兵を失い西方寺に退却/松永軍は般若寺、文殊堂、仏餉堂、妙光院、観音院等を焼き払った
- 1567年6月24日-09:00|日本|兵庫県たつの市|永禄10年5月18日|<死去>播磨国室津城主「浦上誠宗」叔父の浦上宗景の意を奉じた江見河原によって暗殺
- 1567年6月30日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年5月24日|三好三人衆、大和国法輪院へ入り宝徳院・妙音院・徳蔵院・金蔵院、大和国多聞山より火矢で放火
- 1567年7月3日-09:00|日本|愛知県岡崎市|永禄10年5月27日|信長息女徳姫を徳川家康の子信康に嫁せしむ
- 1567年7月7日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄10年6月1日|松平清四郎、三河国長沢村の神社社殿を建立
- 1567年7月20日-01:00|イギリス| ||<就任>クワアア・パン代行「ホルムスキー男爵勅・セリ」(~9.21)
- 1567年7月22日-09:00|日本|滋賀県犬上郡豊郷町|永禄10年6月16日|六角義賢軍、山門相論により一乗寺を焼打
- 1567年7月23日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄10年6月17日|松永久秀軍(「信貴城衆」)、「箸尾衆」と協力して筒井郷椎木・小泉周辺を翌朝まで放火
- 1567年7月24日-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「パオロ・ジョルジョ」(職を放棄)⇒「パスクアレ・チコニヤ」(~1571年)
- 1567年7月25日 03:00|ブラジル| ||カラカス市が建設される
- 1567年7月26日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド王「マリー1世(フランス王妃)」44歳刑死
- 1567年7月26日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド王「ジェームズ6世」ダークリー卿ヘンリー・ステュワートとマリー1世の息子(~16250327死去58歳)
- 1567年8月 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督「メルチョル・ブラボー・デ・サラビ・アイソトマール」(~1575年1月)
- 1567年8月3日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・隆慶1年6月29日|<死去>李氏朝鮮第13代国王「明宗」

1570迄(1937件)

- 1567年8月5日-09:00|日本|広島県庄原市|永禄10年7月|宮景盛画像(西城浄久寺蔵)成る
- 1567年8月7日-09:00|韓国/朝鮮|朝鮮・隆慶1年7月3日|即位>李氏朝鮮国王「宣祖」(~16080317死去)
- 1567年8月8日-09:00|日本|岡山県岡山市中区|永禄10年7月4日|明禅寺合戦>三村元親が復讐のため宇喜多領へ  
侵攻。明禅寺付近で合戦となり、三村軍は敗北。この時三村家傘下の金光宗高(石山城主(後の岡山城))が宇喜多  
直家に降伏
- 1567年8月11日-09:00|日本|福岡県太宰府市|永禄10年7月7日|岩屋城の戦い>大友宗麟、高橋鑑種討伐の軍を興  
し、筑前岩屋城を落とす
- 1567年8月11日-09:00|日本|福岡県太宰府市|永禄10年7月7日|宝満城の戦い>大友軍鑑連・鑑理は高橋鑑種の宝  
満城を落城させる
- 1567年8月15日-09:00|日本|佐賀県鳥栖市|永禄10年7月11日|斎藤鎮実、筑紫広門の拠る三上山の城を包囲/広門  
は鎮実の軍を地の利の有利な場所に誘き寄せ討ち取り大勝
- 1567年8月17日-01:00|デンマーク|  
|||<就任>デンマーク王国執事「ヘーダール・ノックス・ティル・ギッセルフェルト」(~15751024没)
- 1567年8月21日-03:00|イェメン/トルコ|  
|||サでの反オスマン帝国の反乱(~15690726)
- 1567年8月22日-01:00|オランダ/スペイン|  
|||アルバ新総督、2万の兵を動員しネーデルラントの暴動を鎮圧/フーテスタント8千人  
を処刑
- 1567年8月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年7月23日|松永久秀の軍勢が三好三人衆に内応し、東大寺戒壇  
院・千手堂を焼く
- 1567年8月31日-09:00|日本|福岡県太宰府市|永禄10年7月27日|斎藤鎮実は、筑紫広門の拠る三上山の城を激しく  
攻め立て広門は降伏
- 1567年9月-03:00|イェメン/トルコ|  
|||<就任>オスマン帝国サ総督「Rus Hasan Pasha」(~1570年)
- 1567年9月3日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄10年8月1日|稲葉山城の戦い>斎藤家の有力家臣西美濃三人衆(稲  
葉良通(一鉄)、安藤守就(道足)、氏家直元(ト全))が織田家に内応
- 1567年9月5日-01:00|オランダ/スペイン|  
|||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「第3代アルバ公フェルディナント・アルヴァルツ・デ・ト  
レド」(~1573年)
- 1567年9月9日-01:00|オランダ|  
|||ネーデルラント、アルバ公フェルディナント、新教徒指導者エグモント伯、ホルネ(ホルン)伯らを逮捕
- 1567年9月9日-09:00|日本|長野県上田市|永禄10年8月7日|安曇郡の仁科盛政以下甲信の諸将士が信州小県郡下  
ノ郷の生島足島社にて起請文を捧げ武田信玄に忠誠を誓う/武田信玄が信濃を制覇
- 1567年9月16日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄10年8月14日|織田信長、稲葉山の尾根続きの瑞龍寺山を占領。次  
いで、稲葉山麓の城下町井ノ口に侵攻、町に放火。部将たちには、稲葉山城の周辺に鹿垣を廻らせ包囲戦に入る
- 1567年9月16日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄10年8月14日|大友軍と秋月軍、甘水・長谷山で激突/七度の矢合わ  
せとなる大激戦、敗れた秋月種実は古処山城に引き籠もった
- 1567年9月17日-09:00|日本|岐阜県|永禄10年8月15日|失領>美濃領主「斎藤龍興」滅亡、舟で長良川を下り、伊勢  
の長島へと脱出
- 1567年9月17日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄10年8月15日|織田信長、斎藤龍興の美濃国稲葉山井口城を奪取/  
同城を岐阜城と改名
- 1567年9月17日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄10年8月15日|秋月種実、大友方の戸次・臼杵・吉弘勢に夜襲を仕掛  
け勝利
- 1567年9月17日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄10年8月15日|大友軍、秋月氏の邑城を落とす;その後戸次道雪、秋  
月氏の支城、休松城を落とす。敗れた城将の坂田越後は自刃
- 1567年9月18日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄10年8月16日|松山安芸守、河内「飯盛城」に據りて、松永久秀、に応  
ずるに依り、三好三人衆之を攻む
- 1567年9月20日-09:00|日本|三重県四日市市|永禄10年8月18日|織田信長、伊勢長嶋を攻撃/伊勢桶城陥落、伊勢4  
郡(朝明郡、三重郡、鈴鹿郡、河曲郡)を平定
- 1567年9月21日-01:00|クロアチア|  
|||<就任>クロアチア・ハンガリー「ザグレブ」司教ジュリアン・ド・ラシコヴィッチ(~11.22)、「フランソワ・フランコ  
ンスルニスキ」(~15721202、没)
- 1567年9月22日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|永禄10年8月20日|高岡城の戦い>さらに鈴鹿川沿いに進んで西2キロ  
の鈴鹿市高岡にある神戸氏の高岡城を攻め、滝川一益にそこを任せて信長は尾張へ戻る/織田軍は高岡城を攻  
撃するが防戦される
- 1567年9月25日-09:00|日本|千葉県君津市|永禄10年8月23日|三船山合戦>上総三船台の戦いで里見義堯軍が北  
条氏康軍を破る/太田氏資討死
- 1567年9月27日-09:00|日本|大阪府四条畷市|永禄10年8月25日|三好三人衆方松山与兵衛上記が松永方に寝返り、  
飯盛城を奪取。石成友通が2000の兵で飯盛城へ向かう
- 1567年9月29日-01:00|フランス|  
|||フランス南部のニームで、新教徒が旧教徒150人を虐殺する(聖ミカエルの日事件)/ユグノー戦  
争が再開される
- 1567年10月1日-01:00|サンマリノ|  
|||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・コルベッリ」「ジヨヴァンニ・アントレア・ベルツィ」
- 1567年10月3日-09:00|日本|滋賀県彦根市|永禄10年9月|信長の妹お市が浅井長政の正室となる
- 1567年10月5日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄10年9月3日|休松の戦い>午前、大友軍は休松の陣を引き払い撤  
退開始/秋月種実は大友軍追撃/戸次鑑連は反撃を開始、配下の勇将である小野鎮幸、由布惟信500騎、一族の戸  
次鎮連600騎ら共に猛攻を加えた。秋月勢の間註所鑑景は2000兵を率いて、一度鑑連の本陣に攻め懸けて、銃弾  
で猛将・十時惟忠を討ち取っても、後陣の内田鎮家、堀安芸守600兵に軍旗を上げさせ援軍が到着したかのよう  
に装った鑑連の策に騙され、動揺したところを蹴散らされ多くの死傷者を出して撤退
- 1567年10月6日-01:00|オランダ|  
|||ネーデルラントで、アルバが総督を辞任し、アルバ公が全権を掌握

1570迄 (1937件)

- 1567年10月6日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄10年9月4日|<休松の戦い>夜半、風雨の強まる中、種実は夜襲を決行。2,000の兵を率いて、臼杵鑑速、吉弘鑑理の陣に突撃した。予期せぬ秋月勢の夜襲によって大友軍は大混乱に陥り、同士討ちを始める始末であったが、夜襲を予見していた戸次鑑連は迅速に対処し、臼杵・吉弘軍を收容した後に、撤退を指揮/夜襲によって大友軍は名だたる部将が討死し、全体での死者は400名以上となった
- 1567年10月7日-09:00|日本|奈良県御所市|永禄10年9月5日|「根来衆」・「屋形衆」、3000計の軍勢を率い大和国へ侵入し幸田城を攻めるが落とせず退く
- 1567年10月7日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|永禄10年9月5日|篠原長房、池田勝正連合軍により伊丹親興、塩川満国連合軍の摂津伊丹城落城
- 1567年10月8日-09:00|日本|大阪府四条畷市|永禄10年9月6日|三好三人衆方別所氏の援軍も加えて飯盛城を攻撃し、開城させる
- 1567年10月10日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄10年9月8日|宗像氏貞・許斐氏備らは大友宗麟を裏切り立花山城を襲うが立花山西城将の怒留湯融泉に団の原・和白方面で敗れる
- 1567年10月12日-09:00|日本|福岡県糸島市|永禄10年9月10日|原田隆種、毛利元就に寝返り大友方の宝珠岳城を攻め落とす
- 1567年10月14日 00:00|アイルランド / イギリス | |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「ロバート・ウェストン」「ウィリアム・フィッツウィリアム卿」(~15681028)
- 1567年10月15日-01:00|イタリヤ | |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「シネ・スピノラ」(~15691003)
- 1567年10月15日-09:00|日本|大阪府河内長野市|永禄10年9月13日|「根来寺衆」、河内国烏帽子形城を攻撃するも敗退
- 1567年10月23日-09:00|日本|高知県|永禄10年9月21日|河野軍は土佐国から大洲へ向かう街道沿いの城2つを確保
- 1567年10月31日-09:00|日本|滋賀県長浜市|永禄10年9月29日|浅井長政に織田信長の妹お市が嫁ぐ
- 1567年11月1日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|永禄10年10月|織田信長、稲葉山城下加納市場を楽市場とする
- 1567年11月4日-01:00|イタリヤ | |||<死去>ヴェネツィア共和国第83代ドージェ(元首)「ジローモ・ブリカリ」
- 1567年11月6日-09:00|日本|群馬県前橋市|永禄10年10月6日|北條氏康と武田信玄は上野国の厩橋城に上杉輝虎を攻めるが引き上げる
- 1567年11月10日-01:00|フランス | |||<第2次戦争>サントニの戦いで、国王軍が勝利したものの司令官アンヌ・ド・モンモランシーが戦死
- 1567年11月10日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年10月10日|<東大寺大仏殿の戦い>松永久秀、東大寺の三好三人衆を夜討/午前2寺ごろ大仏殿焼失。久秀勝利
- 1567年11月11日 00:00|イギリス | |||<就任>スコットランド 大法官「モートン伯爵ジェームズ・ダグラス」(2期目~15730117)
- 1567年11月11日 07:00|メキシコ/スペイン | |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「アロンソ・ムニョス」「ルイス・カリージョ」(~15680414)
- 1567年11月11日-07:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年10月11日|東大寺大仏殿が兵火で焼ける
- 1567年11月12日-01:00|フランス | |||<死去>モンモランシー公・ダマルタン伯「アンヌ」コンデ 公軍との戦いで戦死/王弟アンジュ公(後のアンリ3世)、旧教軍指揮者となる
- 1567年11月12日-01:00|フランス | |||<就任>モンモランシー公・ダマルタン伯「フランソワ」(~15790506死去)
- 1567年11月15日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄10年10月15日|松山安芸守が三好三人衆に飯盛城内の私宅を攻められ和睦し堺へ退く/安芸守は再び三人衆方へ付く
- 1567年11月16日-09:00|日本|秋田県鹿角市|永禄10年10月16日|安東愛季、陸奥鹿角郡の谷内城・長牛城(一戸友義)を攻め落とし、鹿角郡が南部氏から安東氏に移る
- 1567年11月19日-09:00|日本|静岡県|永禄10年10月19日|今川氏真は武田信玄と絶交
- 1567年11月19日-09:00|日本|山梨県|永禄10年10月19日|武田信玄の嫡男・義信が自刃(信謀叛事件により、父・武田信玄によって幽閉されていた)
- 1567年11月20日-09:00|日本|京都府京田辺市|永禄10年10月20日|三淵弾正某・香西某、山城国黒山辺りに出撃/これに対し三好久介(三好長逸子息)は如来堂を秘密裏に出て普賢寺谷まで退却したところ悉く討ち果たされる/足利義栄軍は大打撃を被
- 1567年11月21日-09:00|日本|大阪府大東市|永禄10年10月21日|松山安芸守・山口某、飯盛城を出て和泉国堺へ移動。飯盛城は篠原長房・三好長逸が請け取り入城
- 1567年11月23日-09:00|日本|愛媛県|永禄10年10月23日|<死去>来島城主「村上通康」村上水軍の大將⇒子の「来島通総」が家督を継ぐ(⇒天正13(1585)年伊予風早郡1万4000石)
- 1567年11月25日-09:00|日本|宮崎県小林市|永禄10年10月25日|島津軍、大拳三ツ山城に攻め入る/城主米良筑後守防戦し、島津義弘負傷
- 1567年11月26日-01:00|イタリヤ | |||<就任>ヴェネツィア共和国第84代ドージェ(元首)「ピエトロ・ロダマン」(~15700503死去)
- 1567年11月26日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄10年10月26日|池田勝正、少数の軍勢を残して奈良東大寺から摂津国へ退却
- 1567年11月27日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄10年10月27日|<唐沢山城合戦>上杉輝虎、下野国下で相州北条軍と戦う/相州北条軍は総大将の相州北条氏政が在陣する武蔵国埼玉郡の岩付城へ、唐沢山城の主郭を攻め立てていた佐野軍は下野国都賀郡の藤岡城へと、いずれも真夜中に逃げ去った/後、佐野昌綱を降伏させて戦後処理を行い、昌綱の懇願を受け入れて城主に復帰させる
- 1567年12月-02:00|シリア/アラブ/トルコ | |||<就任>アレクサンドリアの「イスカンダル・パシャ」(~1568年)
- 1567年12月14日-09:00|日本|石川県|永禄10年11月14日|朝倉氏と加賀一向一揆の和平がすすみ、双方が撤兵
- 1567年12月24日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄10年11月24日|島津貴久方は義久、義弘の軍を含む島津軍主力

1570迄 (1937件)

- で菱刈隆秋の馬越城に押し寄せた/菱刈方は城を捨てて大口の牛山城へ逃れた  
1567年12月25日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄10年11月25日|島津忠平、馬越城を攻める/城将の井手籠親子は討ち死に、城方は二百が討たれた  
1567年12月30日-01:00|ベルギー-| |||<就任>ベルギー総督「アルバ公フェルナント・アルバレス・デ・トルド」(~1573|1129)  
1567年12月31日-09:00|日本| |||永禄10年12月|甲駿相の同盟が破れる  
1568年-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「フサイン・アリ・リアヤット・シャー」(~1575年)  
1568年-08:00|フィリピン| |||<即位>スール王国スルタン「Sultan Muhammad ul-Halim」(~1596年)  
1568年-08:00|インドネシア| |||ジャワでイスラム王国ハンテンがバジヤンヤランを滅ぼし独立  
1568年-07:00|ラオス/ミャンマー| |||シエンクアーンはベグ(ヒルマ)の家臣(~1598年)  
1568年-05:30|インド| |||ウタカラ国はハンガラ(ベンガル)に併合される  
1568年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝宰相「シヤマル・アルティン・アリ・タフリジ」⇒「サイイド・ハッサン・ファラハニ」(~1576年)  
1568年-03:30|イラン| |||<即位>パタスパニド朝(Kojur)君主「Sultan Mohammad ibn Jahangir」(~1590年)  
1568年-03:00|スーダン| |||<即位>ダキン王国スルタン「Dakin」(~1585年)  
1568年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクソ・ベイルルベイ「ダウイッシュ・ハシヤ」(~1570年)  
1568年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「ハンス・ラーソン・ビョルンラム・テイル・イスス」(~1571年)  
1568年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Dervis・ベイ」(~1569年)  
1568年-01:00|ドイツ| |||<就任>アレンベルク伯「カール」(⇒1576年、アレンベルク侯~1616|0118死去)  
1568年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メウラ総督「Francisco Sanchez de Cordoba」(~1571年)  
1568年-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「フェルハト・ベイ」(~6. 25)  
1568年-01:00|チャト| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Abdallah, Mbangi」(~1608年)  
1568年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Pedro Rodriguez de Herrera」(~1571年)  
1568年 00:00|ポルトガル/ブラジル| |||ポルトガル人がブラジル先住民タイ人を虐殺  
1568年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総督・総司令官「アントニオ・メア」(~1572年)  
1568年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・カルタゴとコスタリカの総督「ペロ・アファン・デ・リベラ・イ・コメス」(~1573年5月)  
1568年1月14日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王室総督「ミクロス・オラー」  
1568年1月14日-01:00|ハンガリー/オーストリア| |||<就任>ハンガリー王室総督代行「ミハイ・パロ・メレイ・カプ・ス・メレイ」(~4. 9)  
1568年1月28日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄10年12月29日|島津方の市山城城将の市山家利は菱刈方の牛山城を攻めたが、反撃され退却  
1568年1月29日-09:00|日本|長崎県平戸市|永禄11年|<交替>肥前平戸領主「松浦隆信」隠居⇒嫡男の「松浦鎮信」(⇒天正15(1587)年平戸城(肥前松浦郡の一部および壱岐国一円)63196石本領安堵)  
1568年1月29日-09:00|日本|宮崎県えびの市|永禄11年|日向佐土原領主「伊東義益」は飯野地区への攻略に乗り出し菱刈氏攻略中で留守の島津義弘の飯野城を伊東祐安に攻めさせたが義弘がこれに気付いたため睨み合いとなり飯野・田原陣に桶平城を築城(翌年火を放ち軍勢を撤退)  
1568年1月29日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|永禄11年1月|尾張国緒川郷八幡社の社殿が建立される  
1568年1月29日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄11年1月|<高島の戦い・鳥坂峠の戦い(伊予国)>土佐一条氏は、土佐・伊予国境の三間衆・両山衆を引き込み、また対立していた西園寺氏にも圧力を掛け従属させ、その軍勢を加えて、鳥坂峠の東、伊予国高島(梅川地区、高島山)に進出。河野軍は土佐一条軍の拠点となっていた高島に攻撃を行ったものの撃退された  
1568年1月29日-09:00|日本|高知県高知市|永禄11年1月|土佐一条氏の兵、久万山に侵入し大除城主大野直昌これを撃退  
1568年1月29日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄11年1月|三宅神社、油田東岩崎「水神社」に合祀して「屯倉水神社」と改まる  
1568年1月29日-09:00|日本|大阪府和泉市|永禄11年1月1日|河内「津田城」(大阪府枚方市)城将津田主水、松永久秀、に応じ三好三人衆の党、木澤紀伊守と同国出口に戦いて之を殺す  
1568年2月-05:30|インド| |||ムガル帝国のアクバルがチトル城を攻略  
1568年2月1日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マコンゴ「ハンリ1世ネカ・アムブ・テイ」戦死  
1568年2月1日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マコンゴ「アルバロ1世ニミ・アルカ・ルアムベナ」(~1587|0306没)  
1568年2月14日-09:00|日本|石川県|永禄11年1月17日|足利義秋の仲裁により、朝倉氏と加賀一向一揆の和睦  
1568年2月17日-11:00|ソモン諸島/スペイン| |||スペインの探検家アルバロ・デ・メンダニャ・イ・ネイラが発見し、ソモン島と名付けられた  
1568年2月17日-01:00|オーストリア/トルコ| |||オスマン朝が、ハプスブルク朝と8年期限の平和条約を結ぶ  
1568年2月17日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄11年1月20日|島津義弘が手勢300にて、3000の相良・菱刈勢が籠る大口城を攻撃し大敗  
1568年2月24日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄11年1月27日|<死去>大林宗套(89歳)臨濟宗の僧、茶人  
1568年2月28日-09:00|日本|愛媛県|永禄11年2月|<隠居>伊予国主「河野通直」⇒一族の「河野牛福(通直)」が跡を嗣ぐ(~天正13(1585)年失領)  
1568年2月28日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年2月|筑前・立花鑑載、大友宗麟に謀叛  
1568年2月28日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年2月|立花鑑載、筑前国士の薦野宗鎮と米多比大学を舞楽の宴にかこつけて招待し、立花山東城の井楼山で討ち果たし、白岳の立花山西城の城将の怒留湯融泉を攻め落

1570迄 (1937件)

した

- 1568年2月28日-09:00|日本|三重県|永禄11年2月|織田信長、伊勢に侵攻。神戸、関、長野らが降伏(第3次伊勢侵攻)
- 1568年2月28日-09:00|日本|三重県津市|永禄11年2月|<交替>伊勢長野領主「長野具藤」解任⇒織田信長の弟「長野信良(織田信包)」(⇒翌年10月伊勢上野5万石)
- 1568年3月2日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄11年2月4日|土佐一条軍は鳥坂城を攻撃、激戦が繰り広げられた鳥坂城は落城の危機を迎えたものの、後詰として参陣した村上吉継の奮戦もあり、土佐一条軍を大いに討ち破った/最終決着はつかず、鳥坂峠と高島を挟んでの、にらみ合いが続いた
- 1568年3月6日-09:00|日本| ||永禄11年2月8日|<任命>室町幕府14代将軍「足利義栄」(摂津富田の阿波公方)(~永禄11年(1568)年9月死去)
- 1568年3月9日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア摂政「ルサントラ」(~15701112没)
- 1568年3月9日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「ホグダン4世ラフシュネヌ」(~15720215)
- 1568年3月14日-09:00|日本| ||永禄11年2月16日|「甲三同盟」武田信玄、徳川家康と同盟し、駿河・遠江の分割協定を取り交わす
- 1568年3月14日-09:00|日本|広島県安芸高田市|永禄11年2月16日|毛利元就・同輝元、大檀那として、吉田祇園社の社殿を再興
- 1568年3月17日-09:00|日本|岡山県真庭市|永禄11年2月19日|<高田城合戦>毛利元就、三浦貞広に勝利。三浦貞盛、討死
- 1568年3月18日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|永禄11年2月20日|森屋城に於いて三好三人衆側と十市某の軍勢が交戦、森屋城を三好三人衆側が奪う
- 1568年3月19日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄11年2月21日|<第九飢肥役(日向国)>早朝、土持頼綱を大将として北郷軍6000に島津忠親軍7000を加えた13000が阿田越に集結し、更にこれを迎えるため飢肥城内の島津軍も大迫口に出陣。これに対して島津軍が小越西方の竹野に差し掛かったことを確認した伊東軍は、まず落合兼置、木脇祐守らが小越に向かうと伊東祐安、祐青らもこれに続き、鉄砲の音を合図として島津軍に向かって一斉に攻め掛かった。島津軍も応戦するも徐々に小越の辺りで伊東軍が島津軍を包囲する形となり、伊東祐安、木脇祐守らが敵勢を手元に引き付け島津軍の隊伍を乱し攻め立てると、落合兼置、川崎主税助、山田宗昌らが次々と首級をあげ戦局は伊東軍に傾いていった。さらに伊東軍の長倉伴八郎らが島津軍を横合から突撃し島津軍はたちまち壊滅状態に陥り酒谷方面へ敗北遁走。伊東軍はなおもこれを追撃すると島津軍の将を次々と討ち取っていき、酒谷城近くまで攻め寄せたところで兵を引き上げた
- 1568年3月20日-01:00|ドイツ| ||<死去>プロイセン公(ホーエンツォルン朝)「アルブレヒト1世」77歳
- 1568年3月20日-01:00|ドイツ| ||<即位>プロイセン公(ホーエンツォルン朝)「アルブレヒト2世フリードリヒ」アルブレヒト1世の息子(~16180828死去65歳)
- 1568年3月23日-01:00|フランス| ||(22日~)ロンジューの和議が結ばれ、第2次ユグノー戦争が終わる/プロテスタントに対して信仰の自由と権利が与えられた
- 1568年3月29日-09:00|日本|愛知県豊橋市|永禄11年3月|三河国赤岩寺の結衆ら、同寺本堂を建立
- 1568年3月29日-09:00|日本|秋田県鹿角郡|永禄11年3月|南部晴政、養子信直・石川高信・九戸政実を動員して、安東軍を破り、陸奥鹿角郡を奪回
- 1568年3月29日-09:00|日本|福井県あわら市|永禄11年3月|敦賀の朝倉景恒勢が攻勢をかけ、金津へ侵攻した杉浦・堀江勢は加賀へ退却
- 1568年3月29日-09:00|日本|福島県石川郡|永禄11年3月|<交替>陸奥石川郡領主「石川晴光」隠居⇒養子の「石川晴光」が継ぐ(~天正18(1590)年失領)
- 1568年4月 05:00|コロンビア| ||ホーキンス、コロンビア北岸のリオアチャを攻略し、奴隷貿易を強制
- 1568年4月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「ヒエール・パオ・ホネリ」「ヒエール・パオ・コルベリ」
- 1568年4月3日-09:00|日本| ||永禄11年3月6日|武田信玄・北条氏康・上杉輝虎(後の上杉謙信)の3者の和睦同盟が成立
- 1568年4月9日-01:00|ハンガリー/オーストリア| ||<就任>ハンガリー王室総督「パル・ホルネミツ」(~15720624)
- 1568年4月10日-09:00|日本|新潟県村上市|永禄11年3月13日|越後・上杉輝虎の将・本庄繁長、武田信玄に応じ本庄城に拠り、輝虎これを攻めさせる
- 1568年4月13日-09:00|日本|富山県魚津市|永禄11年3月16日|越中の椎名康胤が武田信玄・本願寺に通じて上杉謙信に背く
- 1568年4月14日 07:00|メキシコ/スペイン| ||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「アウグスティン大統領」フランスコデ・セイヌ(2回目~11.4)
- 1568年4月19日-01:00|スペイン/ソモン諸島| ||スペインのメダニャ隊がソモン諸島に到達
- 1568年4月20日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄11年3月23日|菱刈・相良・入来院・祁答院・東郷各氏の連合軍、曾木城を攻める
- 1568年4月22日 00:00|ポルトガル| ||<就任>パルメロス公「テオドシオ2世」(~15830222)第7代ブラガンサ公
- 1568年4月22日-09:00|日本|富山県射水市|永禄11年3月25日|上杉謙信、放生津の対陣/越中一向一揆と勝敗つかず
- 1568年4月22日-09:00|日本|富山県魚津市|永禄11年3月25日|上杉輝虎が越中国金山城に椎名康胤を攻めるが陥落させるに至らず退陣
- 1568年4月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄11年3月25日|大和国興福寺の氷室城が焼失
- 1568年4月26日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年3月29日|今川氏真、庵原山城花沢主殿攻め、鶴殿長左衛門尉の矢で、花沢主殿討死

1570迄 (1937件)

- 1568年4月27日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|永禄11年4月|豊後大友宗麟の兵、宇和郡保内に上陸して立間石城を攻め、土居清良らこれを撃退
- 1568年4月27日-09:00|日本|大阪府堺市堺区|永禄11年4月|佛心院日・堺に妙国寺を創す
- 1568年4月27日-09:00|日本|静岡県牧之原市|永禄11年4月|石神与左衛門、随天順智開山に、龍澤山永源寺(榛原町坂口)開基
- 1568年4月29日-09:00|日本|福島県伊達郡川俣町|永禄11年4月3日|相馬盛胤、陸奥伊達郡小島に侵入するが、伊達輝宗これを撃退する
- 1568年5月-01:00|スペイン/メキシコ/ペルー| ||フェリペ2世がアルマンサとトルドをインディアスの副王に任命
- 1568年5月7日-09:00|日本| ||永禄11年4月11日|毛利と大友氏との和約破れ、再び交戦へ
- 1568年5月11日-09:00|日本|京都府京都市|永禄11年4月15日|<死去>伏見宮貞康親王(22歳)皇族
- 1568年5月11日-09:00|日本|静岡県袋井市|永禄11年4月15日|徳川軍、久野城久野宗能を攻め、高力清長・可睡齋住職遣わし降服させる/二俣城二俣左衛門尉・高蘭城浅原主殿・頭陀寺城松下之綱・西ヶ崎領松下清景・都築秀綱・門奈直友、家康に属す
- 1568年5月12日-07:00|タイ| ||<再位>アユタヤ王朝第18代国王「チャクラハット」(~15690415)
- 1568年5月16日 00:00|イギリス| ||ラングサイドの闘い。マリー・ステュアート(25)、スコットランドの幽閉地(ロッチリー・ガン城)を脱出。ダンパー・ト城を拠点に軍勢6千で、ラングサイドの丘に押し寄せる国王軍(新国王ジェームズ6世摂政マリバ(マリー-異母兄))を迎え撃ち敗北、イングリランドに逃れる
- 1568年5月23日-01:00|オランダ/スペイン| ||ネーデルラント諸州は有力貴族ラニエ公ウイلم(ウイلم1世)を先頭にスペインに対する大反乱を起こした/オランダ独立戦争(80年戦争)
- 1568年5月25日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄11年4月29日|三河国三渡野村の村人ら、飛滝社の社殿を再興
- 1568年5月26日-09:00|日本|広島県世羅郡世羅町|永禄11年4月30日|湯浅元宗、大檀那として、世羅郡井原の八幡宮社殿を造立
- 1568年5月27日-09:00|日本| ||永禄11年5月19日|島津貴久は日向佐土原領主「伊東義益」と和睦
- 1568年5月27日-09:00|日本|茨城県猿島郡五霞町|永禄11年5月|北条氏康、栗橋城を野田氏から奪い、氏照を入れる
- 1568年5月27日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄11年5月|(1月9日~)伊東義祐が飢肥城(城主島津忠親:薩摩島津と同盟関係)を攻撃、占領/伊東家は日向四十八城を支配下に置き、最大版図となる
- 1568年5月29日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年5月3日|小早川隆景ら毛利軍が筑前国立花山城を攻撃占領
- 1568年5月31日-02:00|ルーマニア| ||<死去>ワキア総督・領主「ピョートル1世若候」
- 1568年5月31日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主代行「キアヤ」(~6月)
- 1568年6月-01:00|フランス| ||フランス国内でコッセ元帥がユグノー軍に壊滅的打撃を与え、首領コックガールの首を刎ねる
- 1568年6月5日-01:00|フランス| ||新教徒指導者エグモント伯、ホルネ伯処刑。ラニエ公ウイلم1世はドイツに亡命
- 1568年6月8日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル2世ミーシャ」(~15770927没)
- 1568年6月11日-01:00|ドイツ| ||<死去>ブラウンシュヴァイク=グオルフェンビュッテル侯「ハインリヒ2世」
- 1568年6月11日-01:00|ドイツ| ||<就任>ブラウンシュヴァイク=グオルフェンビュッテル侯「ユリウス」ハインリヒ2世の息子、従叔父のエルヒ2世の遺領カレンベルク侯領を継承(~15890503死去)
- 1568年6月14日-09:00|日本|大阪府枚方市|永禄11年5月19日|<津田城合戦>三好三人衆、津田城を攻略し三好義継が敗走
- 1568年6月24日-09:00|日本|奈良県|永禄11年5月29日|篠原長房、三好宗渭が軍勢を奈良(大和国)に少し残し河内国に撤退
- 1568年6月25日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「マフメド・パシャ」(2回目~1574年)
- 1568年6月25日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄11年6月|伊予・大洲城主・宇都宮豊綱、吉川元春・小早川隆景に降る/伊予平定
- 1568年6月25日-09:00|日本|新潟県|永禄11年6月|小田切孫七郎(上杉輝虎家臣)、武田信玄の調略により上杉輝虎(後の上杉謙信)へ謀反
- 1568年6月27日-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのベイルバシ「エルジ・アリ・パシャ」(~15711028)、代行「マフメド・パシャ」(2回目~1570年)
- 1568年6月27日-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリ太守「ベイルバシ」イリ「ヤヒヤ・パシャ」(~15710328)
- 1568年6月30日-09:00|日本|宮崎県日南市|永禄11年6月6日|飢肥城、飢餓状態になり城主島津忠親は櫛間へ出奔、伊東・肝付両軍これを追撃
- 1568年7月12日-09:00|日本|鹿児島県阿久根市|永禄11年6月18日|東郷重尚(16代)、島津義虎と阿久根で戦う/義虎側63人が戦死
- 1568年7月17日-09:00|日本|大阪府|永禄11年6月23日|三好三人衆、摂津国に於いて「甲賀衆」300計と交戦、撃破
- 1568年7月23日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄11年6月29日|<信貴山城合戦>三好康長ら、松永久秀の大和国信貴山城を攻略し細川藤賢が敗走
- 1568年7月24日-01:00|スペイン| ||<死去>アストurias公(スペイン国王の推定相続人)「カルロス」
- 1568年7月24日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督「ペドロ・メネンデス・デ・アビレス」(~15740916没)、代行「フランスコ・デ・サス」(~15710421)
- 1568年7月28日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年7月4日|立花山崖下の合戦/大友勢は立花山城に肉迫、立花鑑載の軍勢はこれを迎え撃ち反撃
- 1568年7月31日-09:00|日本|岡山県岡山市|永禄11年7月7日|<金川城合戦>(5日~)宇喜多直家、金川城松田元輝の

1570迄 (1937件)

- 属将伊賀久隆(津高郡虎倉城主、直家の妹が嫁ぐ)と謀り、松田氏を攻略/元輝・長男元賢(直家娘婿)討死
- 1568年8月-01:00|フランス| |||フランス公ウイラム1世、ネーデルラントに侵入。兵力を4分(南と東と北から侵入。フランス公自身は第4軍を率い国境で待機)。①南軍(フランス国境よりの侵入軍)2,500、スペイン軍に簡単に打ち破られる。逃げ延びた兵士400、捕虜は全て絞首刑。②東軍(ラインとマースの間から侵入)歩兵3千と騎兵。期待した市民蜂起なくスペイン兵1,600に襲われ潰滅。残兵1,300、退却しながら堅固な地形に立て籠もる。スペイン兵600、全員を斬殺又は捕虜(スペイン兵損害20)。③北軍(フリースタットに侵入)ウイラム弟ルイとアドルフ、少数の手勢で侵入。フロンゲンより市を攻略しない代償に資金供給、志願兵・傭兵で解放軍編成/アルバ公、アルムベル伯2,500、メーレン伯1,500を派遣、北上中に5千に膨れ上がる。アルムベル伯、功を焦ってメーレン伯到着前に攻撃開始、スペイン軍敗北(沼地に迷い込み、反乱軍の包囲攻撃で潰滅)。アルムベル伯、突撃。騎士道の作法によりアドルフと一騎打ち、2人共戦死。アルバ公、兵力1万2千で北上。ルイ反乱軍、出撃、死者7千の大敗北(スペイン軍7人)
- 1568年8月3日-09:00|日本|長野県飯山市|永禄11年7月10日|武田信玄、本庄繁長(もと上杉輝虎家臣)を援助するため信濃国飯山城を攻めるが失敗/変わりに支城の上蔵城を落とす
- 1568年8月16日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年7月23日|立花山城、陥落/立花氏家臣の野田右衛門大夫が裏切り戸次隊を城内に手引きし立花山城は陥落/鑑載は自害
- 1568年8月21日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「ジャン・パリス・ト・ヴァレット」
- 1568年8月22日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「クロード・ト・グランデ・ウ」(~23日)
- 1568年8月23日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ピエール・ト・モンテ」(~15720126没)
- 1568年8月23日-01:00|フランス| |||<第3次ユグノー戦争>カトリック色を強めるフランス王シャルル9世の宮廷に危機感を募らせた新教派コンテ公ルイ1世(コンテ大公)とガスパール・ト・コリニ提督、フランス西部の港湾都市ラ・ロシェルに入城し籠城/6千人のガスコニュ兵(フランス南西部)を率いる「ヴァル女王」ジャンヌ・ダルクがこれに合流
- 1568年8月23日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄11年8月|村上吉継が下須戒城を落とす
- 1568年8月23日-09:00|日本|宮崎県えびの市|永禄11年8月|島津義久、菱刈隆秋の大口城を攻める最中、日向の伊東義祐が桶平に布陣し、飯野城攻め/伊東勢は木地原に出陣したが、島津鉄砲隊の奇襲により撃破された
- 1568年8月24日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄11年8月2日|清水左近将監、立花山城奪回にのりだす/戸次道雪・臼杵鑑速・吉弘鑑理ら大友三将は迎撃し、物量で反大友勢を圧倒
- 1568年8月29日-09:00|日本|広島県|永禄11年8月7日|三上源四郎、鉄砲で大友軍を多数討ち取る
- 1568年9月 05:00|ハル| |||ハルのリマ造幣所で銀貨の鑄造がはじまる
- 1568年9月2日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|永禄11年8月中旬|<猪名寺合戦>高槻の和田伊賀守、茨木の茨木佐渡守、有馬の有馬出羽守、そして、伊丹の伊丹大和守が池田を亡きものにせんと考え、猪名寺表において、伊丹軍が中心となって合戦が始まる/池田勝正二十一人衆の一人荒木村重が伊丹方の将宇都宮作丞の首をかき斬る/伊丹勢は勢いに恐れて散ってしまい、池田勢は勢いに乗って伊丹城の堀際まで攻め首を数多討ち取る
- 1568年9月4日-09:00|日本|福井県|永禄11年8月13日|<廃絶>若狭国守護「武田元明」朝倉義景が若狭に侵攻し越前に拉致。若狭武田氏は領国を失う
- 1568年9月9日-09:00|日本|京都府城陽市|永禄11年8月18日|松永久秀軍(松弾方)、山城国富野城で敗戦
- 1568年9月10日-05:30|インド/ホルガール| |||<就任>ホルガール領インド総督「アウギアバルイス・テ・マティ」(1回目~15710906)
- 1568年9月10日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄11年8月19日|秋月種実、大友氏に降伏
- 1568年9月16日 07:00|メキシコ| |||ホーキスのイギリス船、サン・ホアン・デ・ウルア(ベラクルス)港を占拠
- 1568年9月18日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデンの有力貴族が蜂起し、エリック14世を逮捕し幽閉
- 1568年9月19日-08:00|インドネシア| |||<死去>フルムン君主「Sunan Gunung Jati」
- 1568年9月19日-08:00|インドネシア| |||<即位>フルムン君主「Panembahan Ratu」(~1650年)
- 1568年9月21日-09:00|日本|愛知県知多郡阿久比町|永禄11年9月|久松某、尾張国洞雲院御影堂を建立
- 1568年9月21日-09:00|日本|石川県|永禄11年9月|畠山義綱が能登を撤退
- 1568年9月23日-01:00|スペイン/イギリス/メキシコ| |||サン・ファン・デ・ウルア事件/スペイン軍艦隊がサン・ファン・デ・ウルア停泊中のホーキス船隊を攻撃。ホーキスは辛うじて難を逃れる
- 1568年9月23日-01:00|フランス| |||フランス、「ロンドン」の和約でのユグノーに関する保護を廃止する王令/ユグノーの礼拝の自由は再び禁じられた
- 1568年9月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄11年9月3日|三好康長、松永久秀の大和多聞山城の西北側を攻撃/筒井順慶は東側より攻撃。程なく攻略
- 1568年9月23日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉南区|永禄11年9月3日|毛利軍吉川元春・小早川隆景ら、豊前宮山城奪回
- 1568年9月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄11年9月4日|三好三人衆軍(河州衆)、東大寺辺の松永久秀軍を攻撃し諸郷に放火、その後に西京へ進む
- 1568年9月24日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉南区|永禄11年9月4日|毛利軍吉川元春・小早川隆景ら、豊前三岳城奪回/長野弘勝自刃
- 1568年9月25日-09:00|日本|福岡県北九州市小倉南区|永禄11年9月5日|毛利軍吉川元春・小早川隆景ら、豊前大三岳城・等覚寺城奪回
- 1568年9月29日-01:00|スウェーデン| |||<廃位>スウェーデン王国国王「エリック14世」
- 1568年9月30日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「ヨハン3世」(~15921117死去/54歳)
- 1568年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・フランケティ」「リベリア・ガブリエリ」
- 1568年10月1日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|永禄11年9月11日|那須資胤、大関高増等北那須衆と和睦
- 1568年10月2日-12:00|ウェーク島/スペイン| |||アルバロ・デ・メンダナイ・ネイラがウェーク島のスペイン領宣言し、サンフランシスコ島と名付けた

1570迄 (1937件)

- 1568年10月2日 00:00|イギリス| |||スコットランド、マリ・スチュアート、逮捕
- 1568年10月2日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄11年9月12日|<箕作城合戦>織田信長軍木下隊2千3百が北の口から、丹羽隊3千が東の口から攻撃、吉田出雲守隊の守りも固く、午後五時前後には逆に追い崩された/木下隊、夜襲決行、箕作城兵は防戦したが支えきれず、夜明けを待たずに落城/箕作城の落城を知った和田山の城兵は、戦わずに逃亡
- 1568年10月3日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄11年9月13日|<和田山城の戦い>織田信長軍が和田山城を攻略
- 1568年10月3日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄11年9月13日|佐久間信盛・木下藤吉郎・丹羽長秀・浅井長政・浅井政貞が六角領の支城箕作城を攻撃、その日の夜に落城させる
- 1568年10月4日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|永禄11年9月14日|織田信長:神戸友盛を使者に蒲生賢秀・氏郷を降伏させ近江日野の所領を安堵
- 1568年10月4日-09:00|日本|滋賀県東近江市|永禄11年9月14日|<観音寺城の戦い(近江国)>織田信長が観音寺城を攻撃、占領/六角義賢と息子義治は甲賀へ脱出
- 1568年10月16日-09:00|日本|京都府長岡京市|永禄11年9月26日|<勝竜寺城の戦い>織田信長は、柴田勝家、蜂屋頼隆、森可成、坂井政尚ら4人の家臣に先陣を命じ、桂川を渡河し三好三人衆の岩成友通が守る勝竜寺城を攻撃させた。岩成友通は足軽衆を全面に押し立てて応戦したが、織田軍は精鋭の馬廻り衆を乗り入れ戦いを有利に進めて首級を50余りあげ、上洛を果たしていた信長の陣所である東福寺へ届けた
- 1568年10月17日-09:00|日本|岡山県倉敷市|永禄11年9月27日|村上武吉・元就家臣細川通薫が三好長治家臣香西又太郎と備前国本太城で戦闘。村上武吉勝利
- 1568年10月17日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|永禄11年9月27日|入京した織田信長軍により三好三人衆の淀古城落城
- 1568年10月17日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄11年9月27日|松永方箸尾為綱、十市郷を焼く。松永方の秋山氏、十市氏の龍王山城を攻略
- 1568年10月18日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|永禄11年9月28日|織田信長が三好長逸勢が拠る山崎(山城国)を攻め落とす
- 1568年10月18日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|永禄11年9月28日|篠原長房、摂津瀧山を放棄
- 1568年10月19日-09:00|日本|大阪府|永禄11年9月29日|<退任>摂津国守護「細川昭元」逃亡
- 1568年10月19日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄11年9月29日|<任命>芥川山城主「和田惟政」(~元亀2年8月28日(15710917)死去)
- 1568年10月19日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄11年9月29日|三好三人衆の三好長逸が籠る芥川山城を織田信長軍が攻略/夜、芥川城の細川昭元・三好長逸・前信濃守護小笠原長時、退城
- 1568年10月19日-09:00|日本|京都府|永禄11年9月29日|<退任>丹波国守護「細川昭元」逃亡
- 1568年10月19日-09:00|日本|京都府長岡京市|永禄11年9月29日|<勝竜寺城の戦い>織田信長自身が5万兵を率いて勝竜寺城の攻略に向かい、岩成友通降伏・開城
- 1568年10月20日-09:00|日本| ||永禄11年9月30日|<死去>室町幕府第14代将軍「足利義栄」病死
- 1568年10月20日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄11年9月30日|織田信長軍が郡山道場、富田寺外を落とす。富田寺内とは和睦する
- 1568年10月20日-09:00|日本|奈良県大和高田市|永禄11年9月30日|大和国人十市某・箸尾某、義昭命により高田城を攻撃した「布方」を撃破
- 1568年10月22日-09:00|日本| ||永禄11年10月|織田信長、分国中(尾張、美濃、南近江)の関所を撤廃
- 1568年10月22日-09:00|日本|大阪府池田市|永禄11年10月2日|<池田城合戦>織田信長が摂津の池田勝正の居城を攻めて降伏させた
- 1568年10月22日-09:00|日本|兵庫県西宮市|永禄11年10月2日|織田軍が越水城(城主篠原長房)へ進軍、篠原長房は城を放棄して阿波国まで戻る
- 1568年10月23日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄11年10月3日|竹内三位入道・両畠山・松永久秀・池田勝正、摂津国芥川に於いて足利義昭・織田信長に降伏
- 1568年10月24日-09:00|日本|大阪府|永禄11年10月4日|<所領安堵>河内南半国(高屋城)「畠山高政」織田信長により(~永禄12(1569)年追放)
- 1568年10月24日-09:00|日本|大阪府|永禄11年10月4日|<所領安堵>河内北半国(若江城)「三好義継」織田信長により
- 1568年10月24日-09:00|日本|大阪府|永禄11年10月4日|<任命>摂津守護「和田惟政」(東半国、高槻(芥川)城、義昭側近)、「伊丹親興」(西半国、伊丹城、松永久秀被官)、「池田勝正」(西半国、池田城、三好三人衆加担)
- 1568年10月24日-09:00|日本|京都府|永禄11年10月4日|<所領安堵>山代の内(桂川以西、勝龍寺城)「細川藤孝」織田信長により
- 1568年10月24日-09:00|日本|奈良県|永禄11年10月4日|<所領安堵>大和一国30万石「松永久秀」織田信長により/十市・布施・越智・井戸・箸尾ら全有力国衆は松永に敵対
- 1568年10月26日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄11年10月6日|<第八次筒井城の戦い(大和国)>松永久通が筒井郷へ攻め寄せ、城際まで焼く。筒井順慶は堅固に籠城
- 1568年10月28日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ハリー・シドニー卿」(3回目~15710401)
- 1568年10月28日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|永禄11年10月8日|<第八次筒井城の戦い>松永久通が筒井城を攻め、再び奪回する/筒井氏は城を脱出
- 1568年10月29日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|永禄11年10月9日|松永久通、筒井順慶が退却した平城へ進撃。松永属将大和宇陀郡秋山氏が竜王山城(十市通勝)攻撃。十市勢、十市城へ逃亡/<並松の戦い>松永久秀、大和の

1570迄 (1937件)

- 大半を手にしていた筒井順慶を討つべく法隆寺まで出陣。順慶も筒井より20町西にある柵檀の木村まで出陣、並松で戦い松永勢先手が敗れて退くところへ筒井勢先手が深追い、法隆寺内の久秀側伏兵が筒井勢の後ろへ攻め掛かり退路を断つ⇒久秀勢は反転して盛り返し、筒井勢は惨敗、宇陀郡へ落ちる
- 1568年10月30日-09:00|日本|奈良県生駒郡平群町|永禄11年10月10日|松永久秀、信貴山城を回復
- 1568年10月30日-09:00|日本|奈良県磯城郡田原本町|永禄11年10月10日|織田信長軍の細川藤孝、和田惟政、佐久間信盛が20,000の兵で大和へ進軍。三好領の森屋城を占領
- 1568年10月31日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄11年10月11日|織田信長軍の細川藤孝、和田惟政、佐久間信盛の三好領の窪城を占領
- 1568年11月-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「モルビエーのオクセンスティエ男爵がブリエル・キスティエルソン」(~1570年)
- 1568年11月-01:00|スペイン| |||<ラガ>地方のムア人がフェリペ2世の抑圧政策に反対して反乱を起こす
- 1568年11月4日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄11年10月15日|<大和豊田城合戦>松永久秀に攻められ豊田城が落城
- 1568年11月5日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「マルティン・エンリケス・デ・アルマンサ」(~15801003)
- 1568年11月7日-09:00|日本|京都府京都市|永禄11年10月18日|<任命>室町幕府第15代征夷大将軍「足利義昭」(~元亀4(1573)年7月18日追放)
- 1568年11月10日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄11年10月21日|柳本・福智堂、松永久秀方に寝返る
- 1568年11月11日-09:00|日本|大阪府|永禄11年10月22日|<任命>河内南半国守護「畠山高政」(~翌年隠居)
- 1568年11月11日-09:00|日本|大阪府|永禄11年10月22日|<任命>河内北半国守護「三好義継」(~天正元年11月16日(15731210)死去)
- 1568年11月11日-09:00|日本|京都府京都市|永禄11年10月22日|禁裏御料所諸役貢納の懈怠禁止令の発令
- 1568年11月19日-09:00|日本|愛媛県大洲市|永禄11年11月|乃美宗勝は兵を集めて再度伊予国へと出兵して、宇都宮討伐に乗り出し、宇都宮豊綱は降伏して大洲城は開城となり、豊綱は毛利氏の捕虜となった
- 1568年11月19日-09:00|日本|新潟県村上市|永禄11年11月|<本庄繁長の乱(越後国)>輝虎が本庄繁長に協力する庄内の大宝寺義増を攻撃して降伏させ、本庄繁長の本庄城を包囲する
- 1568年11月27日-09:00|日本|奈良県|永禄11年11月9日|松永久秀の子久通が秋山衆を先手に、十市衆を大西城に攻め落とす
- 1568年12月-01:00|スペイン| |||<ラガ>の旧イスラム教徒が反乱を開始
- 1568年12月1日-09:00|日本|長野県伊那市|永禄11年11月13日|諏訪勝頼(武田勝頼)に織田信長の養女・龍勝院を迎え高遠城主となった
- 1568年12月3日-09:00|日本|奈良県橿原市|永禄11年11月15日|<十市城合戦>松永久秀、十市城を攻略
- 1568年12月4日-09:00|日本|京都府京都市|永禄11年11月16日|<解任>関白「近衛前久」
- 1568年12月11日 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>スペイン領ヌエバ・アンダルス暫定総督「フェリペ・デ・カレス」(~15720714)
- 1568年12月16日-09:00|日本|広島県安芸高田市|永禄11年11月28日|毛利氏、高田郡相合の八幡宮社殿を造立
- 1568年12月18日-08:00|中国| ||明・隆慶2年12月|嘉靖十年(1531)以後、地方に試行された“一条鞭法”(すべての賦税を統合計算して、銀錢で徴する法)を江西に正式的に実行
- 1568年12月19日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄11年12月|高天神城の小笠原氏助、今川氏から離反し徳川氏に帰属
- 1568年12月19日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月|武田信玄が久能寺(現鉄舟寺)を北矢部に移設
- 1568年12月19日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄11年12月|小野政次が井伊谷を横領
- 1568年12月19日-09:00|日本|静岡県袋井市|永禄11年12月|馬伏塚城の小笠原氏興、今川氏から離反し徳川氏に帰属
- 1568年12月24日-09:00|日本| ||永禄11年12月6日|<第1次駿河侵攻>甲斐国の武田晴信、相模国の北條氏康、駿河国の今川義元らの三国同盟が破れる
- 1568年12月24日-09:00|日本|静岡県静岡市|永禄11年12月6日|<第1次駿河侵攻>甲斐国武田信玄は1万2000の軍勢を率いて駿河侵攻を開始/今川氏真は重臣の庵原忠胤に1万5000の軍勢を預けて迎撃/武田軍が進軍を開始すると、今川軍は戦うことなく退却/信玄は今川氏の有力家臣である瀬名信輝、朝比奈政貞、三浦義鏡、葛山氏元らを調略、21人の武将が信玄に内通して裏切ったため、今川軍は戦わずして敗れる
- 1568年12月25日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|永禄11年12月7日|松永軍(多門衆)、貝吹表で戦闘し敗北
- 1568年12月27日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄11年12月9日|武田軍、大宮城富士蔵人信通を攻撃し撤退
- 1568年12月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルグ公「クリストフ」
- 1568年12月28日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルグ公「ルトヴィヒ」(~15930818退位)
- 1568年12月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄11年12月12日|徳川家康、遠江に侵攻し、掛川城(朝比奈泰朝)を攻撃
- 1568年12月30日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月12日|<第一次薩埵峠の戦い>武田勢先鋒の馬場信春(信房)隊が、由比正純の川入城を攻め陥落させる/勢いに乗った武田勢が薩埵峠を攻め上ると、大きな衝突もないままに今川勢が崩れて敗走、今川氏真本陣、僅か、7、80騎で駿府へ逃げる
- 1568年12月30日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月12日|宗像神社(静岡市清水区興津中町)兵火により焼失
- 1568年12月30日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄11年12月12日|稲子領主宮城弾正、山県昌景に攻められ、大嵐の嵐太門一族ら30~50人討死
- 1568年12月30日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄11年12月12日|<内房口戦い>北松野城萩図書助清誉、山県昌景と戦い討死/武田軍、(内房)白鳥山城攻め、囲み解き去る/上稲子(芝川町上稲子)の佐野惣左衛門尉、武田軍に降

1570迄 (1937件)

参し大宮城に出陣/(大宮)神田砦降る

- 1568年12月31日 04:00|フエルトリコ/スペイン| |||<就任>フエルトリコ知事兼提督「Francisco de Solis Osorio」(~1574.12)
- 1568年12月31日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄11年12月13日|徳川軍、摩訶耶寺焼く/酒井忠次、笠子山から、城代垣塚右衛門が引間城に加勢のため無人だった白須賀城を攻略
- 1568年12月31日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄11年12月13日|武田軍により、臨濟寺伽藍炎上
- 1568年12月31日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月13日|駿河蒲原城に北条氏信が入り、北条軍先方隊、興津にて武田軍と戦い404人討取る
- 1568年12月31日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|永禄11年12月13日|武田軍により愛宕山砦・八幡山砦・賤機山城・駿府城落城/武田晴信、駿府入城し、今川氏真、遠州掛川に敗走
- 1569年-06:30|ミャンマー/タイ| |||ビルマのタウング朝軍がアユタヤを占領/タイはビルマの属国となる
- 1569年-05:30|インド| |||テリーのマユーン廟完成
- 1569年-04:00|シヨージア| |||<即位>カルトリ王「タウイト11世」(~1578年)
- 1569年-04:00|ロシア/トルコ| |||オスマン朝軍がロシアへ遠征
- 1569年-03:00|エチオピア| |||<即位>ハラル・スルタン国スルタン「Sultan Talha 'Abbas」(~1571年)
- 1569年-02:00|ギリシャ/イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ロレンツォ・ダ・ムラ」(~1571年)
- 1569年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「チルクス・イカンダール・ハシヤ」(~1571年)
- 1569年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「シヤタン・ムラト・ハシヤ」(~同年)⇒「カル・アリ・ハシヤ」(2期目~1570年)
- 1569年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ソファラ・キャプテンズ・メジャール「フランチェスコ・ハレット総司令官」(~1571年没)
- 1569年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマダニス・ハン「Ibrahim3世・ベイ」(~1589年)
- 1569年-01:00|ポーランド/トイツイ| |||<交替>ポナムルン=シュテッティン公「ハルニム9世敬虔公」⇒「ヨハン・フリートリヒ強健公」(~1600209死去)
- 1569年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「インツフ3世、カルル2世」共同統治(~1587年)
- 1569年-01:00|ポーランド/トイツイ| |||<就任>ポナムルン=ヴォルカスト=ハース公「ホキスラフ11世」(~1603年~16060307死去)
- 1569年-01:00|ポーランド/トイツイ| |||<就任>ポナムルン=シュテッティン=リュウケウアルテ公「ハルニム10世若公」(~16030901死去)
- 1569年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「ハホミエ2世」(~1579年)
- 1569年-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインのレガシエ艦隊がフィリピンのパナイ島を征服
- 1569年 00:00|サントメ・プリンシパル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Francisco de Paula Teles」(~1571年)
- 1569年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「リオス・ダ・ガマ」
- 1569年 00:00|カリヤ諸島/モロッコ| |||ランサドール島をモロッコが占領(~同年)
- 1569年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「ルイ・テュボア(3回目)」(~1570年)
- 1569年1月1日-09:00|日本|静岡県菊川市|永禄11年12月14日|洞谷山龍雲寺、武田軍の兵火により焼失
- 1569年1月1日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月14日|横山城、武田軍により落城。興津彦九郎親久ら5百人討死
- 1569年1月1日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄11年12月14日|徳川軍、井伊谷城・刑部城攻略
- 1569年1月2日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄11年12月15日|<宇津山城合戦>酒井忠次、小原鎮実に勝利/小原鎮実、脱出の時に爆薬を仕掛け敵兵爆殺を謀るが失敗
- 1569年1月2日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄11年12月15日|徳川家康が小野政次が占拠した井伊谷城へ、井伊谷三人衆(近藤康用・鈴木重時・菅沼忠久)を送り込み、徳川軍が井伊谷を占領
- 1569年1月3日-09:00|日本|京都府京都市|永禄11年12月16日|<就任>関白「二条晴良」(~天正6(1578)年4月4日)
- 1569年1月5日-09:00|日本|静岡県袋井市|永禄11年12月18日|<鼻欠淵の戦い>武田軍秋山晴近3千6百、平尾村に陣。久野宗能、鼻欠淵砦に楯籠戦い。久野彦二郎ら10余名討死/見付にて、徳川軍、秋山晴近と戦い敗走/秋山晴近、見付城に入る。天竜川渡り、徳川勢を敗走させる/秋山晴近、家康と和議。引き上げ/引間城内で徳川家康方江馬時成、武田方江馬泰顕・新藤周防守が争い江馬時成討死/江馬泰顕は時成家臣小野田彦右衛門・二橋・川口に討たれる
- 1569年1月6日-09:00|日本|静岡県浜松市|永禄11年12月19日|<引馬城合戦>徳川家康、引馬城主のお田鶴の方(椿姫)に勝利。お田鶴の方は討死。徳川家康、引馬城に入城
- 1569年1月7日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄11年12月20日|徳川家康が二俣城攻め。無血入城
- 1569年1月8日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄11年12月21日|徳川軍6将(酒井忠次・石川数正・松平真乗・鳥居元忠・大久保忠世・石川家成)分け懸川城攻め/菅沼定盈・菅沼忠久・近藤康用・鈴木重時、井伊谷撥揚砦(松下・中野)・刑部城庵原忠良・長谷川次郎右衛門尉攻め落とす
- 1569年1月9日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄11年12月22日|徳川家康方の6将、懸川城に攻める輪を縮める、徳川軍、押出してきた今川軍を2百人討ち取る
- 1569年1月14日-09:00|日本|静岡県磐田市|永禄11年12月27日|遠江・武田の将・秋山信友(飯田城主)、見付に陣を張っていた奥平、菅沼らを撃破、遠江見付占領
- 1569年1月15日-09:00|日本|大阪府堺市西区|永禄11年12月28日|<家原城合戦>三好三人衆の釣閑斎宗渭三好政康、三好義継の守る和泉家原城を陥す
- 1569年1月16日-09:00|日本|静岡県磐田市|永禄11年12月29日|見付神谷三郎右衛門、榊原康政を導き、見付の高山に伏兵し、二俣街道より進んできた武田軍を敗走させる/川入城、山県昌景2千に攻められ落城/持舟城一宮出羽守兵衛尉宗是入道随波斎元実父子、武田軍に攻められ討死/有東砦福島氏、武田軍に攻められ討死/奥池谷城、武

1570迄 (1937件)

- 田軍に攻められ、城主池ヶ谷友任、口仙俣の広海戸で自害/白鳥山、武田軍により攻略される/鶴田寺・金剛山宝泰寺・大森山長源院・神護山承元寺・金剛法寺・清涼山光鏡寺・慈悲山増善寺、武田軍の兵火により焼失/岩本山実相寺が武田軍の兵火により焼失/神明宮が武田軍の兵火により焼失/伊河麻神社焼失/北条軍、武田方の葛山城・興国寺城乗っ取る/奥山方広寺派臨濟宗西来院焼失
- 1569年1月16日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄11年12月29日|今川水軍280名、久能浜漂着し戦い(松平助道・加藤氏・酒井氏・小西氏・安田氏・大橋氏・牧野氏・有藤氏・上杉氏・上島氏・安東氏・岡部氏30名討死、井伊利政・石川信明・朝比奈氏・蜂谷氏遠州へ逃げる)/武田方3百の内、70名討死
- 1569年1月16日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄11年12月29日|白鳥山(清水区小河内)、武田軍により攻略される
- 1569年1月17日-09:00|日本|大阪府|永禄12年|<交替>河内南半国守護「畠山高政」隠居⇒「畠山昭高」が継ぐ(元亀4(1573)年6月25日自害)
- 1569年1月17日-09:00|日本|長崎県対馬市|永禄12年|<交替>対馬国主「宗茂尚」隠居⇒弟「宗義純」に譲る(天正7(1579)年1月隠居)
- 1569年1月17日-09:00|日本|宮城県|永禄12年|<所領安堵>奥州30万石「(葛西氏第17代当主)葛西晴信」(葛西晴胤の子)上洛して時の天下人・織田信長に謁見
- 1569年1月17日-09:00|日本|宮城県日南市|永禄12年|日向佐土原領主「伊東義益」は大隅国の肝付氏と豊州家の領土を分け合う形で鉄肥を知行
- 1569年1月17日-09:00|日本|山形県鶴岡市|永禄12年|<交替>出羽尾浦領主「大宝寺義増」隠居⇒子の「大宝寺義氏」(天正11年3月6日(15830427)死去)
- 1569年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年1月|浜名三郎政明、徳川家康の進駐に抵抗し、浜名城(佐久城)を退城
- 1569年1月17日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永禄12年1月|堀江城の大沢基胤は、今川氏真に従い家康の遠江進入に抵抗/基胤らは、宇布見の砦を攻撃し敵船を奪う
- 1569年1月20日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永禄12年1月4日|三好三人衆、将軍地蔵山城・東山を焼き、京都と岐阜の間を分断
- 1569年1月21日 02:00|日本|京都府京都市山科区|永禄12年1月5日|<本圀寺の変>午の刻(11~13時)、三好三人衆(三好長逸・三好政康・岩成友通)・斎藤龍興・小笠原貞慶が京都本圀寺に仮御所を置いていた室町幕府15代将軍足利義昭を襲撃/明智光秀ら織田勢を中核とする義昭方は本圀寺に立て籠った/この日は、本圀寺の陥落には至らぬまま日暮れとなり、三好勢は兵を収めた
- 1569年1月22日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年1月6日|<桂川の戦い>細川藤孝や三好義継、摂津国衆の伊丹親興、池田勝正、荒木村重ら、急報を聞きつけた畿内各地からの織田勢の後詰を許してしまう。このため、不利を悟った三好勢は退却を試みるも追いつかれ、足利・織田方の軍勢と桂川河畔で合戦、優勢となった足利・織田方の勝利に終わり、三好方は客将となっていた小笠原信定などが討死
- 1569年1月23日-09:00|日本| ||永禄12年1月7日|北条氏康、信玄の駿河侵攻に怒り、上杉輝虎と同盟
- 1569年1月24日-09:00|日本|静岡県|永禄12年1月8日|松平家康は駿河で在陣中の武田信玄へ抗議し信玄は秋山隊を撤退させて沈静化を図る
- 1569年1月25日 07:00|キョ/パ/ル| |||キョ市とリマ市で異端審問所が設置
- 1569年1月26日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデン国王エリク14世死去/ヨハ3世が王位を継ぐ
- 1569年1月26日-09:00|日本|新潟県村上市|永禄12年1月10日|本庄城主本庄繁長が上杉輝虎の軍勢に加わっていた村上城を包囲中の色部勝長を夜襲によって討ち取る
- 1569年1月28日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年1月12日|徳川家康、遠江掛川城付近の天王山掛川古城を陥す
- 1569年1月29日-09:00|日本|山形県鶴岡市|永禄12年1月13日|三瀧政長・大川長秀、出羽藤懸城を攻め、敗退
- 1569年1月30日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年1月14日|織田信長「殿中御掟」と称する9ヶ条の掟書を定め、将軍や幕府の奉公人の権力行使を制限
- 1569年2月 05:00|パ/マ/スペイン| |||<就任>パ/マ大審問院総督・長官代行「デ・イエゴ・ロペ・デ・ベラ」(~1576年)
- 1569年2月1日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年1月16日|幕府殿中掟七箇條追加
- 1569年2月2日-09:00|日本|茨城県筑西市|永禄12年1月17日|常陸国久慈郡太田城主佐竹義重は部將太田資正、真壁久幹、多賀谷祥聯らを率いて小田氏の属城真壁郡海老ヶ島城主平塚刑部大輔を攻めて降伏させ之れを攻略
- 1569年2月3日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年1月18日|<金丸山砦の戦>日根野弘就・弟彌次右衛門・彌吉郎数百、金丸山砦を急襲/久野宗信敗退、小笠原氏興救援も敗北、岡崎衆援軍も日根野弘就の返し来た攻撃により岡崎勢敗走
- 1569年2月5日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年1月20日|小倉勝久・藤田弾正2百城より出て袋井口川端に陣、小笠原勢これを見て攻め寄せ撃破される。家康援軍送り掛川勢敗走、討死数百人
- 1569年2月6日-09:00|日本|愛知県北設楽郡設楽町|永禄12年1月中旬|<津具の戦い>北設楽郡白鳥山城後藤善心、徳川方奥平信光と戦い討死
- 1569年2月6日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄12年1月21日|佐竹義重は筑波郡に侵入して三村に陣し小田城の小田氏治を攻め、城外に放火して小田領の郷村を残らず打ち散らし、数日後に帰陣
- 1569年2月8日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年1月23日|酒井忠次、西町口、馬場口を破り城内松尾口まで攻入る/松平甚太郎、南町口より寒大寺川を渡り、二の門を攻め破って城内に入り太鼓門に至る/石川数正、東門より入り、天王山の日比野備中守三兄弟と戦う/内藤正成・渡辺守綱・服部正成、北門より攻入る/徳川方林藤左衛門・加藤孫次郎・松下新助・小林勝之助・原頼重討死/徳川方松平勝吉、南金井村において討死/村松武備、今川方の2人の兵を斬り、鉄砲に撃たれ負傷/今川方の近松丹波守、松田与市・辻伝蔵を生け捕ったのち大久保忠佐に討た

1570迄 (1937件)

- れる。一番槍の熊谷七十郎は水野忠重に討たれる/徳川方水野忠重、今川方の勇士伊藤武兵衛・大谷七十郎を討取る
- 1569年2月9日-09:00|日本|広島県廿日市市|永禄12年1月24日|毛利氏、和智誠春兄弟を厳島社々頭で討つ
- 1569年2月10日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年1月25日|<名和城の戦い>久野宗信・本間長秀、名和城名和元達・老臣茨藤左衛門を攻め、名和元達は腹を十文字に切って自害、子石野藤助5歳、庵原に落ち延び、家老朝比奈角右衛門は逃げる/原頼延は、落城と共に出奔し武田氏を頼る
- 1569年2月11日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年1月26日|<第2次薩た峠合戦>武田先陣跡部勝資・2陣内藤修理亮(昌豊、昌秀)は、興津川を越え、北条先鋒・松田憲秀と薩た峠で戦い、負けて退く
- 1569年2月12日-09:00|日本|静岡県焼津市|永禄12年1月27日|武田軍が今川方の大原資良が守る花沢城を落城させる
- 1569年2月16日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄12年2月1日|<第1次大宮城の戦い>武田軍穴山梅雪・葛山氏元が今川方の大宮城に攻撃を仕掛けたものの北条の援軍などもあり敗退
- 1569年2月19日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄12年2月4日|北山本門寺諸堂焼失
- 1569年2月20日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄12年2月5日|<津渡野城の戦い>井川安倍一揆(安部元真)、川根小長井長門守と協同作戦を取り、津渡野城朝比奈元徳・津々野東左衛門父子・遠藤兄弟・甲州勢を攻め、朝比奈元徳・高滝将監ら10余人討取り敗走させる/次に、水見色岩攻略し朝比奈弥太郎討取る
- 1569年2月20日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永禄12年2月5日|井伊谷3人衆、堀江城(本丸大沢基胤・三の丸中安種豊・権田泰長)攻め、鈴木重時、一番槍競って狙撃され討死、大久保忠栄・平井甚五郎討死
- 1569年2月22日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄12年2月7日|大石寺諸堂焼失
- 1569年2月24日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永禄12年2月9日|「武家御城」の石垣南岸が崩壊し人夫7、8人が死亡
- 1569年2月25日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄12年2月10日|徳川家康、形原松平家忠に、入出へ陣し宇津山城を奪い返させ在番命じる
- 1569年2月26日-09:00|日本|大阪府堺市|永禄12年2月11日|織田信長の「上使衆」柴田勝家、佐久間信盛らが堺を接收
- 1569年2月26日-09:00|日本|千葉県松戸市|永禄12年2月中旬|里見義弘・下総市川松戸へ侵攻/義弘の軍勢、臼井筋の郷村に放火し・上総椎津城に帰陣
- 1569年3月3日-09:00|日本| ||永禄12年2月16日|武田信玄、徳川家康に、信玄が家康に対する疑心は無いものの家康に対し誓詞の提出を求め、家康がそれに応じた事に対し、信玄も血判を提出する事を約し、和睦成立。「第一次甲相同盟」は破綻となる
- 1569年3月5日-01:00|イタリヤ| ||<即位>トスカナ大公「コジモ1世・デ・メディチ」フィリツェ公(~15740421退位)
- 1569年3月5日-01:00|ドイツ| ||トイの地理学者メルカトルが世界地図を作成/メルカトル投影図法の完成
- 1569年3月12日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永禄12年2月25日|<宇布見砦の戦い>堀江城大沢基胤より城兵打って出て徳川軍と一戦/その後、宇津山城大原資良と相談し宇布見砦を押し破り、徳川軍の海賊船半分以上奪取し、周辺の農民に一揆を蜂起させる/一揆方は堀川城に籠城
- 1569年3月13日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年2月26日|北条氏邦5、60騎、興津河原に武田方小荷駄隊を襲撃し20余人討取る
- 1569年3月14日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年2月27日|遠州気賀ノ城で男女五百余名が一揆を起こすが鎮圧される
- 1569年3月15日-09:00|日本| ||永禄12年2月28日|織田信長が摂津天王寺・上京に撰銭令を發布/流通銭の種類を定め品質により永楽銭の2、5、10倍の交換率指示
- 1569年3月15日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年2月28日|徳川軍に攻められ佐久城大屋安芸守政頼開城
- 1569年3月16日-01:00|フランス| ||フランスのシャント川湖畔のジャルナックで、ブルボン家のコンテ親王ルイとコリニ提督の新教軍が、アンジュ公の率いる国王軍と戦い、コンテ親王が捕らえられて処刑される
- 1569年3月17日-09:00|日本|静岡県静岡市|永禄12年2月30日|駿府城山景昌景1千5百、今川軍に攻められ、叶わず久能城に撤退
- 1569年3月17日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年2月30日|日比沢城後藤佐渡守直正(家臣7名家桐生・井口・鈴木・石田・高橋・川合・田口)徳川軍に攻められ開城。後藤佐渡守直正・福井修理下馬しなかった為、撃たれ死ぬ。本坂後藤角兵衛実久継承
- 1569年3月17日-09:00|日本|静岡県富士市|永禄12年2月30日|武田軍の兵火により、善得寺(富士市今泉)・三ツ倉法蔵寺・岩本実相寺焼失。実相寺住僧24人斬殺される
- 1569年3月18日-09:00|日本| ||永禄12年3月1日|織田信長が流通銭の種類を定め品質により永楽銭の2、5、10倍の交換率指示
- 1569年3月23日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|永禄12年3月6日|尼崎衆は織田信長の軍勢に抵抗したが30人余討ち取られ長遠寺・如来院を除いて町を焼き払われた
- 1569年3月24日-09:00|日本|静岡県磐田市|永禄12年3月7日|榊原康政・大須賀康高・鳥居元忠、掛塚湊の北条増援軍を攻め敗走させる
- 1569年3月24日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年3月7日|5日から徳川家康が今川氏真の掛川城を総攻撃、落城せず
- 1569年3月29日-09:00|日本|静岡県浜松市|永禄12年3月12日|堀川一揆、家康が浜名に至った所を出て阻むが、家康は難を逃れた/石川数正・渡辺図書数百騎と、堀川一揆戦う。今川方斎藤為吉、堀川城外に討死
- 1569年3月30日-09:00|日本|静岡県|永禄12年3月13日|武田信玄軍、北条方北条氏邦・大道寺資親の陣所と両手先

1570迄(1937件)

- の番所3ヶ所に夜討ちをかけるが敗北  
1569年3月30日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年3月13日|武田信玄は薩た峠を封鎖した北条勢と合戦したが勝敗はつかなかった  
1569年4月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ピエール・マッテオ・ベルツィ」 「ウ・インチェンツォ・ジヤニニ」  
1569年4月2日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年3月16日|織田信長、上京へ「銭定」など全7ヶ条の撰銭令追加条  
目公布. 米による物品売買禁止  
1569年4月9日-09:00|日本|奈良県|永禄12年3月23日|織田信長、大和奈良の方々へ「銭定/制札」を下す  
1569年4月11日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永禄12年3月25日|徳川家臣・鈴木重時、今川方の堀江城大沢基胤・  
中安種豊・権田泰長攻め討死  
1569年4月12日-09:00|日本|新潟県村上市|永禄12年3月26日|上杉輝虎に包囲された越後村上の本庄繁長が、長子  
顕長を人質とすることを受入れて降伏  
1569年4月13日-09:00|日本|大阪府|永禄12年3月27日|河内北半国守護(若江城)「三好義継」が、織田信長の媒酌で  
将軍義昭の娘と結婚  
1569年4月13日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年3月27日|徳川家康、遠州堀川城(尾藤彦四郎)を攻略/今  
川派の土豪・農民らなで斬りにより1000名を討ち取り、後日700名を捕らえて処刑  
1569年4月13日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年3月27日|臨濟宗深奥山方広寺(引佐町奥山)派の東林寺(   
浜松市北区細江町)焼き払われ、古記録・古文書は灰燼に帰す  
1569年4月14日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年3月28日|堀川一揆の後、日坂八幡山(掛川市日坂)の一揆が徳  
川軍に攻落される  
1569年4月15日-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第19代国王「マヒンラー・テラート(マヒン)」 (~15690802)  
1569年4月16日-08:00|中国| ||明・隆慶3年4月|明軍、河套に濟農を、遼陽夾河山城に俺答部を破る  
1569年4月22日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|永禄12年4月6日|<多伏口合戦>竜造寺隆信は、多伏口で大友軍と激突/  
竜造寺軍退却となり、佐嘉城にひき返した  
1569年4月23日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|永禄12年4月7日|小野政次を井伊家の仕置き場である蟹淵へ送り  
、磔により処刑  
1569年4月24日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年4月8日|織田信長、宣教師ロイスに京都での居住と布教を許可  
1569年4月28日-09:00|日本|静岡県浜松市西区|永禄12年4月12日|今川方の堀江城大沢基胤・中安定安・権田泰長  
が徳川家康に降服開城  
1569年4月30日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永禄12年4月14日|足利義昭、二条御所(二条第)に移転  
1569年5月1日-09:00|日本|大阪府高槻市|永禄12年4月15日|織田信長、摂津国入江城を攻略/城主・入江春景を三  
好三人衆に通じた罪で殺害/幕臣の和田惟政が入城  
1569年5月1日-09:00|日本|京都府京田辺市|永禄12年4月15日|織田信長、山城国普賢寺谷城を攻略  
1569年5月2日-09:00|日本|奈良県北葛城郡上牧町|永禄12年4月16日|<片岡城の戦い>松永久秀1万、大和片岡城攻  
撃、城将片岡春利は逃亡落城する  
1569年5月3日-09:00|日本|佐賀県|永禄12年4月17日|大友宗麟、竜造寺隆信との和議  
1569年5月4日-09:00|日本|奈良県大和高田市|永禄12年4月18日|松永久秀父子で万歳城を攻め落とす  
1569年5月10日-09:00|日本|静岡県|永禄12年4月24日|武田信玄、合戦に敗れたため、駿河を放棄して帰還/横山城  
に穴山信君、久能城に板垣信頼を残す  
1569年5月10日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|永禄12年4月24日|徳川家康は武田氏の撤兵中に駿府を占領  
1569年5月11日-09:00|日本|奈良県大和高田市|永禄12年4月25日|松永久秀父子が万歳城を攻略  
1569年5月14日-09:00|日本|静岡県静岡市|永禄12年4月28日|今川方(松平助道・加藤政之丞・酒井庄介・小西源蔵・  
安田幸三郎・大橋七十郎・牧野吉十郎・内巻金蔵・有東源八・上杉六郎左衛門・上嶋源太郎・安東金兵次・岡部次郎  
太夫)船10艘・280人、久能浜漂流. 武田軍と戦い、武田軍70人・今川軍30人討死/井伊利政・石川信明・朝比奈隼人・  
蜂谷半太夫ら遠州へ逃れる  
1569年5月16日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年5月| (剣豪で有名な)丸目長恵・内田伝右衛門らが島津家久  
と交戦し大敗  
1569年5月16日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄12年5月| (4月末~10日間)松永久秀、「超昇寺城」(奈良県佐紀)在地  
土郷の超昇寺氏の城を破却  
1569年5月16日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄12年5月|<青山の戦い>西播磨守護代・赤松政秀は3,000の兵を率  
いて出陣/姫路城主・黒田孝高は軍を率いて姫路城の西の青山の地に兵を伏すと、姫路を攻めようとした赤松軍  
を奇襲して撤退させることに成功  
1569年5月20日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年5月5日|大友軍の一隊、立花表布陣の毛利軍の背後に回  
り、兵站線を叩く  
1569年5月21日-09:00|日本| ||永禄12年5月6日|徳川家康、今川氏と和睦「相三同盟」成立  
1569年5月23日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年5月8日|島津家久・新納忠元らが大口城から兵を誘い出し、  
釣り野伏の戦術によって勝利. 菱刈氏は降伏  
1569年5月23日-09:00|日本|奈良県葛城市|永禄12年5月8日|大和国布施に於いて合戦があり、松原衆が多数戦死  
1569年5月24日-09:00|日本| ||永禄12年5月9日|越後国の上杉輝虎と相模国の北條氏康が盟約を結び和睦  
1569年5月25日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|永禄12年5月10日|松永久秀・久通父子、大和国貝吹城を攻める  
が自軍に損害を出す  
1569年5月27日-09:00|日本|三重県津市|永禄12年5月12日|<木造城の戦い>北畠具教は木造城を攻撃/木造軍に津  
田忠寛の応援がありまた湿地の陣地などに苦戦し北畠軍は撤退

1570迄 (1937件)

- 1569年5月28日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年5月13日|<多々良浜の戦い(多々良川の戦い)>毛利軍の先鋒部隊は多々良川を渡り松原近辺に進軍し、周辺に火を放った/大友軍と四回交戦したが勝負はつかず、毛利軍は香椎方面に引き揚げた
- 1569年5月30日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄12年5月15日|<若森合戦>佐竹義重は筑波郡の小田城主小田氏治を攻撃したが、小田氏治は之れを破る
- 1569年6月1日-09:00|日本|静岡県|永禄12年5月17日|<失領>駿河・遠江国守護「今川」氏真「小田原に亡命
- 1569年6月1日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年5月17日|<拝領>遠江掛川城「石川家成」(~天正8(1580)年隠居)
- 1569年6月1日-09:00|日本|静岡県掛川市|永禄12年5月17日|徳川家康、今川氏真の遠江掛川城を接收し、遠江一国を領有
- 1569年6月2日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年5月18日|松永久秀・久通父子が御所の一向宗道場を破却
- 1569年6月2日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年5月18日|<多々良浜の戦い(多々良川の戦い)>多々良川のやや川上にある長尾を守っていたのは毛利一門の小早川隆景に大友勢は苦戦したものの、戸次鑑連が自ら陣頭に立って戦う奮闘により、小早川勢を駆逐し、長尾を奪うことに成功
- 1569年6月7日-09:00|日本|静岡県|永禄12年5月23日|駿河守護・今川氏真、北条氏政嫡子国王丸(北条氏直)を養子とし、北条氏に領国駿河の処分を任せる
- 1569年6月9日-09:00|日本|鹿児島県薩摩郡さつま町|永禄12年5月25日|島津軍、祁答院長野城を攻め、これを落とす
- 1569年6月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>フアルツツグァイブ リュッケン公・フアルツノイブ ルク公「ウオルガング」42歳
- 1569年6月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツズルツバハ公「オットー・ハインリヒ」(~16040829死去フアルツノイブ ルク公フィリップ・ルートヴィヒの所領へ編入)
- 1569年6月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツツグァイブ リュッケン=ヒルツフェルト公「カール1世」(~16001216死去)
- 1569年6月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツツグァイブ リュッケン公「ヨハン1世」(~16040812死去54歳)
- 1569年6月11日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツノイブ ルク公「フィリップ・ルートヴィヒ」(~16140822死去)
- 1569年6月12日-09:00|日本|静岡県湖西市|永禄12年5月28日|今川方・鶴津山城も開城し、城将大原資良の退去後、中安種豊が居城
- 1569年6月17日-09:00|日本| ||永禄12年閏5月3日|上杉謙信と北条氏康和睦(越相同盟成立)
- 1569年6月17日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年閏5月3日|筑前・吉川元春・小早川隆景、立花城(立花親統)を攻略
- 1569年6月20日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年閏5月6日|鳥神岳の合戦/菱刈隆秋は一隊を差し向けたが、家久はあっさりこれを撃破/隆秋は全軍を出撃させ家久を襲ったが菱刈軍は大敗
- 1569年6月21日-09:00|日本|茨城県猿島郡五霞町|永禄12年閏5月7日|梁田氏を攻撃していた北条氏政、氏照兄弟は上杉氏との同盟成就のため、山王山の砦を破却し、その攻略をひとまず断念
- 1569年6月21日-09:00|日本|奈良県|永禄12年閏5月7日|井戸某(大和国人)、寄衆の松永軍を夜襲し松永久秀軍は少々の損害を被る
- 1569年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「クリストファー・ヘニングセン・ヴァルケンドルフ」(~15700623)
- 1569年6月25日-01:00|フランス| |||ユグノーはラシュ=ラベ イルの戦いに勝利したもののポワティエを奪取することはできず
- 1569年6月27日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年閏5月13日|多々良浜合戦、その三/毛利軍の先鋒部隊は多々良川を渡り松原近辺に進軍、大友軍と四回交戦したが勝負はつかず、毛利軍は香椎方面に引き揚げた
- 1569年7月-01:00|スペイン| |||スペイン、ムスリム反乱軍、バサ峠付近の砦を奪取
- 1569年7月1日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「ヨナス・ツェロニヌス・ポグチユス」(~15790804)
- 1569年7月1日-02:00|リトアニア/ポーランド/ヘラルツ| |||リトアニア大公国が、ルブリンの合同で事実上ポーランド王国に併合され(ポーランド・リトアニア連合王国)各公国はその領土となる
- 1569年7月1日-01:00|ポーランド/リトアニア| |||<即位>ポーランド王・リトアニア大公「ジグムント2世アウグスト」ルブリン合同によって⇒ポーランド・リトアニア共和国ポーランド王・リトアニア大公(~15720707死去)
- 1569年7月2日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年閏5月18日|多々良浜合戦、最大激戦/毛利軍は松原に進軍/大友軍と両軍合わせて参戦兵数八万人にのぼる九州の歴史の近世における最大の合戦規模
- 1569年7月14日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄12年6月|<土器山の戦い>西播磨守護代赤松政秀と姫路城・黒田軍が土器坂で戦闘/赤松軍が黒田軍へ夜襲、黒田孝高は叔父(職隆の実弟)の井手友氏や母里小兵衛などの有力な武将を失い窮地に陥ったが、夜が明けると英賀城主・三木通秋率いる280の兵が南から赤松軍を攻撃、さらに姫路から職隆が出撃して赤松軍の後背を突いたことで救われた/黒田軍は孝高が先鋒、職隆が殿という布陣で同夜に小丸山の赤松軍を強襲、赤松軍は混乱し敗走
- 1569年7月18日-09:00|日本|埼玉県児玉郡神川町|永禄12年6月5日|武田信玄、武蔵御嶽城攻略
- 1569年7月24日-01:00|フランス| |||フランス、コリニの新教軍、ポワティエを攻撃。ギーズ公アソリ、死守
- 1569年7月27日-09:00|日本|愛知県豊川市|永禄12年6月14日|牧野康成ら、三河国為当村稻荷社の社殿を建立
- 1569年7月28日-09:00|日本|佐賀県唐津市|永禄12年6月15日|岸岳城の波多鎮が獅子岳城の鶴田前を攻めて引き分く
- 1569年7月29日-09:00|日本|静岡県御殿場市|永禄12年6月16日|<信玄の第2次駿河侵攻>武田信玄、甲斐・信濃の兵を率いて、駿河古沢迫る
- 1569年7月30日-09:00|日本|静岡県三島市|永禄12年6月17日|武田信玄、葦山・山中・三島焼き払い三島神社焼失/伊豆葦山城に兵を寄せるが北条氏方の守り堅く成果なし
- 1569年7月31日-09:00|日本|広島県福山市|永禄12年6月18日|備後・大友氏の後盾で旧神辺城主山名氏遺臣が蜂起し、神辺城占領

1570迄 (1937件)

- 1569年8月-01:00|イタリア| ||| 教皇ピウス5世が、コジモ・ディ・メディチにトスカナ大公の称号を授与/トスカナ大公国の成立となる
- 1569年8月1日-09:00|日本|京都府京都市|永禄12年6月19日|<死去>陰陽師、土御門家29代目当主・土御門有春/土御門有脩が家督継承
- 1569年8月1日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|永禄12年6月19日|<天方城の戦い>徳川家康は榊原康政、天野康景、大久保忠隣を先陣にして、まず飯田城へ殺到してたちまちの内に攻め落とし、飯田城主山内対馬守通泰とその一党が悉く討死/それから天方城攻略のため進撃。郭門を打破り、二の丸に押し入り激しい攻防戦がくりひろげられた。通興もよく防戦したがついに力尽きて降伏
- 1569年8月1日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|永禄12年6月19日|<飯田城の戦い>飯田城山内大和守通泰、徳川軍榊原康政・大須賀康高・笈助太夫・久世三四郎・坂部又十郎・伊東雁助・清水久三郎に攻められ討死
- 1569年8月4日-04:00|ロシア/トルコ| |||オスマン朝軍がロシアのアストラハンを包囲
- 1569年8月5日-09:00|日本|島根県松江市|永禄12年6月23日|山中鹿介ら尼子旧臣が尼子勝久を奉じ、海路より船百艘を仕立てて出雲に攻め込む⇒出雲で尼子氏の残党らが集まり尼子再興軍は約6,000にまで勢力を拡大、真山城を陥落させた尼子再興軍は、そのまま出雲の旧領をほぼ制圧
- 1569年8月7日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄12年6月25日|<第二次駿河侵攻>信玄は軍勢を率いて伊豆に侵攻して北条軍を牽制し、その上で駿河に侵攻し、富士郡の要衝である大宮城(富士信忠)を攻撃
- 1569年8月8日-01:00|フランス| |||フランス、モンゴメリ、オクス(ペアル)地方の都市)を占領。テート伯爵、全兵士の命の保証を条件に降伏/ナヴァール女王ジャンヌ・ダルク、ラ・ロウレンを滞在地に定めユグノー軍を指導/カリヌド・ド・メイニス、ナヴァールに小規模の軍隊を派遣、占領/ジャンヌ・ダルク、モンゴメリにナヴァールより国王軍を追い出す命令/モンゴメリ、年代記に一大汚点を残す凶暴さをもって追い出し作業を実施
- 1569年8月9日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄12年6月27日|奥山定茂、和田城遠山景広父子と謀り、高根城主兄奥山貞益が熊村の奥山左近将監方へ行った留守をねらって、舟木沢に隠居していた父奥山定之を攻めて切腹させ、高根城を落とす
- 1569年8月9日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄12年6月27日|戦火により稲荷山善住寺(水窪町向市場)の由機良親王より伝わる宝器等一切焼失
- 1569年8月15日-09:00|日本|静岡県富士宮市|永禄12年7月3日|<大宮城合戦>武田信玄、駿河大宮城を攻略/城将富士信忠は降伏
- 1569年8月15日-09:00|日本|島根県|永禄12年7月3日|出雲・尼子勝久、隠岐から出雲に入り毛利方諸城を攻略
- 1569年8月23日-09:00|日本|埼玉県秩父市|永禄12年7月11日|武田信玄、北条氏邦と秩父三山谷で戦う
- 1569年8月23日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|永禄12年7月11日|<死去>日向佐土原領主「伊東義益」⇒「伊東義祐」再任(天正5(1577)年06月隠居)
- 1569年8月24日-01:00|フランス| |||フランス、ホーでの「聖バルテルミーの虐殺」モンゴメリ、ホーにオクススの捕虜を移送させ、全員虐殺
- 1569年8月28日-09:00|日本|高知県安芸市|永禄12年7月16日|<八流の戦い>(6月~)土佐国で長宗我部元親と安芸国虎との間に起こった合戦/安芸軍は敗退、安芸配下の城に敗走、元親本隊は安芸本隊を安芸城に追いやった
- 1569年8月29日-09:00|日本|島根県安来市|永禄12年7月17日|尼子再興軍は月山富田城の攻略に着手/毛利軍は伊予国や北九州へ出兵していたため、月山富田城には毛利元秋と天野隆重が率いるわずかの兵しかいなかったが尼子再興軍の秋上宗信の軍勢を奇襲により打ち破った/その後、幸盛と久綱らが兵を率いて月山富田城を攻めたが、隆重らの兵により撃退された
- 1569年8月30日-09:00|日本|三重県伊勢市|永禄12年7月18日|伊勢二見汐合川で九鬼嘉隆・外宮刀禰職が野呂越前守を破る
- 1569年9月2日-09:00|日本|岡山県真庭市|永禄12年7月21日|宇喜多直家が美作三浦貞盛の旧臣に加勢して高田城を攻めるが落城せず
- 1569年9月2日-09:00|日本|山梨県|永禄12年7月下旬|武田信玄と上杉謙信家との和睦成立
- 1569年9月4日-09:00|日本|奈良県桜井市|永禄12年7月23日|松永久秀方が東山内の小夫城を陥れる
- 1569年9月5日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄12年7月24日|松永久秀方が深川を攻める
- 1569年9月9日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<死去>ブラバント公国の画家ピテル・ブルユゲル1世/農民を題材にした
- 1569年9月9日-09:00|日本|三重県伊賀市|永禄12年7月28日|伊賀守護仁木長政、滝川一益を通じて信長に降りる/伊賀北部は南近江の六角氏に、南部は伊勢の北畠氏に属する
- 1569年9月10日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|永禄12年7月29日|天野藤秀、今川氏真に通じた馬好きの花鳥七郎右衛門を名馬ありと誘い、春野町平尾で待伏せして殺害
- 1569年9月11日-09:00|日本|茨城県古河市|永禄12年8月|<復帰>古河公方「足利義氏」
- 1569年9月11日-09:00|日本|島根県出雲市|永禄12年8月|<原手合戦>山中幸盛ら率いる尼子再興軍と、それを殲滅しようとする毛利軍との間に起こった戦い/服部左兵衛ら毛利軍が、小田助右衛門を大将に尼子再興軍を討伐するため進軍/毛利軍は、第一陣に服部左兵衛らの軍を、第二陣に出羽元資らの軍を、第三陣に小田助右衛門らの軍を布陣した。対する尼子軍は、第一陣に山中幸盛、立原久綱らの軍を、第二陣に隠岐為清らの軍を布陣した。戦いは当初から尼子軍が圧倒し、毛利軍の第一陣、第二陣は大崩れとなった。第三陣にいた小田助右衛門が奮戦するも、当初傍観していた米原綱寛らの軍が加勢したため、毛利軍は総崩れとなり敗北/小田助右衛門は横道高宗に討ち取られ、毛利軍は残った手勢300となって赤穴へ落ちのびていった
- 1569年9月11日-09:00|日本|兵庫県|永禄12年8月|<死去>土佐光元、画家、武将。但馬攻めの陣中で死去
- 1569年9月11日-09:00|日本|福岡県朝倉市|永禄12年8月|筑前秋月領主「秋月種実」は大友宗麟に降伏
- 1569年9月12日-09:00|日本|富山県|永禄12年8月2日|上杉輝虎、越中に入り、新庄・金山などを陥れ入れる

1570迄 (1937件)

- 1569年9月13日-09:00|日本|広島県福山市|永禄12年8月3日|備後国神辺城の山名氏旧臣・藤井皓玄が蜂起して神辺城を奪取
- 1569年9月17日-09:00|日本|広島県福山市|永禄12年8月7日|檜崎豊景, 神辺城を奪取し, 藤井皓玄の首を毛利元就の陣所に送る
- 1569年9月19日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄12年8月9日|<青山合戦>赤松家部将の黒田孝高, 赤松秀政に勝利
- 1569年9月20日-09:00|日本|兵庫県|永禄12年8月10日|(1日~)毛利元就の要請で織田信長, 播磨・但馬両国に木下秀吉・坂井政尚を派遣し但馬守護・山名氏を攻撃させる/木下藤吉郎秀吉は但馬国へ侵攻, 10日間で山名祐豊の此隅山城等18城を落城させる
- 1569年9月21日-09:00|日本|高知県安芸市|永禄12年8月11日|長宗我部元親が安芸国虎の拠る安芸城を攻め落とす。国虎は自刃し, 安芸氏滅亡
- 1569年9月22日-09:00|日本|島根県出雲市|永禄12年8月12日|出雲国の高瀬城主・米原綱寛が尼子氏に寝返り, 熊野城主の熊野久忠も勝久に応じて尼子方の旗幟を鮮明にした
- 1569年9月22日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄12年8月12日|別所安治軍800が随願寺と有明山城を落とす/宗徒300人は難を逃れて御着城下の佐土へ
- 1569年9月23日-09:00|日本|兵庫県朝来市|永禄12年8月13日|(1日~)織田信長軍坂井政尚と木下藤吉郎秀吉, 但馬を経略し但馬守護・山名祐豊を領土から追い払い生野銀山を入手して帰国/この時までには落ちた小寺側の城は増井・地蔵院・大塩・高砂・庄山の5城
- 1569年9月28日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年8月18日|<大口城の戦い>島津貴久・島津義久は菱刈隆秋の拠る大隅大口城を囲み, 総攻撃
- 1569年9月29日-07:00|タイ| |||<即位>アユタヤ王朝第20代国王「サハット1世マハタムラーチャーティラト(マハタムラーチャー)」(~1590630死去)
- 1569年9月29日-09:00|日本|千葉県館山市|永禄12年8月19日|安房国館山城主「里見義弘」が上杉輝虎に叛き武田信玄と同盟(房甲同盟)
- 1569年9月30日-09:00|日本|三重県|永禄12年8月20日|<第4次伊勢侵攻>織田信長, 伊勢木造城主木造具政の内応を契機に北畠氏討伐のため南伊勢(桑名)出陣
- 1569年9月30日-09:00|日本|宮崎県えびの市|永禄12年8月20日|伊東軍, 桶平城を放棄
- 1569年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「イッホ・リト・ゴンベ・ルティニ」「シニバルト・シニバルティ」
- 1569年10月2日-09:00|日本|群馬県太田市|永禄12年8月22日|上杉輝虎, 椎名康胤の金山城攻略
- 1569年10月3日-01:00|ドイツ| |||<死去>パーテンバーテン辺境伯「フィバルト」
- 1569年10月3日-01:00|ドイツ| |||<就任>パーテンバーテン辺境伯「フィリップ2世」(~15880607死去)
- 1569年10月3日-01:00|フランス| |||フランス, モントカールの戦いで, 新教軍が大敗
- 1569年10月3日-09:00|日本|富山県魚津市|永禄12年8月23日|上杉謙信, 椎名康胤の松倉城攻め/勝敗つかず
- 1569年10月5日-09:00|日本|広島県三原市|永禄12年8月25日|新宮浦にて補給物資の陸揚げ作業をしていた毛利水軍と宗像軍が, 大友軍に察知され, 襲撃を受けた
- 1569年10月6日-01:00|イタリア| |||<就任>ジエノヴァ共和国ドージェ「パオロ・キウステニアニ・モネリア」(~15711006)
- 1569年10月6日-09:00|日本|三重県松阪市|永禄12年8月26日|<阿坂城合戦>織田軍の木下秀吉が伊勢国司北畠具教の阿坂城を攻略する/阿坂城には滝川一益の手勢を置く
- 1569年10月7日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄12年8月27日|武田信玄が北條氏の本拠小田原城を包囲。北條氏政は駿河から撤兵せざるをえなくなった
- 1569年10月8日-09:00|日本|三重県松阪市|永禄12年8月28日|<大河内城の戦い(伊勢国)>織田信長, 北畠氏の伊勢・大河内城を包囲
- 1569年10月9日-09:00|日本|三重県松阪市|永禄12年8月29日|織田軍の池田恒興, 北畠軍日置大膳・家木主水・舟木光春・堀内光経らが守る大手の広坂口で戦闘開始/搦手から織田軍丹羽長秀・稲葉一鉄らが攻撃。城兵奮戦により織田軍の損害甚大/信長軍は初めて実戦に鉄砲を用いる
- 1569年10月10日-09:00|日本|島根県松江市|永禄12年9月|<美保関の合戦>山中幸盛ら率いる尼子再興軍と, 尼子再興軍に叛旗を翻した隠岐為清ら率いる軍との間に美保関で起こった戦い/尼子再興軍の出雲上陸にも協力し, また原手合戦においても味方した隠岐為清が, 突如叛旗を翻す/山中幸盛, 立原久綱ら尼子再興軍は, これを鎮圧するため兵を率い美保関へと進軍した/当初, 数に勝る隠岐為清軍が尼子再興軍を圧倒, 横道兄弟(横道高光, 横道高宗), 松田誠保らの援軍が到着すると戦況は一転, 隠岐為清軍は大崩れとなり壊滅, 為清は自国の隠岐国へ逃げ帰った
- 1569年10月10日-09:00|日本|鳥取県西伯郡大山町|永禄12年9月|伯耆国末石城主の神西元通が尼子方となる
- 1569年10月11日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年9月2日|<大口城の戦い>相良氏・菱刈氏は降伏, 大口城は開城
- 1569年10月11日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄12年9月2日|武田信玄がたった4日で小田原城包囲をとき退陣
- 1569年10月12日-01:00|フランス| |||フランス, サン・ジャン・ダンジェリの戦いで, 新教軍が勢力を挽回し, 国王軍が窮地に立つ
- 1569年10月14日-09:00|日本|広島県|永禄12年9月5日|大友水軍は毛利水軍の補給船や港を攻撃し, 毛利勢は甚大な被害を受けた
- 1569年10月16日-09:00|日本|滋賀県|永禄12年9月7日|甲賀衆・伊賀衆が相催し一揆を起こす
- 1569年10月17日-09:00|日本|三重県松阪市|永禄12年9月8日|織田信長が稲葉良通・池田信輝・丹羽長秀に伊勢大河内城西裏門へ三方より夜襲を掛けさせるが失敗
- 1569年10月18日-09:00|日本|埼玉県児玉郡神川町|永禄12年9月9日|武田信玄, 金鎖御嶽城を攻めるが北条方城将

1570迄 (1937件)

平沢政実が守る

- 1569年10月18日-09:00|日本|三重県津市|永禄12年9月9日|織田信長は兵糧攻めを狙い、滝川一益に命じて多芸城を焼き討ち、さらにその近辺にも放火し、住民を大河内城へと追い込んだ
- 1569年10月19日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|永禄12年9月10日|<鉢形城合戦>武田信玄、西上野に入り、武蔵鉢形城(八王子城を)を攻めるも北条氏邦、これを防衛
- 1569年10月19日-09:00|日本|東京都八王子市|永禄12年9月10日|<滝山城の戦い>武田軍が武蔵国滝山城(城主北条氏照)を攻撃、氏照が兵を出し迎撃に向かわせるが、廿里で小山田信茂隊が勝利、滝山城は三の丸まで落とされるが、信玄は滝山城攻撃を中止、小田原へ進軍
- 1569年10月29日-09:00|日本|鹿児島県伊佐市|永禄12年9月20日|大口城の相良・菱刈勢、城を島津方に渡し降伏
- 1569年10月30日-01:00|フランス| ||ユグノーはモンコンの戦いで国王軍に大敗/コリーと彼の軍隊は南西部へ後退してモンゴリ伯がブリエルド・ルージュと合流し再編
- 1569年11月1日-09:00|日本|島根県安来市|永禄12年9月23日|夜、富田城内の馬木彦右衛門/河本弥兵衛/湯原某が城外の尼子軍と呼応し、反乱をおこすもすぐに鎮圧される
- 1569年11月4日-09:00|日本|東京都八王子市|永禄12年9月26日|<廿里合戦>武田信玄が郡内の小山田信茂に命じて小仏峠越えて高尾近くの十々里(廿里)に侵攻させて滝山城の背後を突く/北条氏照は重臣布施出羽守や横地監物らが率いる約2千人の軍勢を急遽十々里に送って一戦に及んだが敗れた
- 1569年11月5日-09:00|日本|東京都八王子市|永禄12年9月27日|<滝山城合戦>武田信玄、滝山城を包囲/北条氏照、これを防衛/武田勢は三の曲輪を陥落させただけで攻城を諦めて小田原に向かった
- 1569年11月9日-09:00|日本|富山県|永禄12年10月上旬|上杉輝虎、神保家中の反上杉派鎮圧のため、神通川を渡河/反上杉派神保長住(長職の嫡子)、越中を追放される/寺嶋職定は居城池田城に籠るが、やがて上杉輝虎に降る
- 1569年11月9日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄12年10月1日|<小田原城の戦い>武田信玄は北条氏康の小田原城を囲み、城下に放火/北条側は小田原城を出ることはなかった
- 1569年11月12日-09:00|日本|神奈川県小田原市|永禄12年10月4日|<小田原城の戦い>武田信玄、小田原城包囲を解き、甲斐に向かう
- 1569年11月12日-09:00|日本|三重県松阪市|永禄12年10月4日|伊勢国司北畠具教・具房父子、織田信長と和議を結び大河内城開城(信長次男信雄を具教の養子とする)笠木へ落ちる/信雄補佐として滝川一益・津田一安がつけられる/信長、伊勢平定
- 1569年11月14日-09:00|日本|岡山県真庭市|永禄12年10月6日|美作高田城内の熊野弥七郎や山中鹿之助の妹婿佐伯七郎次郎が反乱を起こすも香川春継に斬られ、芦田五郎太郎も潰走
- 1569年11月14日-09:00|日本|神奈川県愛甲郡愛川町|永禄12年10月6日|<三増峠の戦い>北条氏康の子氏照・氏邦ら、退却中の武田軍を三増峠で攻撃/武田軍、北条軍に勝利
- 1569年11月14日-09:00|日本|富山県魚津市|永禄12年10月6日|<松倉城の戦い(越中国)>上杉謙信は松倉城の攻略に乗り出すが兵を退く
- 1569年11月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|永禄12年10月8日|<転封>伊勢長野領主「長野信良(織田信包)」⇒伊勢上野5万石(文禄3(1594)年9月近江国内2万石)
- 1569年11月16日-09:00|日本|三重県鳥羽市|永禄12年10月8日|<所領安堵>志摩鳥羽城3万5千石「九鬼嘉隆」信長に志摩一円支配を安堵され、本拠を鳥羽に移す(慶長5年10月12日(16001117)自害)
- 1569年11月18日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄12年10月10日|上杉輝虎、北条氏の執拗な関東出陣の要請に応じ8度目の関東越山、下野唐沢山に布陣して動かず
- 1569年11月18日-09:00|日本|三重県|永禄12年10月10日|織田信長が伊勢の関所を撤廃、関銭徴収を禁じる布令を発す
- 1569年11月19日-09:00|日本|山口県|永禄12年10月11日|大内家の庶子・大内輝弘、大友義鎮の後援を得て秋穂に上陸、山口奉行井上就貞及び藤井淡路守の軍を撃破
- 1569年11月20日-09:00|日本|山口県山口市|永禄12年10月12日|<大内輝弘の乱>大内輝弘は山口支配の拠点・高嶺城の攻略を開始/高嶺城の城主であった市川経好は九州へ出陣中であつたが、その留守を守る経好の妻がわずかな城兵を指揮して鼓舞し、高嶺城に輝弘軍を寄せ付けなかった/高嶺城の攻略を中断した輝弘は、龍福寺と築山館に入り、次策を練った
- 1569年11月21日-09:00|日本|山口県山口市|永禄12年10月13日|<大内輝弘の乱>大内輝弘は再度高嶺城への攻撃を開始したが、高嶺城の出城を落とすこともできず戦線は膠着/大内縁故の寺院の多くが焼け、宝物が失われた
- 1569年11月22日-09:00|日本| ||永禄12年10月14日|上杉輝虎は足利義氏の関東公方に同意し、太田資正は子息の梶原景国を小田原へ人質として入れ武蔵国の岩槻城を返還して貰い北条氏康と和睦し、下野国佐野城主佐野昌綱も上杉輝虎に従う
- 1569年11月23日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年10月15日|多々良浜合戦の決着/毛利軍は筑前から撤退を開始/大友軍は毛利軍に追いつき毛利兵が多数討ち取られる
- 1569年11月26日 05:00|ペル/スペイン| ||<就任>ペル副王「フランシスコ・トレド」(~15810923)
- 1569年12月-04:00|ロシア| ||ロシアツァーリ「イヴァン4世雷帝」、懲罰のためノゴロド遠征/モスクワからノゴロドまでの途上の町殺戮
- 1569年12月-01:00|スペイン| ||スペイン軍、ムスリム反乱軍のゲワールを奪取、守備兵を皆殺し
- 1569年12月2日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄12年10月24日|<手這坂の合戦>常陸国太田城主・佐竹義重は常陸國小田城主・小田氏治と対立/氏治はそうした状況を打破するために3千の軍勢を率いて筑波山東麓の手這坂に布陣し、片野・柿岡の両城を攻める構えを見せた。これを6百という寡兵で受ける太田勢は、城を棄てても小田城を落とすという覚悟を決め、真壁城の真壁氏幹らと連携を取りつつ、手這坂の小田勢を迎撃したのである/

1570迄 (1937件)

- 太田勢は30挺ほどの鉄砲で撃ちかけた。この地方で鉄砲を用いるのはこの合戦が初めてといわれており、この新兵器の威力に怖気づく小田勢に真壁勢が斬りこんだため、小田勢は崩れて敗走した/しかも、この間に別働隊を率いて密かに小田城に向かった梶原政景が「御館御帰陣」と偽って城門を開かせて攻略したため小田勢は小田城に帰れず、支城である常陸国土浦城に逃れた
- 1569年12月3日-01:00|フランス| |||フランス王軍、フランス西部のサン・ジャン・ダンジェリを陥落させる
- 1569年12月3日-09:00|日本|山口県防府市|永禄12年10月25日|<大内輝弘の乱>大内輝弘は残った手勢800を率いて上陸地である秋穂浦へと撤退したが、既に軍船は無く(毛利軍による焼き討ち、もしくは大友軍が輝弘軍を見殺しにして逃亡)、輝弘軍は東へと向かった。しかし途中で南方就正率いる右田ヶ岳城の城兵に攻撃され、敗走、浮野峠の茶臼山に引き返した/後方には吉川元春率いる毛利軍主力が迫り、輝弘は最期の一戦を試みたが、衆寡敵せず壊滅。輝弘は自刃して、大内輝弘の乱は終結
- 1569年12月4日-09:00|日本|兵庫県たつの市|永禄12年10月26日|<室津城合戦>織田軍の池田勝正・別所安治らが浦上宗景兵の籠る室津城を攻撃して降伏させる
- 1569年12月5日-09:00|日本|富山県|永禄12年10月27日|上杉輝虎越中に入り、椎名康胤を攻める
- 1569年12月7日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄12年10月29日|松永久秀、多聞山城下の法蓮郷に市を立てる
- 1569年12月8日-09:00|日本|兵庫県たつの市|永禄12年11月|<龍野城合戦>浦上宗景が赤松政秀の龍野城を攻撃して降伏させる
- 1569年12月11日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|永禄12年11月4日|松永久秀、貝吹城(守将越智家増)を攻略
- 1569年12月13日-09:00|日本|高知県土佐市|永禄12年11月6日|土佐吉良城主・吉良親貞が一条氏の蓮池城をおとす
- 1569年12月16日-09:00|日本|福岡県福岡市東区|永禄12年11月9日|筑前立花山城の浦宗勝、大友に降伏
- 1569年12月20日 04:30|ペルー| |||<就任>スペイン領ペルー暫定総督「Francisco Hernandez de Chaves」(~15701205)
- 1569年12月22日-09:00|日本|福岡県太宰府市|永禄12年11月15日|筑前・宝満山城の高橋鑑種は同族の一萬田氏のとりなしで大友宗麟に降伏
- 1569年12月23日-09:00|日本|三重県伊賀市|永禄12年11月16日|伊賀で惣国一揆が成立
- 1569年12月28日-09:00|日本|福岡県北九州市|永禄12年11月21日|毛利本隊は立花城及び北九州から全て撤退
- 1569年12月30日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄12年11月23日|<手這坂合戦>常陸小田城の小田氏治が、佐竹方の片野城(城主太田資正(三楽斎))を攻撃するが敗北。小田氏治は土浦城へ退却。勝利した太田資正・真壁氏・佐竹氏は小田城も攻撃し、小田城を落城させる(その後小田氏治は小田城を奪還)
- 1570年-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン「ムザファル・シャー2世」
- 1570年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「スルタン・イブラヒム・イブニ・アル・マルフム・スルタン・マンスール」(2回目~1579年)
- 1570年-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アブドゥル・ジャリル・シャー1世」(~1571年没)
- 1570年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Babullah Datu Shah」(~1583年死去)
- 1570年-08:00|インドネシア| |||<即位>パレンタン王国スルタン「マウナ・ハヌバ・ハン・ユフ」(~1585年病死)/王都パレンタンを建設
- 1570年-05:45|ペルー| |||<死去>ゴルカ・ラジャ「トウ・イヤ・シャハ」
- 1570年-05:45|ペルー| |||<即位>ゴルカ・ラジャ「フ・ルナ・シャハ」(~1605年)
- 1570年-05:30|インド| |||<建国>サンバル王国
- 1570年-05:30|インド| |||<建国>シール国
- 1570年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャファ王国国王「カン・ナター・ハラセカラン」
- 1570年-04:00|ロシア/トルコ| |||オスマン朝がロシアと和平条約を締結
- 1570年-04:00|ロシア| |||ドン・コサックがロシア皇帝の宗主権を正式に受諾
- 1570年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Behram Pasha」(~1575年)
- 1570年-03:00|スーダン| |||<即位>カヌム=ホルヌ帝国「イドリス・アローマ」(~1619年)
- 1570年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「フマド」
- 1570年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレppo・ベイルベ「マフムド・ハシャ」(1期目~1571年)
- 1570年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「ハジ・アムド・ハシャ」(~1571年)
- 1570年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||カステロリゾ島をヴェネツィアが占領(~1571年)
- 1570年-01:00|ドイツ| |||<改称>アンハルト・ツェルプスト侯「Joachim Ernest」⇒アンハルト侯(~15861206死去)
- 1570年-01:00|スペイン| |||このころ、スペインにジャコ・イェが伝播
- 1570年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Juan Gante del Campo」(~1573年)
- 1570年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴルト・コースト長官「アントニオ・ダ・サー」(~1573年)
- 1570年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Edward Tarbock」(~1576年)
- 1570年 00:00|ポルトガル/インド| |||ア・テイルとニザム両シャヒー朝連合軍がポルトガルに敗北
- 1570年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||フロレス島・コルヴォ島はキリスト騎士団が管理(~1593年)
- 1570年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サンサルバドル一般市長「エルナンド・ベルメ」(~1572年)
- 1570年1月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>サントマリア島トナリ長官「Joao Soares de Sousa」
- 1570年1月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>サントマリア島トナリ長官「Pedro Soares de Sousa」(~1580年)
- 1570年1月4日-09:00|日本|静岡県|永禄12年11月28日|<第3次駿河侵攻>武田晴信、駿河の北条諸城(深沢・新庄・湯沢・足柄・山中)を攻め落とす/23年余にわたる甲駿相3国同盟破綻
- 1570年1月5日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「アントニオ・ゴンザレス」(~15730126)
- 1570年1月6日-09:00|日本|富山県氷見市|永禄12年11月30日|<鶏塚合戦>畠山義慶に対して八代俊盛・八代外記(

1570迄 (1937件)

- 俊盛嫡男)が鷄塚において挙兵/長綱連を中心とする畠山軍が四千余の軍勢で鷄塚を攻め八代父子は自害/俊盛の弟・肥後、主水は越中へ逃亡
- 1570年1月8日-04:00|ロシア| ||ロシア・ツァーリ「イヴァン4世雷帝」がノヴォロシツクに入城/翌日から住民を虐殺
- 1570年1月10日-09:00|日本|静岡県富士市|永禄12年12月4日|北条軍、駿河より引き上げる/武田信玄が駿河庵原郡岩淵宿を焼き払う
- 1570年1月11日 00:00|イギリス| ||<死去>初代マリア伯・初代マー伯「ジェームズ・ステュアート」
- 1570年1月11日 00:00|イギリス| ||<就任>2代マリア伯「エリザベス・ステュアート」先代の娘(~15911118死去)
- 1570年1月11日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年12月5日|武田信玄が北条綱重の拠る蒲原城を包囲、開城勧告をするが拒否され、蒲原城下を放火して兵を引く
- 1570年1月12日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年12月6日|<蒲原城合戦>蒲原城主北条綱重、城を出て武田軍の背後を攻撃しようとするが失敗。その際に武田勝頼軍が蒲原城を奪還し、山県昌景を入れる/蒲原城落城の時、残っていた老兵と婦女子200人、布橋にすがって逃げ出したが、武田軍によりその命綱を斬られ向田川の崖下に落ちて死ぬ/岩戸山常楽寺焼失
- 1570年1月12日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡富士川町|永禄12年12月6日|武田軍の兵火により、山田薬師堂(富士川町中之郷)焼失
- 1570年1月13日-09:00|日本|静岡県静岡市|永禄12年12月7日|<駿府城の戦い>駿府城普請奉行岡部次郎右衛門正綱・岡部治部右衛門長秋・久野弾正宗政・小原兵部・小原長七郎・三浦兵部義鏡・安部大蔵元真・小長谷氏・小倉内蔵介・森川日向守・富永一党・沢木氏・酒井極之助実明4百防戦/信玄旗本60騎・馬場美濃60騎、薩た山(由比町西倉沢)に籠る今川方を攻める。興津河原まで追い掛け37人討ち取る
- 1570年1月19日-01:00|チェコ/トルコ| ||オスマン帝国がチェコを再占領(~15731010)
- 1570年1月19日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|永禄12年12月13日|武田信玄が岡部正綱の籠もる駿河今川館を落とす/正綱は降伏開城し信玄に臣従
- 1570年1月20日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄12年12月14日|武田信玄旗本60騎・馬場美濃60騎、薩た山に籠る今川方を攻め興津河原まで追い掛け37人討ち取る
- 1570年1月23日 00:00|イギリス| ||<死去>マリア伯「ジェームズ・ステュアート」異母妹の前スコットランド女王マリーを支持するハミルトン氏族のジェームズ・ハミルトンに暗殺される
- 1570年1月23日 00:00|イギリス| ||<就任>マリア伯「エリザベス・ステュアート」先代の娘(~15911118死去)
- 1570年2月3日-09:00|日本|鹿児島県|永禄12年12月28日|島津氏は東郷氏、入来院氏を降伏させて薩摩統一を果たす(城の明け渡しは翌年1月)
- 1570年2月4日-09:00|日本|佐賀県唐津市|永禄12年12月29日|龍造寺勢が岸岳城を占拠していた日高喜を壱岐に追い出すことに成功し、波多下野守興の子藤童丸が岸岳城に返り咲き、波多下野守親と名乗る。壱岐に逃れた日高喜は壱岐の波多勢力を駆逐し、平戸の松浦隆信の家臣となり、壱岐は上松浦の手を離れ平戸松浦氏の支配地となる
- 1570年2月5日-09:00|日本|秋田県|永禄13年|<第二次湊騒動(出羽国)>茂季が兄愛季の意を受け、豊島領内との交易を制限したことから豊島玄蕃ら湊城近隣の国人らが下刈右京、川尻中務、小野寺氏、戸沢氏らと同調して挙兵
- 1570年2月5日-09:00|日本|岡山県津山市|永禄13年|美作・宇喜多の将・花房職秀、荒神山城を築く
- 1570年2月5日-09:00|日本|高知県高知市|永禄13年|高知土佐神社社殿を長曾我部元親が再建
- 1570年2月5日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄13年|<再建>長峰村[郷/浦町]の高峰神社宝殿
- 1570年2月5日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄13年|<造営>湯岳[芦辺町]に印鑰大明神拝殿
- 1570年2月5日-09:00|日本|長崎県長崎市|永禄13年|<交替>肥前高来郡一円領主「有馬義貞」隠居⇒嫡男の「有馬義純」(~元龜2年6月14日(15710706)死去)
- 1570年2月5日-09:00|日本|兵庫県姫路市|永禄13年|<交替>播磨置塩城主「(赤松氏第12代当主)赤松義祐」隠居⇒子の「赤松則房」が継ぐ(⇒天正5(1577)年5月播磨国置塩城1万石を安堵)
- 1570年2月5日-08:00|中国| ||明・隆慶4年|<死去>北疆ハン「シャ」
- 1570年2月5日-08:00|中国| ||明・隆慶4年|明で西遊記がこのころ刊
- 1570年2月5日 00:00|ポルトガル/日本/中国| ||永禄13年|ポルトガルが長崎・マカオ間の定期航路を開設/交易を開始
- 1570年2月5日-09:00|日本|大阪府東大阪市|永禄13年1月|三好義継、本拠を飯盛城から若江城に移す
- 1570年2月5日-09:00|日本|長崎県壱岐市|永禄13年1月|<就任>壱岐守護「日高喜」松浦隆信軍の援軍を受け、壱岐城代の波多政を倒し全島を治める
- 1570年2月8日 04:00|刊| ||刊・コンテプシオン地震(M8.3)、死者2千人
- 1570年2月8日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|永禄13年1月4日|<第4次駿河侵攻>武田信玄、駿河に侵攻/山西に侵入をはかる武田軍に対し、花沢城衆が小坂口で迎え撃つ/鱸木源六が敵を討取る
- 1570年2月9日-09:00|日本|鹿児島県|永禄13年1月5日|渋谷一族、島津家へ降伏/島津家が薩摩統一/東郷重尚には島津貴久より東郷を与えられ、入来院重嗣には入来院が与えられ、高城は島津義虎に与えられる
- 1570年2月15日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄13年1月11日|<第九次唐沢山城の戦い>再び背いた佐野昌綱を従わせるため、上杉輝虎は唐沢山城に迫ったが真冬の時期の攻城はさすがに不可能であったため、謙信は兵を引いた
- 1570年2月17日-09:00|日本|静岡県焼津市|永禄13年1月13日|<花沢城の戦い>駿府で越年した武田信玄が花沢城(城主小原鎮実)を攻撃占領
- 1570年2月19日-09:00|日本|栃木県佐野市|永禄13年1月15日|上杉輝虎が下野国佐野城主佐野宗綱を攻め、常陸国太田城主佐竹義重も輝虎の求めに応じて佐野攻めに参陣し、輝虎は佐野城を攻略
- 1570年2月27日-09:00|日本|京都府京都市|永禄13年1月23日|信長が將軍義昭に五箇条の覚書を承認させる

1570迄 (1937件)

- 1570年3月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ツェルプ<sup>ス</sup>ト侯「Bernhard7世」
- 1570年3月3日-09:00|日本|静岡県藤枝市|永禄13年1月27日|武田信玄が藤枝・徳之一色城を陥す(⇒馬場美濃守信房に増築させ田中城と改名)
- 1570年3月4日-09:00|日本|島根県雲南市|永禄13年1月28日|毛利輝元は尼子方となっていた出雲国飯石郡の多久和城を攻略
- 1570年3月4日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄13年1月28日|大和国井戸城、陥落
- 1570年3月7日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|永禄13年2月|宇喜多直家、備前・石山城(金光宗高)を攻略
- 1570年3月7日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|永禄13年2月|武田信玄が江尻城を普請
- 1570年3月12日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガル王セバステアン1世、ポルトガル人の日本人奴隷購入を禁止/イエズス会は奴隷交易容認のため効果は無し
- 1570年3月16日-09:00|日本|茨城県つくば市|永禄13年2月10日|常陸国真壁郡下妻城主・多賀谷政経は筑波郡谷田部城主・岡見頼治を攻め破り、河内郡の牛久へ追拂って谷田部城を攻略、弟の多賀谷政伯をして之れを守らしむ
- 1570年3月17日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルック伯「ウィリアム・ハーバート」
- 1570年3月17日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ヘンリー・ハーバート」(~16010119死去)
- 1570年3月20日-09:00|日本|島根県安来市|永禄13年2月14日|<布部山の戦い>毛利輝元が尼子勝久の武将山中鹿介を布部で破る
- 1570年3月24日-09:00|日本| ||永禄13年2月18日|「越相同盟」北条氏康・同氏政父子、起請文を上杉輝虎(謙信)に送りて盟約を誓い、且つ兵を信濃または西上野に出して、武田信玄の勢を牽制することを求める/北条・上杉の和睦条件が整い、この日以降、誓詞・条書が交換される
- 1570年3月28日-09:00|日本|奈良県奈良市|永禄13年2月22日|松永久秀が大和辰市城に井戸良弘を攻める
- 1570年3月31日-09:00|日本| ||永禄13年2月25日|月蝕
- 1570年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ゴジ」 「マルクアントニオ・ボネッティ」
- 1570年4月6日-09:00|日本|茨城県下妻市|永禄13年3月|多賀谷氏は下総国岡田郡今里邑の忝鳳山円福寺を真壁郡下妻の新町に移し、後に大町に移す
- 1570年4月6日-09:00|日本|兵庫県丹波市|永禄13年3月|上洛していた織田信長に荻野直正と甥の赤井忠家(直正の兄赤井家清は亡くなり、忠家は家清の嫡男)は拝謁し織田方につくことを約束/信長は氷上郡・天田郡・何鹿郡の丹波奥三郡を安堵
- 1570年4月10日-09:00|日本|新潟県|永禄13年3月5日|上杉輝虎(謙信)が北条氏康と和睦/越相同盟⇒北条氏康の七男氏秀を養子にする(のち景虎と改む)
- 1570年4月25日-09:00|日本|群馬県桐生市|永禄13年3月20日|上野国桐生城主桐生又次郎親綱は山城出羽守守利に命じ、上野国仁田山城の里見入道勝広を討取って攻略
- 1570年5月-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペインのルイス<sup>ス</sup>遠征隊がマニラを攻撃開始しモロ戦争が始まる
- 1570年5月-01:00|イタリア/キプロス/トルコ| |||トルコがキプロス島の割譲を要求してヴェネツィアに宣戦
- 1570年5月2日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄13年3月27日|松永久秀が井戸城を落とし、井戸良弘は南方へ逃れる
- 1570年5月3日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第84代ドージェ(元首)「ピエトロ・ロラン」
- 1570年5月5日-09:00|日本|愛知県春日井市|永禄13年4月|尾張国の水野元茂、知多郡村木村八幡社の社殿を建立
- 1570年5月5日-09:00|日本|秋田県能代市|永禄13年4月|出羽/檜山安東氏の安東愛季、湊安東家を統合し、所領も併合
- 1570年5月5日-09:00|日本|静岡県御殿場市|永禄13年4月|北条氏康・氏政、駿河深沢城を奪回、北条綱成を入れる
- 1570年5月8日-09:00|日本|山形県東置賜郡川西町|永禄13年4月4日|出羽/伊達輝宗、謀叛の疑いのある宿老中野宗時・牧野久仲父子に先制攻撃をかけ鎮定/元龜の変
- 1570年5月9日-09:00|日本|奈良県天理市|永禄13年4月5日|松永久秀が井戸城(大和国)を破却
- 1570年5月11日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第85代ドージェ(元首)「アルヴィゼ・モリエーゴ1世」(~15770604死去)
- 1570年5月17日-09:00|日本|静岡県御殿場市|永禄13年4月13日|<深沢城の戦い>北条氏康・氏政が兵38,000で武田が占拠していた駿河深沢城を攻撃占領して城代に北条綱成を置く
- 1570年5月18日-09:00|日本|宮城県伊具郡丸森町|永禄13年4月14日|相馬盛胤、伊達輝宗方の陸奥丸森城を攻略
- 1570年5月20日-01:00|オランダ| |||アブラハム・オルテリウスが世界初の「地図帳」を出版
- 1570年5月20日-09:00|日本|静岡県|永禄13年4月16日|<信玄第5次駿河侵攻>武田信玄、甲府から駿河へ出陣
- 1570年5月21日-09:00|日本|島根県雲南市|永禄13年4月17日|<牛尾城の戦い>毛利輝元、尼子氏の居城、牛尾城を陥とす
- 1570年5月24日-08:00|フィリピン/スペイン| |||スペイン軍マルティン・デ・マニラ、ラジャ=スマランに勝利/マニラ湾に面した海岸の野営地の300人のスペイン人兵士と三王の町から集まった数千人のムスリム兵士との戦闘/ゴイティとカセドに率いられた300人のスペイン軍は、まず、パシグ川北岸のトント地区のムスリムの町を襲撃し、数千人のムスリム兵の殆どを虐殺
- 1570年5月24日-09:00|日本|福井県|永禄13年4月20日|<第1次越前侵攻>織田・幕臣連合軍、若狭から越前に侵攻、徳川家康、松永久秀、池田勝正、公家衆(飛鳥井雅教、日野輝資)らも参加、柴田、丹羽、森、木下、明智、池田、前田、築田らが従軍
- 1570年5月25日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<死去>ゲメルト司令官「ワイルト・ファン・イナッテン」
- 1570年5月25日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>ゲメルト司令官「コタール・バン・エア」(~1598年没)
- 1570年5月26日-09:00|日本|佐賀県|永禄13年4月22日|大友宗麟が立花道雪・高橋紹運を先手に佐賀攻めに出陣、龍造寺勢と高尾で戦う



1570迄 (1937件)

- 1570年8月6日-09:00|日本|大阪府吹田市|元亀1年7月5日|織田軍、摂津国吹田に於いて三好三人衆の軍勢を撃破
- 1570年8月8日-01:00|フランス| |||フランスの新旧両派の間で、休戦と部分的信教の自由を認めたサン・ジェルマン和約が結ばれる/第3次ユグノー戦争が終わる/新教徒にはフランス西部のラ・ロシェル・コニャック、フランス南部のモン・パソ、フランス中央部のラ・シャリテの「四安全保障都市」が与えられる
- 1570年8月20日-09:00|日本|新潟県|元亀1年7月19日|上杉氏、武田方の使僧を成敗して武田氏と断交
- 1570年8月22日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元亀1年7月21日|三好三人衆軍は摂津中嶋に進出し、野田城・福島城を築城
- 1570年8月28日-09:00|日本|奈良県奈良市|元亀1年7月27日|松永久秀不在の間に筒井順慶が五百の兵を率いて十市城に入る
- 1570年8月30日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|元亀1年7月29日|松永久秀方の箸尾氏が細井戸城を落とす
- 1570年9月4日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|元亀1年8月5日|<葦山城外町庭口の戦い>武田信玄、伊豆葦山城外の町場口にて北条軍と戦う
- 1570年9月6日-09:00|日本|奈良県大和高田市|元亀1年8月7日|布施氏は松永久秀方であった「高田城」(奈良県大和高田市)の出城を攻め落とした
- 1570年9月8日-09:00|日本|兵庫県伊丹市|元亀1年8月9日|三好三人衆が淡路衆・安宅衆千五百人を率いて摂津尼崎に上陸、伊丹城を攻める
- 1570年9月9日-02:00|キプロス/イリア| |||<死去>ヴェネツィアのキプロス副官「ニコラ・ディ・ジローモ・ダントロ」
- 1570年9月9日-02:00|キプロス/トルコ| |||ニコシアが占領されキプロスはオスマン帝国の一部となる(キプロス州:アライのサンジャク、カスス、イェル、シス、スルタドリエが1610年まで/トラブアルシャム(トリポリ)は1573年まで)
- 1570年9月9日-09:00|日本|静岡県沼津市|元亀1年8月10日|<興国寺城合戦>武田信玄の別働隊が興国寺城(城主堺和氏統)攻撃するが退く
- 1570年9月9日-09:00|日本|千葉県千葉市|元亀1年8月10日|里見氏・下総千葉寺下から野田・土気村で原氏と合戦、小西の原能登守らを討取る
- 1570年9月10日-09:00|日本|栃木県那須郡那珂川町|元亀1年8月11日|佐竹義重、那須資胤の属城下野国の大山田城を攻略
- 1570年9月12日-09:00|日本|愛知県愛西市|元亀1年8月13日|尾張国稲葉村八幡社の社殿が建立される
- 1570年9月12日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀1年8月13日|下総国結城城主結城晴朝は筑波郡小田城主小田讃岐守氏治入道天菴を攻めんと石毛、豊田を押へ筑波郡に侵入し小田方を破って攻略
- 1570年9月12日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|元亀1年8月13日|<猪名寺合戦>安宅信康、池田勝正や伊丹親興らと戦う/尼崎の猪名寺付近で三好三人衆方安宅信康勢が幕府・織田信長方の伊丹忠親の伊丹城を攻めようと尼崎から北上、三人衆方池田勢もこれに呼応して池田から南下/この合戦で三人衆勢は後退するが双方に死傷者を出して忠親方に3・4名の戦死者を出す
- 1570年9月16日-09:00|日本|大阪府|元亀1年8月17日|織田軍(三好義長ら)、摂津国・河内国に於いて三好三人衆の軍勢と交戦/河内国での戦闘で、三好義長(三好太夫)の軍勢300余が一所に於いて壊滅
- 1570年9月16日-09:00|日本|大阪府門真市|元亀1年8月17日|三好長逸・三好宗渭・岩成友通の軍勢が、三好義継・畠山昭隆・伊丹親興・遊佐の軍勢400名が籠る古橋城(河内国)を攻め首級218をあげる
- 1570年9月19日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|元亀1年8月20日|大友宗麟は数万の大軍を肥前に侵入、龍造寺は孤立無援となったが龍造寺の部将鍋島直茂の乾坤一擲の今山の太友本陣の夜襲によって大友親貞を討つ(今山合戦)龍造寺の大勝
- 1570年9月20日-09:00|日本|佐賀県多久市|元亀1年8月21日|多久城は鍋島信生らに占拠された/小田鎮光は主従僅か数十人で縁りを求めて筑後へ落ちていった
- 1570年9月21日-09:00|日本|佐賀県多久市|元亀1年8月22日|小田鎮光の梶峰城を龍造寺勢がおとす
- 1570年9月21日-09:00|日本|奈良県奈良市|元亀1年8月22日|筒井順慶、高樋城(奈良市)を築城
- 1570年9月22日-09:00|日本|奈良県奈良市|元亀1年8月23日|竹内秀勝(竹下)、大和国で蜂起した筒井順慶の軍勢を撃退し高樋山まで駆逐
- 1570年9月24日-09:00|日本|栃木県那須郡那珂川町|元亀1年8月25日|那須資胤・資晴軍は、佐竹家の大金重宣の梅ヶ平城を攻めたが退いた
- 1570年9月24日-09:00|日本|奈良県|元亀1年8月25日|織田軍の竹内秀勝(松永久秀家臣)・「中坊」ら、大和国で蜂起した「筒井」以下「牢人衆」を鎮圧
- 1570年9月25日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元亀1年8月26日|<野田・福島城の戦い>織田信長、軍を神崎・上下難波・木津・今宮へ進軍させ、三好三人衆の野田城・福島城を攻撃させる
- 1570年9月27日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元亀1年8月28日|<野田城・福島城の戦い>三好三人衆軍の細川信良を始め三好政勝、香西長信らが織田軍へ寝返り
- 1570年9月30日-09:00|日本|愛知県田原市|元亀1年9月|鈴木重隆・同重親、三河国大草村八幡・神明社の社殿を建立
- 1570年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ジャンニニ」「アスカオ・ディ・ジャコモ・ベルツィ」
- 1570年10月2日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元亀1年9月3日|織田信長、軍を神崎・上下難波・木津・今宮へ進軍させ、三好三人衆の野田城・福島城を攻撃させる
- 1570年10月7日-09:00|日本| |||元亀1年9月8日|<死去>八板金兵衛(69歳)刀鍛冶・鉄砲鍛冶
- 1570年10月7日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|元亀1年9月8日|三好義長(三好左京大夫)・松永久秀(松永山城守)、摂津国浦江城(海老江城)を攻略
- 1570年10月9日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ハンス・ビョルソン・レゾン」(~1572年没)

1570迄(1937件)

- 1570年10月9日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元龜1年9月10日|本願寺門跡顯如が浅井久政、長政親子と同盟
- 1570年10月10日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元龜1年9月11日|<野田城・福島城の戦い>織田軍の野田城・福島城への直接的な攻城が開始され城兵の首級が7つ上がる
- 1570年10月10日-09:00|日本|静岡県浜松市|元龜1年9月11日|徳川家康が居城を岡崎城から浜松城(曳馬城から改称)へ移す/岡崎城は信康(12歳)が城主となる
- 1570年10月11日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元龜1年9月12日|石山本願寺が、海老江に進み野田・福島砦に攻撃を加えた織田信長に対して挙兵、石山合戦始まる
- 1570年10月11日-09:00|日本|大阪府貝塚市|元龜1年9月12日|<野田城・福島城の戦い>織田軍は畠中城も落城させた/三人衆は浮足立ち信長に和平を申し込むが、信長は徹底攻撃を主張し和平案を受け入れなかった
- 1570年10月11日-09:00|日本|三重県伊勢市|元龜1年9月12日|<長島一向一揆>本願寺の反信長蜂起(石山合戦)に伴って、当時の願証寺住持証意や本願寺の坊官下間頼成の檄文によって長島でも門徒が一斉に蜂起/これに呼応して「北勢四十八家」と呼ばれた北伊勢の小豪族も一部が織田家に反旗を翻し一揆に加担/大坂より派遣された坊官の下間頼旦らに率いられた数万に及び一揆衆は、伊藤氏が城主を務める長島城を攻め落とし城を奪う
- 1570年10月12日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元龜1年9月13日|本願寺顯如が織田方の樓の岸砦に攻め入る
- 1570年10月12日-09:00|日本|大阪府大阪市西区|元龜1年9月13日|本願寺顯如が織田方の川口砦に攻め入る
- 1570年10月13日-09:00|日本|愛知県大府市|元龜1年9月14日|清正次郎左衛門、三河国長草村の牛頭天王社社殿を建立
- 1570年10月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|元龜1年9月14日|<淀川堤の戦い>本願寺軍は石山を出て淀川堤で信長軍と直接激突/戦いは織田軍優勢のうちに終わり、本願寺軍は石山に戻り籠城の構えを見せた/石山本願寺の第一次挙兵は、1月もたたないうちに実質的には終る
- 1570年10月15日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月16日|<坂本の戦い>近江で浅井・朝倉連合軍が信長の背後を突くべく進軍を開始/宇佐山城主・森可成は野府城主・織田信治、青地茂綱らと共に交通の要所である坂本を先に占領して街道を封鎖、連合軍の南進妨害を試み撃退する
- 1570年10月15日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月16日|<志賀の陣(近江国)>南下した浅井・朝倉軍が宇佐山城を攻撃、森可成が交戦、勝利
- 1570年10月17日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|元龜1年9月18日|織田信長・足利義昭が中島方面に兵を出し石山本願寺を圧迫するが本願寺川の反撃に遭い撃退される
- 1570年10月18日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月19日|<志賀の陣(近江国)>再度浅井・朝倉軍が攻撃を行い、織田軍は敗北、森可成(48歳)、織田信治(信長の弟)、青地茂綱が討死
- 1570年10月18日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月19日|浅井長政・朝倉義景が二手に分かれて織田方森可成の守る近江宇佐山城を攻撃
- 1570年10月19日-09:00|日本|愛媛県今治市|元龜1年9月20日|能島城主能島武吉が毛利元就らと盟約を結ぶ
- 1570年10月19日-09:00|日本|大阪府大阪市都島区|元龜1年9月20日|石山本願寺一揆軍が淀川対岸の津上江堤で織田勢と激戦、織田勢は先鋒佐々成政が負傷し敗退
- 1570年10月19日-09:00|日本|岐阜県可児市|元龜1年9月20日|<死去>美濃金山75000石「森可成」⇒「森長可」が嗣ぐ(⇒天正10(1582)年信濃海津へ)
- 1570年10月19日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月20日|<宇佐山城の戦い>顯如の要請を受けた坂本里坊、延暦寺の僧兵達も攻め手に加わり、西の僧兵と北の浅井・朝倉軍ら総勢3万の兵から挟み撃ちを受けた森可成、織田信治、青地茂綱ら3将は奮戦するも衆寡敵せずいずれも討死、主将を失った宇佐山城も連合軍の攻撃を受けるが寡兵ながら士気は高く可成の家臣各務元正、肥田直勝などが中心となって抗戦し落城は免れた
- 1570年10月20日-09:00|日本|愛媛県西予市|元龜1年9月21日|土佐一条氏の将東小路法行が西園寺氏と伊予宇和郡松葉城に戦うが敗れる
- 1570年10月20日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月21日|<宇佐山城合戦>朝倉・浅井連合軍、大津から山科に転進/織田・足利連合軍、摂津から撤退し一時帰京
- 1570年10月22日-09:00|日本|大阪府大阪市福島区|元龜1年9月23日|近江宇佐山危機の報を受け、織田信長が対峙中の三好方摂津野田・福島砦の囲みを解き撤兵
- 1570年10月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|元龜1年9月24日|織田信長が大津から坂本に兵を進め救援に現れ浅井・朝倉連合軍に死者1千名以上が出た
- 1570年10月27日-09:00|日本|兵庫県西宮市|元龜1年9月28日|<瓦林城合戦>篠原長房の不意打ちで摂津瓦林城(瓦林三河守)は一挙に攻め立てられ106名が討ち死、瓦林氏はこの時を最後に滅んだ
- 1570年10月29日-09:00|日本|岡山県総社市|元龜1年10月|尼子方につく宇喜多直家・浦上宗景が備中へ侵攻、幸山城など備中南東部を制圧
- 1570年10月29日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|元龜1年10月上旬|武田信玄の将・山県昌景、藤枝・遠江榛原郡の小山まで乱取し、遠江をうかがう
- 1570年10月29日-09:00|日本|広島県三原市|元龜1年10月|小早川隆景、大檀那として、豊田郡本郷の橋八幡宮社殿を再興
- 1570年10月29日-09:00|日本| ||元龜1年10月1日|豊後の大名・大友宗麟と肥前の大名・龍造寺隆信が講和
- 1570年10月29日-09:00|日本|大阪府茨木市|元龜1年10月1日|篠原長房、攝津・茨木城を攻略
- 1570年10月30日-09:00|日本|滋賀県|元龜1年10月2日|徳川家康は信長の支援のために近江国に出兵
- 1570年11月1日-09:00|日本|京都府乙訓郡|元龜1年10月4日|山城国西岡に於いて土一揆が蜂起す
- 1570年11月2日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|元龜1年10月5日|三好三人衆、高屋城を包囲
- 1570年11月2日-09:00|日本|岡山県真庭市|元龜1年10月5日|<高田城合戦>三浦貞広、美作・高田城を毛利家から回

1570迄 (1937件)

復

- 1570年11月5日-09:00|日本| ||元亀1年10月8日|上杉謙信が徳川家康と同盟(三越同盟)徳川家康、信玄と絶縁
- 1570年11月5日-09:00|日本|島根県安来市|元亀1年10月8日|富田城の守兵と杉原盛重ら、出雲国清水山を攻略
- 1570年11月12日-02:00|ルーマニア| ||<死去>モルダヴィア摂政「ルサントウ」
- 1570年11月17日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀1年10月20日|<平塚合戦>筑波郡小田城主・小田氏治入道天菴は藤沢城主・菅谷正光、金田強清水城主・沼尻家忠等をして平塚原へ加勢として向わしめ、菅谷、沼尻の両將は兵を三隊に分け一手は猿壁より西して敵の中央を突き、一手は高田と酒丸の間に陣して敵の連絡を断ち、一手は中根、口堀から進んで敵の北方を突いて、結城軍は不意を打たれて敗北し、わずかに免れて吉沼に逃れ、部將らは各々其の居城に帰った
- 1570年11月17日-09:00|日本|京都府京都市左京区|元亀1年10月20日|巳刻、比叡山より朝倉・浅井連合軍が下山し一乗寺・試楽寺・高野・松之崎などに放火して廻る。幕府「奉公衆」、勝軍城を攻略
- 1570年11月17日-09:00|日本|群馬県|元亀1年10月20日|<第11次関東遠征>上杉輝虎が北條氏政や今川氏真の依頼によって上野武田領に出陣
- 1570年11月17日-09:00|日本|滋賀県守山市|元亀1年10月20日|木下藤吉郎秀吉が、丹羽長秀とともに江南の一向一揆を破る
- 1570年11月18日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|元亀1年10月21日|山城・三好三人衆、御牧城占領
- 1570年11月19日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|元亀1年10月22日|<御牧城の戦い>木下藤吉郎秀吉が、細川藤孝と山城国に軍を進め、三好の手に落ちていた京都の御牧城を奪還
- 1570年11月19日-09:00|日本|京都府久世郡久御山町|元亀1年10月22日|細川軍・和田軍、摂津国御牧砦外構を突破し一揆勢と交戦、松井康之が一番鑓の戦功を挙げ、一揆勢を敗軍させる
- 1570年11月19日-09:00|日本|兵庫県美方郡|元亀1年10月22日|浦上宗景が三木城へ迫り南曲輪を焼いた
- 1570年11月19日-09:00|日本|福井県|元亀1年10月22日|若狭の武田元実・武藤友益らが織田信長に反旗を翻す
- 1570年11月20日-09:00|日本|滋賀県|元亀1年10月23日|木下秀吉が浅井・朝倉連合軍と開陣し敵首26を持参、下津屋・三牧以下3人を降参させた
- 1570年11月22日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀1年10月25日|堅田の猪飼昇貞・居初又次郎・馬場孫次郎が織田方に内通
- 1570年11月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀1年10月26日|<堅田の戦い>朝倉景鏡・前波景当や一向宗門徒らが比叡山より下って堅田に攻め寄せ、信長配下の坂井政尚・安藤右衛門佐・桑原平兵衛の軍は堅田を囲まれ孤立したが奮戦し、前波景当を返り討ちにするなどしたが、結局は数に押し込まれ織田軍は壊滅し坂井政尚らは戦死/猪飼らは堅田を捨てて琵琶湖を渡って逃走
- 1570年11月27日-09:00|日本| ||元亀1年10月30日|本願寺と織田信長との和睦が成立
- 1570年11月28日-09:00|日本|三重県桑名市|元亀1年11月|本願寺連枝願証寺証意が伊藤氏を討ち伊勢長嶋城を奪う
- 1570年11月28日-08:00|中国/モンゴル| ||明・隆慶4年11月|明がモンゴルのアルタン・ハーンと和議が成立
- 1570年11月28日-09:00|日本|奈良県|元亀1年11月1日|筒井順慶、織田家に恭順の意を示す
- 1570年12月-01:00|デンマーク/スウェーデン| ||スウェーデンの和約が結ばれ、デンマークがスウェーデンの独立を承認
- 1570年12月5日 04:30|ベネチア/スペイン| ||<就任>スペイン領ベネチア総督「Diego de Mazariegos」(~1576, 3死去)
- 1570年12月7日-09:00|日本|茨城県つくば市|元亀1年11月10日|常陸国の佐竹方部將多賀谷政経、宍戸友秋、坪井内膳正らが常陸国筑波郡小田城主小田氏治を攻め、多賀谷政経は筑波郡の大曾根、若森、山木、田中等の小田領を攻略して、大曾根に築城し、部下の白井縫殿助全洞をして之れを守らしめ、再び小田城を攻めたが敗北して撃退さる
- 1570年12月9日-09:00|日本|兵庫県たつの市|元亀1年11月12日|浦上宗景、龍野の赤松家部将赤松政秀を謀殺
- 1570年12月10日-09:00|日本| ||元亀1年11月13日|本願寺と足利義昭政権との和睦が成立
- 1570年12月10日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀1年11月13日|戦死した森可成に替わり、明智光秀が近江宇佐山城主となる
- 1570年12月13日-09:00|日本| ||元亀1年11月16日|木下藤吉郎、丹羽長秀の軍も六角・一揆勢と交戦して勝利
- 1570年12月13日-09:00|日本|三重県桑名市|元亀1年11月16日|大坂より派遣された坊官の下間頼旦らに率いられた数万に及ぶ一揆衆は、伊藤氏が城主を務める長島城を攻め落とし城を奪う
- 1570年12月18日-09:00|日本| ||元亀1年11月21日|織田信長、六角義賢・六角義治父子と和約、ついでに阿波から来た篠原長房と講和
- 1570年12月18日-09:00|日本|愛知県愛西市|元亀1年11月21日|伊勢長島の一方向一揆、尾張の小木江城を陥れる/城主信長の弟彦七信興が自刃
- 1570年12月23日-09:00|日本|滋賀県大津市|元亀1年11月26日|<志賀・堅田合戦>朝倉景鏡、浅井軍に攻められて堅田の城が落ち坂井政尚・遠藤胤俊戦死